

武蔵野市外国籍市民意識調査 報告書

令和4年2月

武蔵野市

目次

第1章 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法.....	1
(1)アンケート調査及びインタビュー	1
(2)属性別ヒアリング調査	3
3. 報告書の見方.....	3
第2章 調査結果	4
1. アンケート調査及びインタビュー	4
(1)アンケート調査.....	4
①あなたのこと	4
②言葉のこと.....	14
③あなたが困っていること	22
④あなたの子どものこと(18歳未満の子どもがいる人が対象)	27
⑤防災のこと.....	30
⑥情報や相談のこと.....	32
⑦地域のこと.....	40
⑧その他	45
(2)インタビュー	46
2. 属性別ヒアリング調査	49
(1)市内大学留学生	49
(2)日本語初学者	51
(3)外国につながる子ども.....	56
(4)外国籍市民コミュニティ.....	59
(5)外国籍市民と関わりがある日本人	61
資料編	63
1. アンケート調査集計表.....	64
2. アンケート調査自由回答形式設問の回答(抜粋).....	76
3. インタビュー結果(抜粋).....	85
4. アンケート調査票.....	91

第1章 調査概要

1. 調査の目的

都道府県・市区町村が取り組む「多文化共生の推進に係る指針・計画」の策定に資するため、国(総務省)が平成18年に策定した「地域における多文化共生推進プラン」が令和2年に改訂され、地域の実情に合わせた地域版の「地域における多文化共生推進プラン」の策定、見直しが求められています。国の方針を踏まえ、本市においても「武蔵野市第六期長期計画」に、「多文化共生社会の実現に向けて、日本人と外国人がともに理解し、尊重し合い、活躍できる環境の整備を積極的に図っていく」ことを掲げており、令和4年度に「武蔵野市多文化共生推進プラン(仮称)」(以下「市プラン」とする。)を策定することとしました。

本調査は、本市において増加・定住化の傾向にあった、外国籍市民の多分野での生活支援のためのニーズについて、実態を把握し、市プランの策定に係る基礎資料とするため実施したものです。

2. 調査方法

(1) アンケート調査及びインタビュー

① 調査対象者

令和3年9月30日時点で、武蔵野市の住民基本台帳に登録されている18歳以上の外国籍市民。

② 調査期間

アンケート調査: 令和3年10月25日(月)～11月15日(月)

インタビュー: 令和3年11月20日(土)～12月5日(日)

③ 事前準備

調査の設計の参考とするため、武蔵野市国際交流協会(以下「MIA」という。)職員、MIA活動参加者、市職員等に対し、事前にヒアリングを行いました。

④ 実施内容

ア アンケート調査の配付・回収方法及び回収結果

調査対象者の国籍・地域により、表1のとおり調査票を郵送し、同封した返信用封筒により回収を行いました。また、調査票郵送の際に、WEB回答フォームからも回答できる旨を案内しました。

紙面では、やさしい日本語※、英語、中国語、ネパール語の4言語を、WEB回答フォームでは韓国語を加えた5言語で実施しました。また、回収率向上のため11月5日(金)に勧奨はがきを発送しました。回収結果は表2のとおりです。

※外国人等にもわかるように配慮して、簡単にした日本語のこと。

表1: 調査票郵送の内訳

単位: 件

発送分類 (国籍・地域)	発送件数	配付した調査票の言語			
		やさしい日本語	英語	中国語	ネパール語
①ネパール	161	○	○		○
②韓国・朝鮮	473	○	○		
③その他	2,207	○	○	○	
合計	2,841				

表2:回収結果

単位：件

調査票の言語	紙面回答	WEB回答	合計
やさしい日本語	415	164	579
英語	239	109	348
中国語	106	110	216
ネパール語	34	8	42
韓国語		40	40
合計	794	431	1,225(回収率 43.1%)

イ インタビュー

アンケート調査の結果を補完することを目的に、アンケート調査にてインタビュー協力の意思表示があった方に対して、対面またはオンラインでインタビューを実施しました。

なお、多数の方に協力の意思表示をいただきましたが、日程の都合上、実施日を調整し下表のとおり実施しました。

種別	実施日	人数	人数計	合計
個別(オンライン等)	11月20日(土)	9名	38名	58名
	11月22日(月)	5名		
	11月24日(水)	8名		
	11月29日(月)	1名		
	11月30日(火)	3名		
	12月2日(木)	5名		
	12月5日(日)	7名		
グループ(対面)	11月20日(土)	4名	20名	
	11月29日(月)	4名		
		1名*		
	11月30日(火)	1名*		
		6名		
12月5日(日)	4名			

※グループ(対面)で人数が1名の回は、日程調整後のキャンセルにより1名で実施となった回です。

(2) 属性別ヒアリング調査

多面的に実態等を把握するために、アンケート調査に回答しにくいことが予想される方や外国籍市民と関わりがある日本人などに対して属性別ヒアリング調査を実施しました。詳細は下表のとおりです。

No.	対象	人数	国籍・地域 ^{※1}	実施日	実施方法	
1	市内大学留学生	2名	韓国 モンゴル	令和3年 11月5日(金)	1名ずつオンラインにて実施	
2	日本語初学者 ^{※2}	9名	アメリカ アルゼンチン タイ 中国 ブラジル	令和3年 11月5日(金) 11月6日(土)	教室終了後に対面にてグループヒアリングを実施	
3	外国につながる子ども ^{※3}	①MIAの学習支援を受けている子ども	4名	韓国 中国 ネパール ベトナム	令和3年 11月10日(水)	1名ずつ対面にて実施
	②市教育委員会帰国・外国人教育相談室の支援を受けている、もしくは支援を受けていた子ども	3名	カナダ ネパール バングラデシュ	令和3年 12月1日(水)	2名は、1名ずつ対面にて実施 1名はメールにて実施	
4	外国籍市民コミュニティ	4名	ネパール	令和3年 11月22日(月)	オンラインにて実施	
5	外国籍市民と関わりがある日本人(外国籍市民を雇用している法人)	1名	—	令和3年 11月18日(木)	オンラインにて実施	

※1:国籍・地域は日本語であいうえお順に記載しています。また、回答者の申告等をもとに記載しており、必ずしも国籍と一致するものではありません。

※2:MIAの日本語学習支援を受けている市民のことを指します。

※3:両親またはどちらかの親が外国籍である、日本語が母語でない、などの背景をもつ子どものことを指します。

3. 報告書の見方

- グラフの「n (number of case)」は、質問項目に対する回答者数を表しています。
- 回答比率は百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出するため、単数回答であっても合計が100.0%にならない場合があります。
- 質問項目に「複数回答」とあるものに関しては、1人の回答者が複数の選択肢に回答することができる質問項目であるため、すべての回答比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- クロス集計表において、「回答者数」は質問項目に対する回答人数(人)を表しています。「回答者数」以外の数値は回答比率(%)を表しています。また、分析軸となる設問に「無回答」がある場合は表示していません。そのため、分析軸の各「回答者数」の合計が「合計」の数値と一致しない場合があります。
- 第2章1(1)アンケート調査内の選択肢等の表現は、翻訳のもととした調査票(資料編に掲載)の表現を使用しています。また、括弧等の使い方を以下のとおりとしています。
「」…選択肢の文言
“ ”…結果を合計し再定義している文言
« »…クロス集計の分析軸の文言
- アンケート調査の自由記述、インタビュー結果や属性別ヒアリング調査結果は、基本的に回答いただいたとおりに掲載しています。ただし、固有名詞・個人が特定される事項等は別の表現に置き換えまたは削除しています。また、アンケート調査の自由記述において、回答言語が日本語でなかった場合、日本語への翻訳により、回答のニュアンスが変わっている可能性があります。なお、【主な意見】として掲載している内容は、代表的・特徴的な意見の要旨をとりまとめて紹介したものです。

第2章 調査結果

1. アンケート調査及びインタビュー

(1) アンケート調査

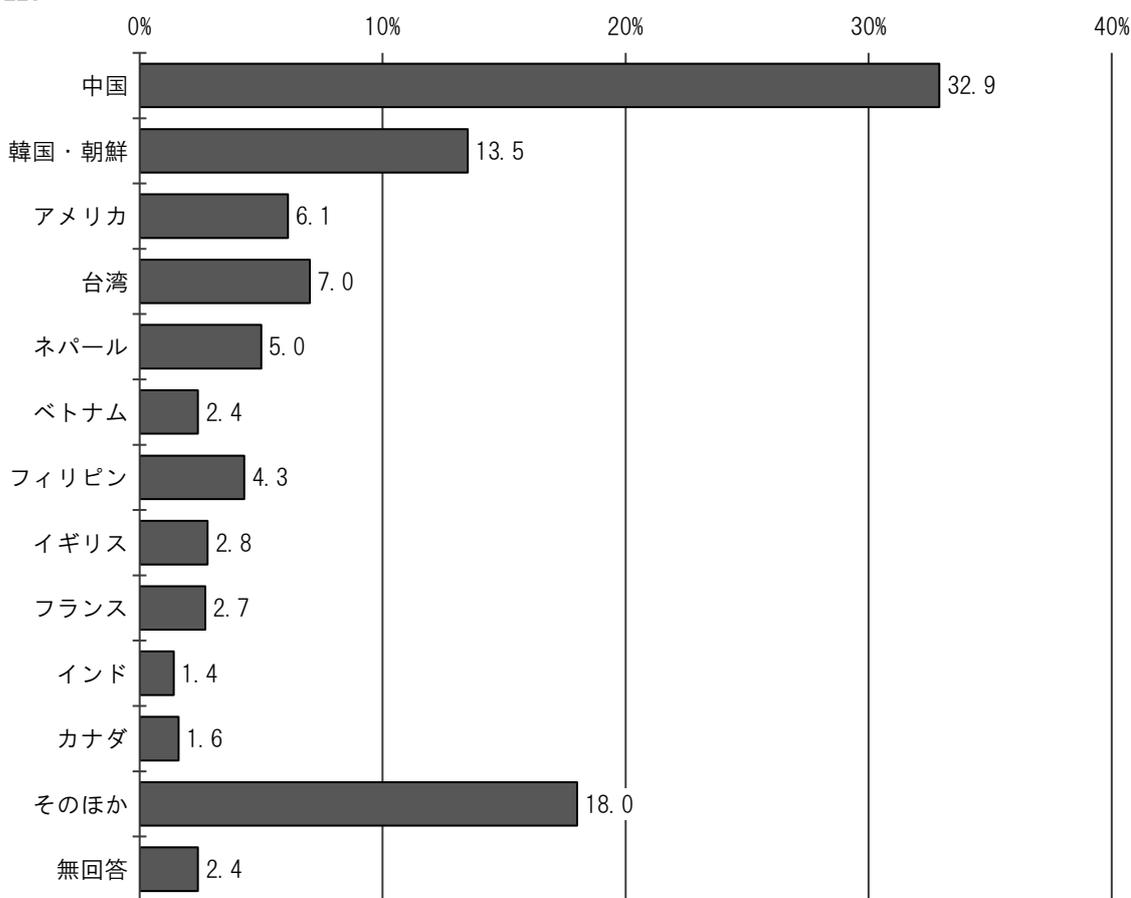
① あなたのこと

Q1 あなたの国籍・地域はどこですか。

(単数回答)

「中国」が32.9%と最も多く、次いで「韓国・朝鮮」が13.5%となっており、調査対象者と回答者の構成比は、ほぼ一致しています。

n=1,225



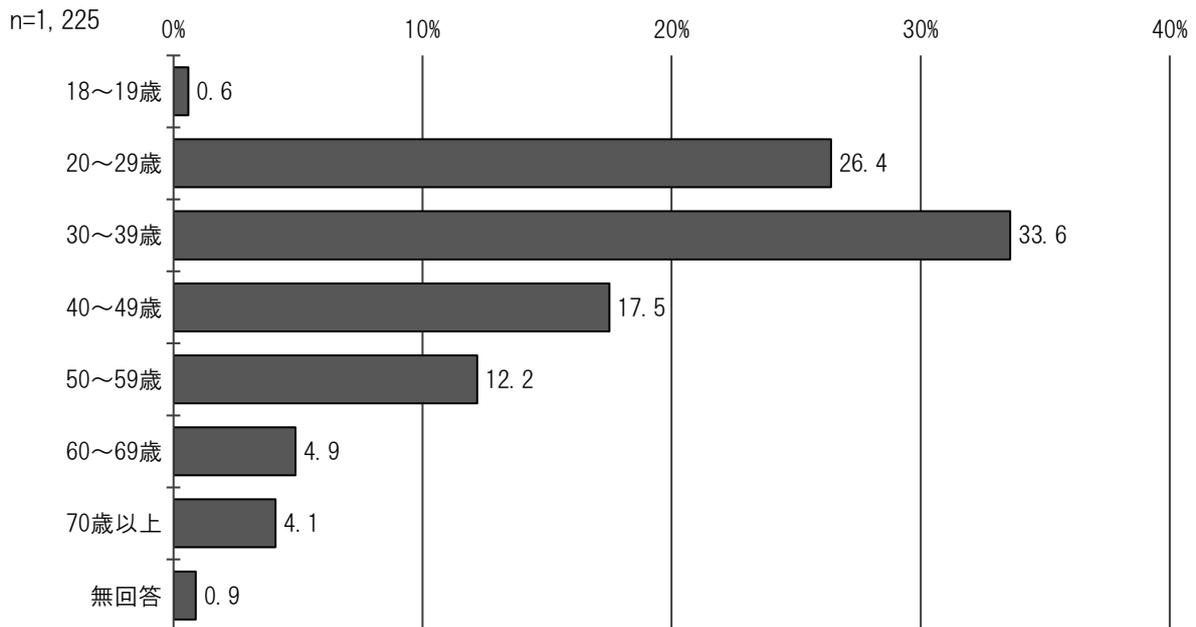
■「そのほか」記述内容(回答が5件以上あったもの)

国・地域	%	国・地域	%
タイ	1.6	アイルランド	0.5
インドネシア	1.6	シンガポール	0.5
マレーシア	1.4	ドイツ	0.5
オーストラリア	1.0	トルコ	0.5
ブラジル	0.7	ニュージーランド	0.5
香港	0.7	バングラデシュ	0.5
イタリア	0.6	オランダ	0.4
モンゴル	0.6	ミャンマー	0.4

Q2 あなたは何歳ですか。

(単数回答)

「30～39歳」が33.6%と最も多く、次いで「20～29歳」が26.4%、「40～49歳」が17.5%となっています。



■クロス集計:Q1 国籍・地域×Q2 年齢

国籍・地域別にみると、多くの国籍・地域で20歳代または30歳代が多くなっています。

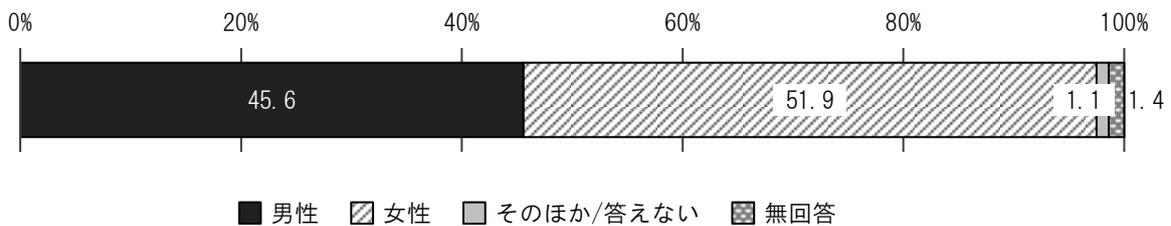
		回答者数	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
Q1 国籍・地域	合計	1,225	0.6	26.4	33.6	17.5	12.2	4.9	4.1	0.9
	中国	403	1.0	38.5	35.0	12.4	7.9	4.2	1.0	0.0
	韓国・朝鮮	165	0.6	15.8	24.8	21.2	19.4	8.5	9.7	0.0
	アメリカ	75	0.0	9.3	29.3	21.3	14.7	8.0	17.3	0.0
	台湾	86	1.2	22.1	38.4	16.3	11.6	4.7	5.8	0.0
	ネパール	61	0.0	32.8	52.5	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	ベトナム	30	0.0	50.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	フィリピン	53	0.0	11.3	18.9	26.4	34.0	7.5	1.9	0.0
	イギリス	34	0.0	11.8	32.4	26.5	17.6	2.9	8.8	0.0
	フランス	33	0.0	12.1	45.5	24.2	9.1	6.1	3.0	0.0
	インド	17	0.0	29.4	23.5	17.6	23.5	5.9	0.0	0.0
	カナダ	19	5.3	5.3	15.8	21.1	31.6	10.5	10.5	0.0
	そのほか	220	0.0	26.4	37.3	20.0	10.9	3.6	1.8	0.0

Q3 あなたの性別はどれですか。

(単数回答)

「女性」が51.9%、「男性」が45.6%と、男女比にはあまり差が見られません。

n=1,225

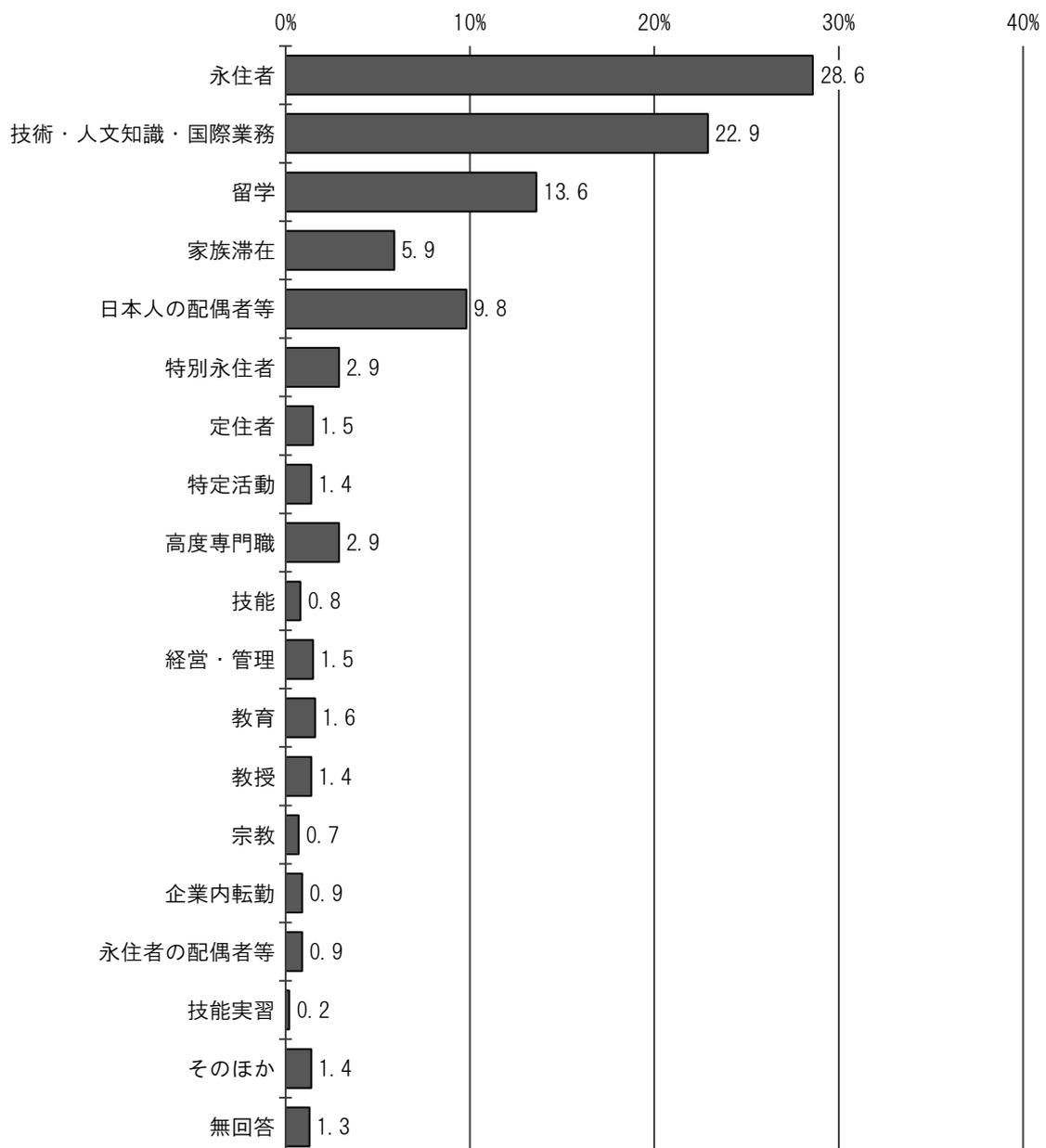


Q4 あなたの今の在留資格は何ですか。

(単数回答)

「永住者」が28.6%と最も多く、次いで「技術・人文知識・国際業務」が22.9%、「留学」が13.6%となっています。

n=1,225



*本人が回答した内容であり、実際の在留資格と異なる場合があります。

■クロス集計:Q1 国籍・地域×Q4 在留資格

国籍・地域別にみると、「中国」、「韓国・朝鮮」、「アメリカ」、「フィリピン」、「イギリス」、「カナダ」で「永住者」が、「台湾」、「フランス」、「インド」、「そのほか」で「技術・人文知識・国際業務」が、「ベトナム」で「留学」が、「ネパール」で「家族滞在」が、それぞれ最も多くなっています。

また、「中国」、「ベトナム」で「留学」が、それぞれ3割弱から3割台と、他に比べて多くなっています。

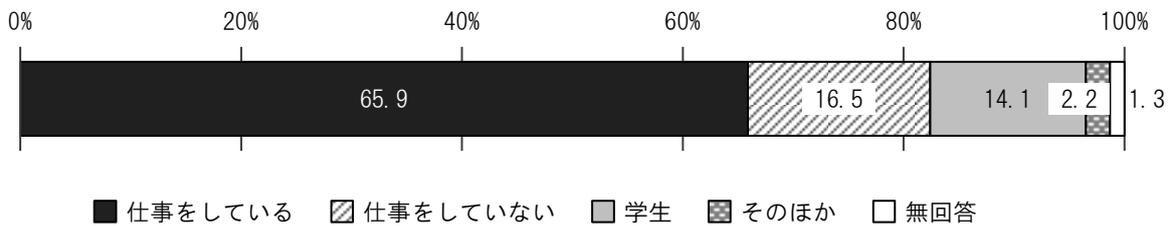
		回答者数	永住者	技術・人文 知識・国際 業務	留学	家族滞在	日本人の配 偶者等	特別永住者	定住者	特定活動	高度専門職	技能
Q1 国籍・ 地域	合計	1,225	28.6	22.9	13.6	5.9	9.8	2.9	1.5	1.4	2.9	0.8
	中国	403	27.5	19.9	27.0	6.7	5.5	0.2	1.2	2.0	5.0	0.5
	韓国・朝鮮	165	32.7	21.2	7.3	2.4	9.7	19.4	0.0	0.0	1.2	0.6
	アメリカ	75	38.7	17.3	0.0	4.0	6.7	0.0	2.7	0.0	2.7	0.0
	台湾	86	33.7	37.2	9.3	1.2	10.5	1.2	1.2	0.0	2.3	0.0
	ネパール	61	1.6	21.3	3.3	32.8	3.3	1.6	3.3	3.3	0.0	6.6
	ベトナム	30	6.7	33.3	36.7	0.0	10.0	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0
	フィリピン	53	52.8	17.0	0.0	3.8	15.1	0.0	3.8	0.0	1.9	0.0
	イギリス	34	41.2	17.6	0.0	0.0	20.6	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9
	フランス	33	30.3	33.3	9.1	0.0	24.2	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0
	インド	17	23.5	41.2	0.0	17.6	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	カナダ	19	52.6	21.1	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そのほか	220	22.7	26.4	9.1	5.0	15.0	0.0	1.8	2.3	3.2	0.9	
		回答者数	経営・管理	教育	教授	宗教	企業内転勤	永住者の配 偶者等	技能実習	そのほか	無回答	
Q1 国籍・ 地域	合計	1,225	1.5	1.6	1.4	0.7	0.9	0.9	0.2	1.4	1.3	
	中国	403	2.5	0.0	0.5	0.0	0.2	0.7	0.0	0.0	0.5	
	韓国・朝鮮	165	0.6	0.0	0.6	0.0	2.4	0.6	0.0	1.2	0.0	
	アメリカ	75	2.7	9.3	5.3	8.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	
	台湾	86	0.0	1.2	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	
	ネパール	61	8.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.1	1.6	
	ベトナム	30	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	
	フィリピン	53	0.0	3.8	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	イギリス	34	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	フランス	33	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	インド	17	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
	カナダ	19	0.0	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
そのほか	220	0.0	2.3	3.2	0.5	1.4	1.8	0.9	3.2	0.5		

Q5 あなたは仕事をしていますか。

(単数回答)

「仕事をしている」が65.9%と最も多く、次いで「仕事をしていない」が16.5%、「学生」が14.1%となっています。

n=1,225

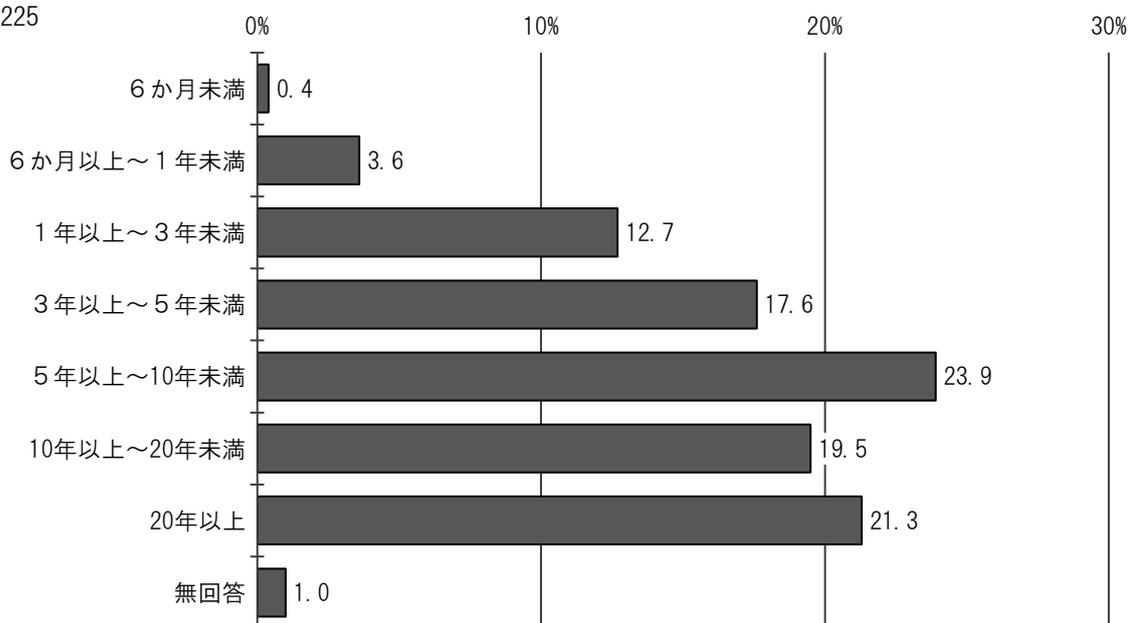


Q6 あなたは、これまでの合計で、日本にどれくらい住んでいますか。

(単数回答)

「5年以上～10年未満」が23.9%と最も多く、次いで「20年以上」が21.3%、「10年以上～20年未満」が19.5%となっています。

n=1,225



■クロス集計:Q1 国籍・地域×Q6居住年数

国籍・地域別にみると、「中国」、「台湾」、「ネパール」、「ベトナム」、「フランス」で「5年以上～10年未満」が、「フィリピン」で「10年以上～20年未満」が、「韓国・朝鮮」、「アメリカ」、「イギリス」、「カナダ」で「20年以上」が、それぞれ最も多くなっています。

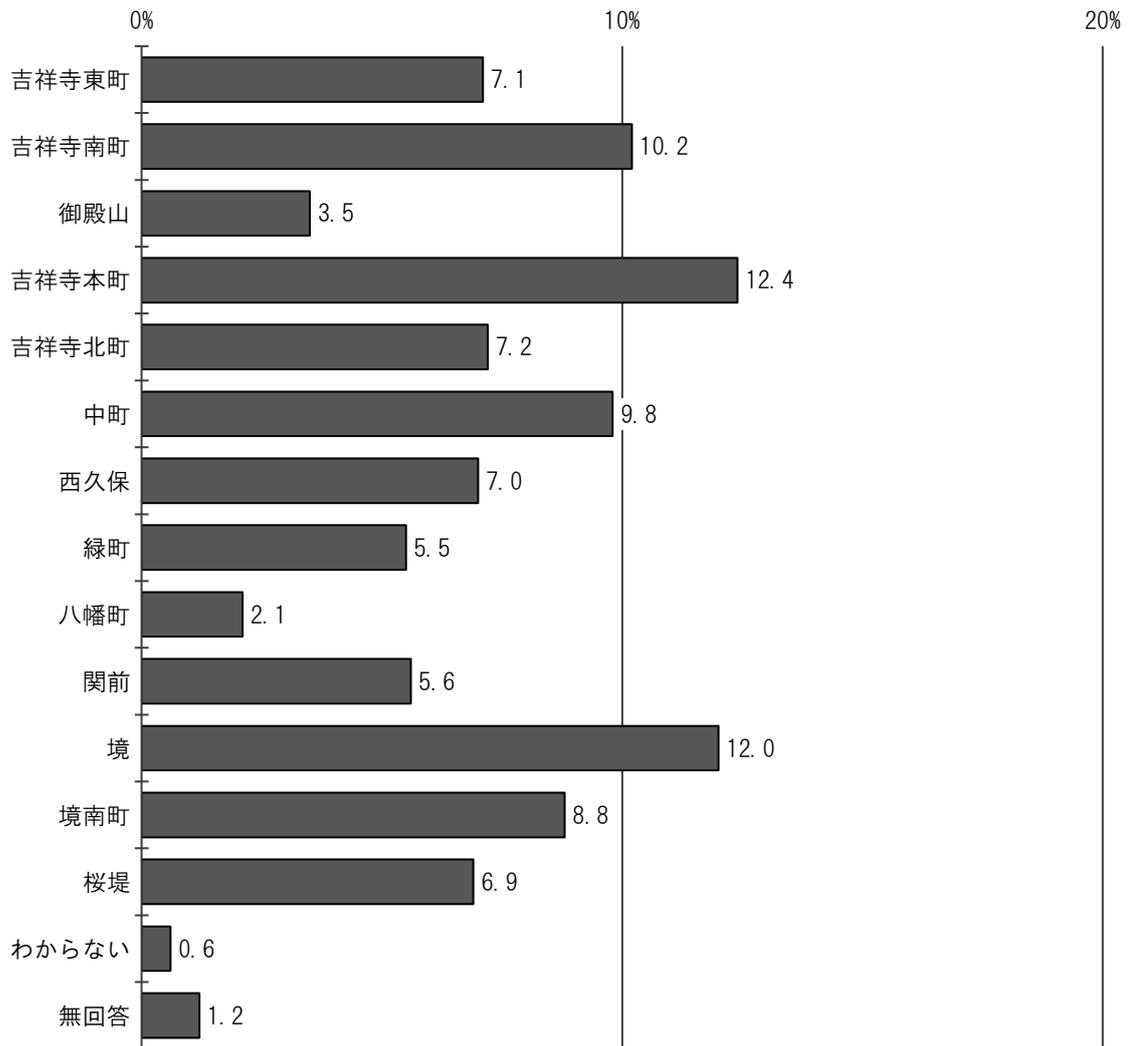
		回答者数	6か月未満	6か月以上～1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上	無回答
Q1 国籍・地域	合計	1,225	0.4	3.6	12.7	17.6	23.9	19.5	21.3	1.0
	中国	403	0.5	6.9	13.9	21.3	23.1	20.6	13.6	0.0
	韓国・朝鮮	165	0.0	0.6	10.9	9.1	13.3	18.8	46.7	0.6
	アメリカ	75	1.3	1.3	13.3	12.0	14.7	20.0	37.3	0.0
	台湾	86	0.0	0.0	15.1	19.8	26.7	18.6	19.8	0.0
	ネパール	61	0.0	1.6	9.8	13.1	57.4	14.8	3.3	0.0
	ベトナム	30	0.0	3.3	13.3	26.7	36.7	16.7	3.3	0.0
	フィリピン	53	0.0	1.9	5.7	11.3	15.1	34.0	32.1	0.0
	イギリス	34	0.0	0.0	11.8	11.8	26.5	20.6	29.4	0.0
	フランス	33	0.0	3.0	9.1	15.2	33.3	18.2	21.2	0.0
	インド	17	0.0	0.0	23.5	17.6	23.5	17.6	17.6	0.0
	カナダ	19	0.0	0.0	10.5	10.5	5.3	31.6	42.1	0.0
	そのほか	220	0.9	4.1	14.1	22.3	27.7	16.4	14.5	0.0

Q7 あなたの住所は、次のうちどれですか。

(単数回答)

「吉祥寺本町」が12.4%と最も多く、次いで「境」が12.0%、「吉祥寺南町」が10.2%となっています。

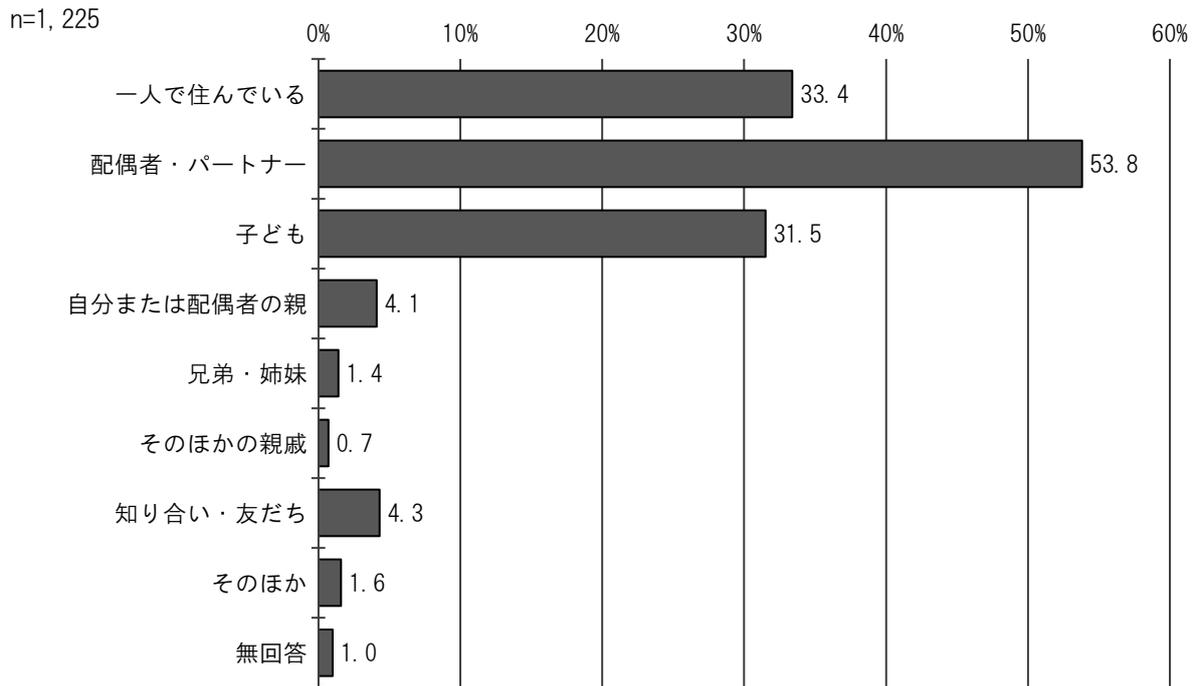
n=1,225



Q8 あなたといま、いっしょに住んでいる人はいますか。

(複数回答)

「配偶者・パートナー」が53.8%と最も多く、次いで「一人で住んでいる」が33.4%、「子ども」が31.5%となっています。

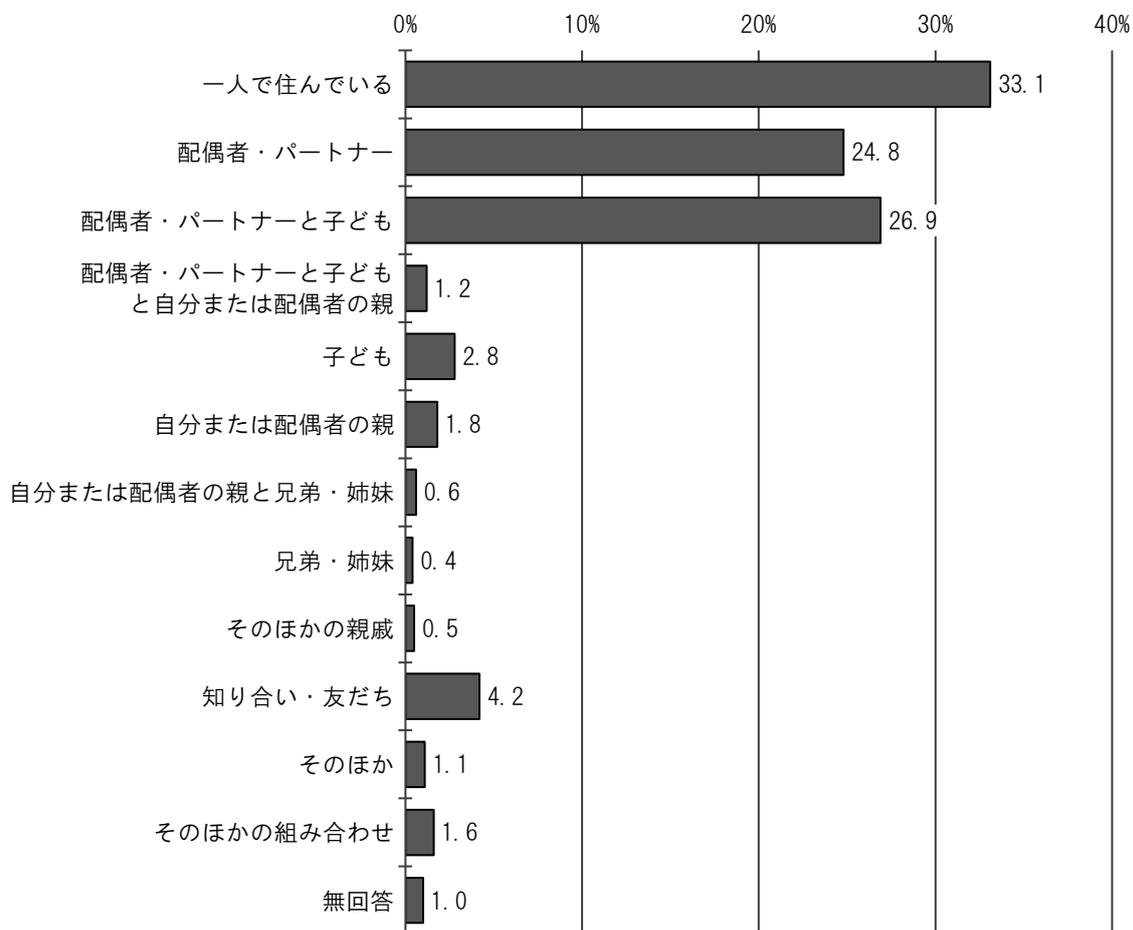


*同一世帯に対象者が複数いる場合、同一世帯の回答が重複して集計されている可能性があります。

Q8 あなたといま、いっしょに住んでいる人はいますか。
(再掲:Q8の回答を同居者の組み合わせごとに再集計)

「一人で住んでいる」が33.1%と最も多く、次いで「配偶者・パートナーと子ども」が26.9%、「配偶者・パートナー」が24.8%となっています。

n=1,225



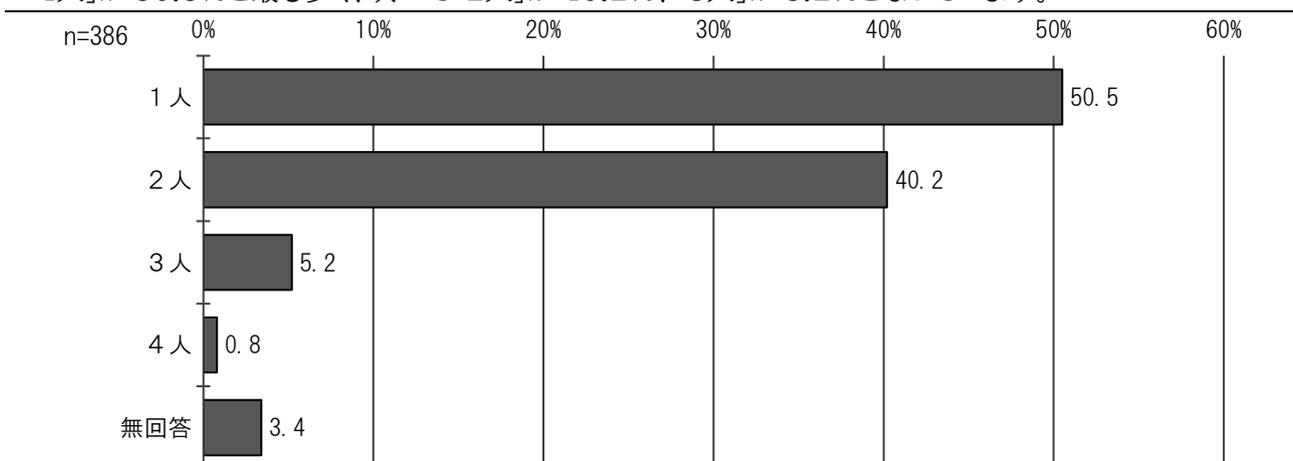
*5件未満となった組み合わせを“そのほかの組み合わせ”として算出しています。

Q9 Q8で「子ども」に○をした人は、子どもの年齢と何人いるかを教えてください。

(ア)子どもの人数

(数量回答)

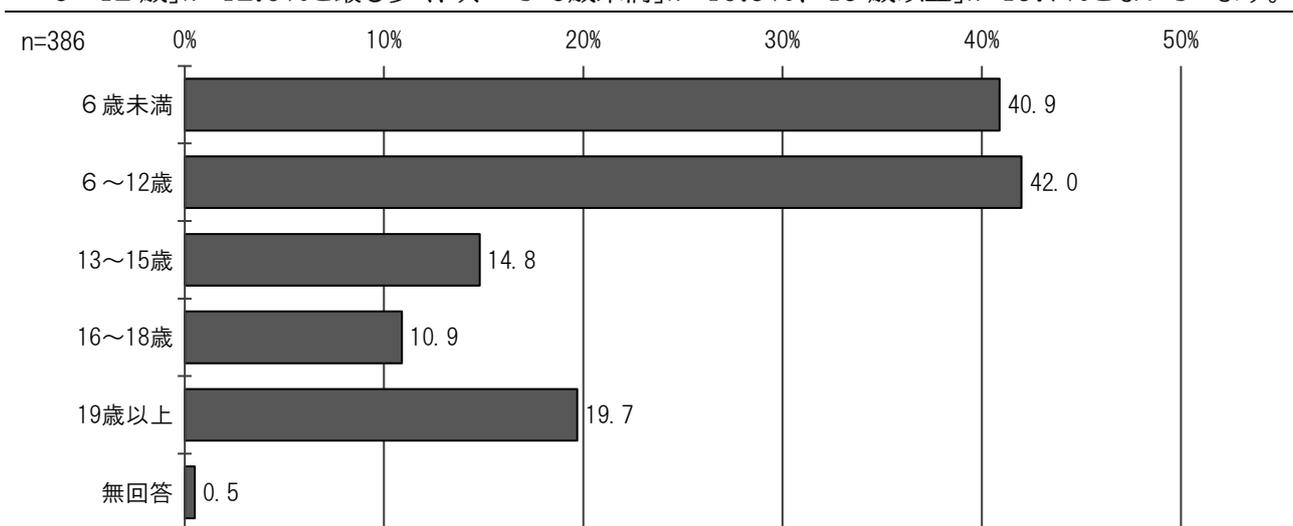
「1人」が50.5%と最も多く、次いで「2人」が40.2%、「3人」が5.2%となっています。



(イ)子どもの年齢

(複数回答)

「6～12歳」が42.0%と最も多く、次いで「6歳未満」が40.9%、「19歳以上」が19.7%となっています。



*同一世帯に対象者が複数いる場合、同一世帯の回答が重複して集計されている可能性があります。

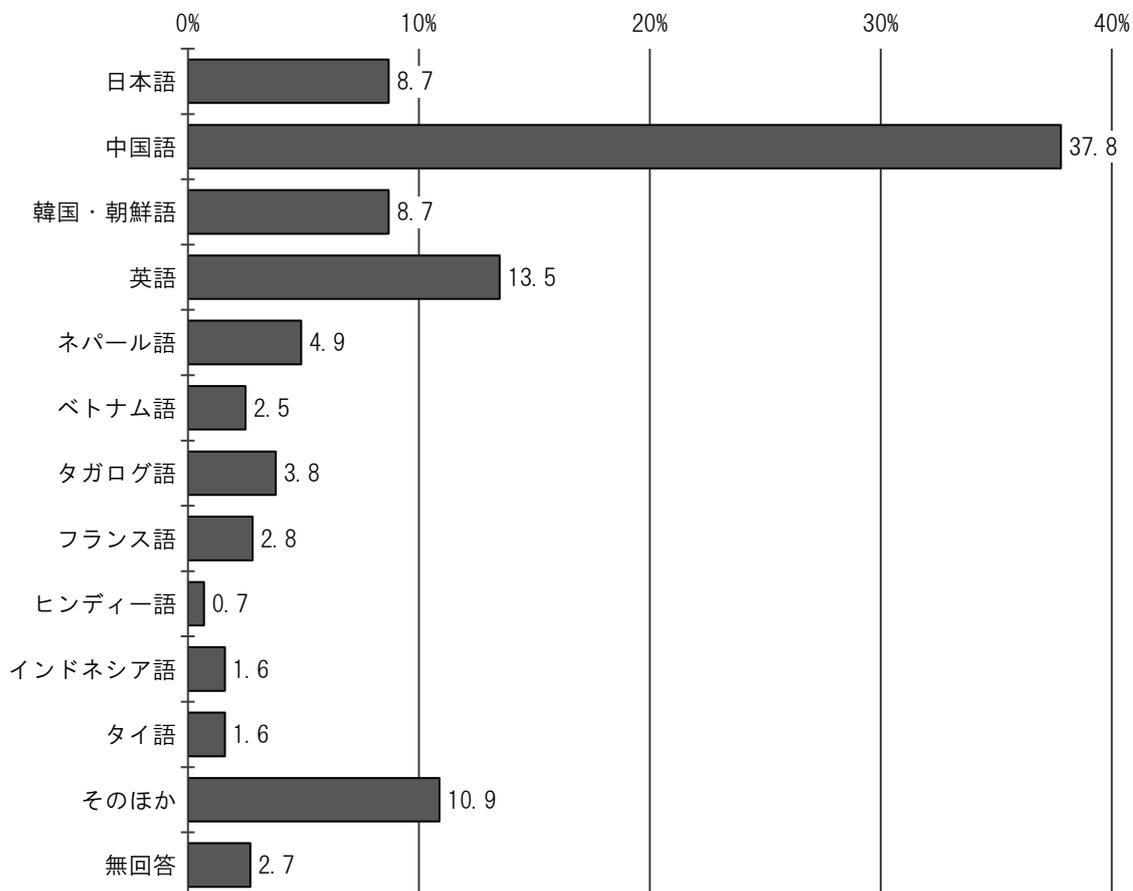
②言葉のこと

Q10 あなたの第一言語はどれですか。

(単数回答)

「中国語」が37.8%と最も多く、次いで「英語」が13.5%となっています。

n=1,225



■「そのほか」記述内容(回答が5件以上あったもの)

言語	%
スペイン語	1.5
広東語	1.1
ドイツ語	0.7
ポルトガル語	0.7
イタリア語	0.6
モンゴル語	0.6
ロシア語	0.6
トルコ語	0.5
オランダ語	0.4
タミル語	0.4
バングラ語	0.4

■クロス集計:Q10 第一言語×調査票の言語

回答者の選択した調査票の言語を第一言語別にみると、「英語」で8割、「ネパール語」で7割が、第一言語と同じ調査票を選択しています。一方で、「中国語」の5割、「韓国・朝鮮語」の6割が「やさしい日本語」を選択しています。

また、調査票にない言語では、「ベトナム語」、「タイ語」で「やさしい日本語」が、「タガログ語」、「フランス語」、「ヒンディー語」、「インドネシア語」、「そのほか」で「英語」がそれぞれ最も多くなっています。

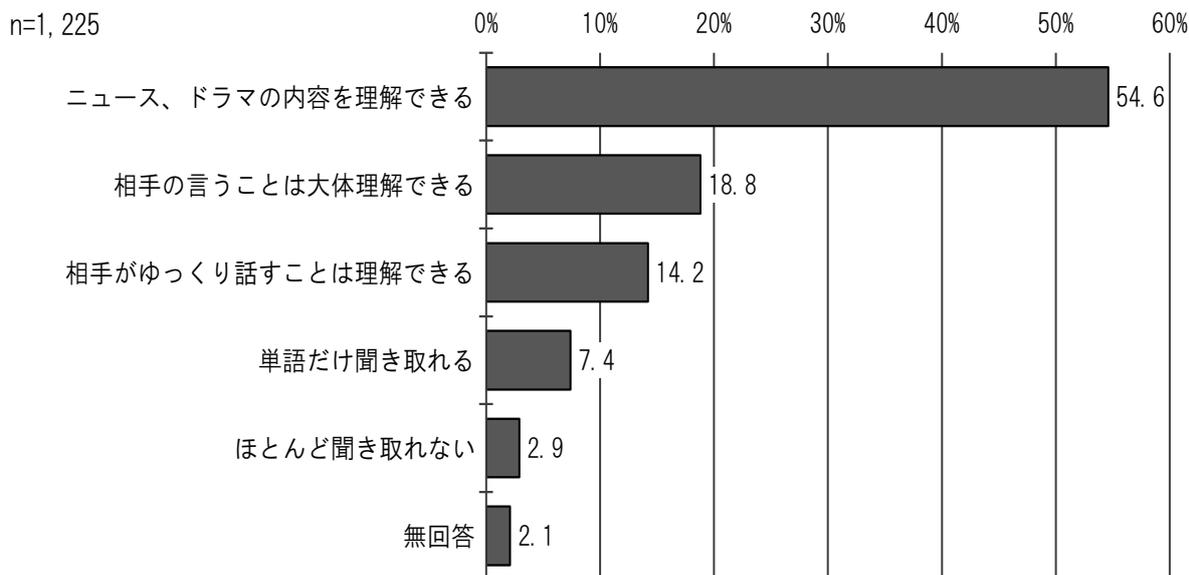
		回答者数	やさしい日本語	英語	中国語	ネパール語	韓国語
Q10 第一言語	合計	1,225	47.3	28.4	17.6	3.4	3.3
	日本語	106	96.2	0.9	1.9	0.0	0.9
	中国語	463	53.8	1.1	45.1	0.0	0.0
	韓国・朝鮮語	106	61.3	1.9	0.0	0.0	36.8
	英語	165	13.9	86.1	0.0	0.0	0.0
	ネパール語	60	10.0	20.0	0.0	70.0	0.0
	ベトナム語	31	90.3	9.7	0.0	0.0	0.0
	タガログ語	46	15.2	84.8	0.0	0.0	0.0
	フランス語	34	44.1	55.9	0.0	0.0	0.0
	ヒンディー語	8	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア語	19	26.3	73.7	0.0	0.0	0.0
	タイ語	20	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	そのほか	134	35.1	63.4	1.5	0.0	0.0

Q11 あなたはどのくらい日本語の読み書きや会話ができますか。

(ア)聞く

(単数回答)

「ニュース、ドラマの内容を理解できる」が 54.6%と最も多く、次いで「相手の言うことは大体理解できる」が 18.8%、「相手がゆっくり話すことは理解できる」が 14.2%となっています。



■クロス集計:Q10 第一言語×Q11 日本語能力 (ア)聞く

第一言語により差は見られますが、「相手がゆっくり話すことは理解できる」まで含めると概ね日本語を聞いて理解できる傾向がうかがえます。

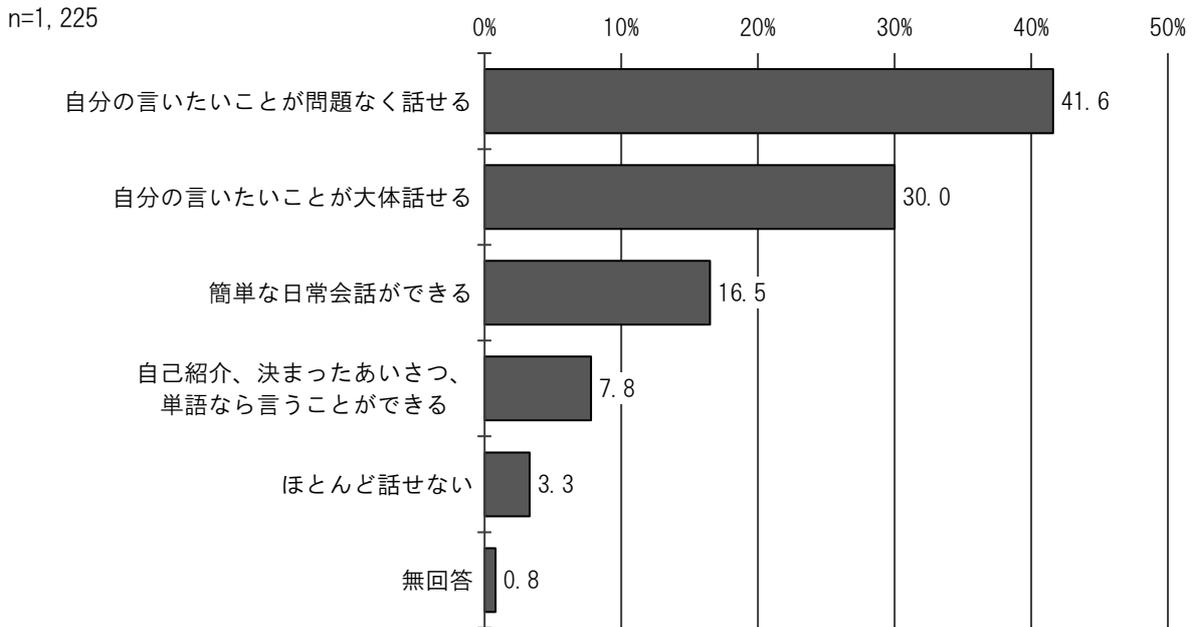
一方、「英語」、「ヒンディー語」で「単語だけ聞き取れる」が、「ネパール語」で「ほとんど聞き取れない」が、他に比べて多くなっています。

		回答者数	ニュース、ドラマの内容を理解できる	相手の言うことは大体理解できる	相手がゆっくり話すことは理解できる	単語だけ聞き取れる	ほとんど聞き取れない	無回答
Q10 第一言語	合計	1,225	54.6	18.8	14.2	7.4	2.9	2.1
	日本語	106	90.6	3.8	0.9	0.0	0.0	4.7
	中国語	463	61.8	22.2	8.9	2.8	3.5	0.9
	韓国・朝鮮語	106	86.8	7.5	3.8	1.9	0.0	0.0
	英語	165	29.1	20.6	27.3	19.4	2.4	1.2
	ネパール語	60	16.7	28.3	30.0	6.7	18.3	0.0
	ベトナム語	31	45.2	22.6	25.8	6.5	0.0	0.0
	タガログ語	46	32.6	17.4	32.6	10.9	2.2	4.3
	フランス語	34	38.2	26.5	20.6	14.7	0.0	0.0
	ヒンディー語	8	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	インドネシア語	19	63.2	15.8	15.8	5.3	0.0	0.0
	タイ語	20	30.0	20.0	40.0	10.0	0.0	0.0
	そのほか	134	44.0	20.9	16.4	14.9	2.2	1.5

(イ)話す

(単数回答)

「自分の言いたいことが問題なく話せる」が 41.6%と最も多く、次いで「自分の言いたいことが大体話せる」が 30.0%、「簡単な日常会話ができる」が 16.5%となっています。



■クロス集計:Q10 第一言語×Q11 日本語能力 (イ)話す

第一言語により差は見られますが、「簡単な日常会話ができる」まで含めると、多くの人が日本語を話すことができる傾向がうかがえます。

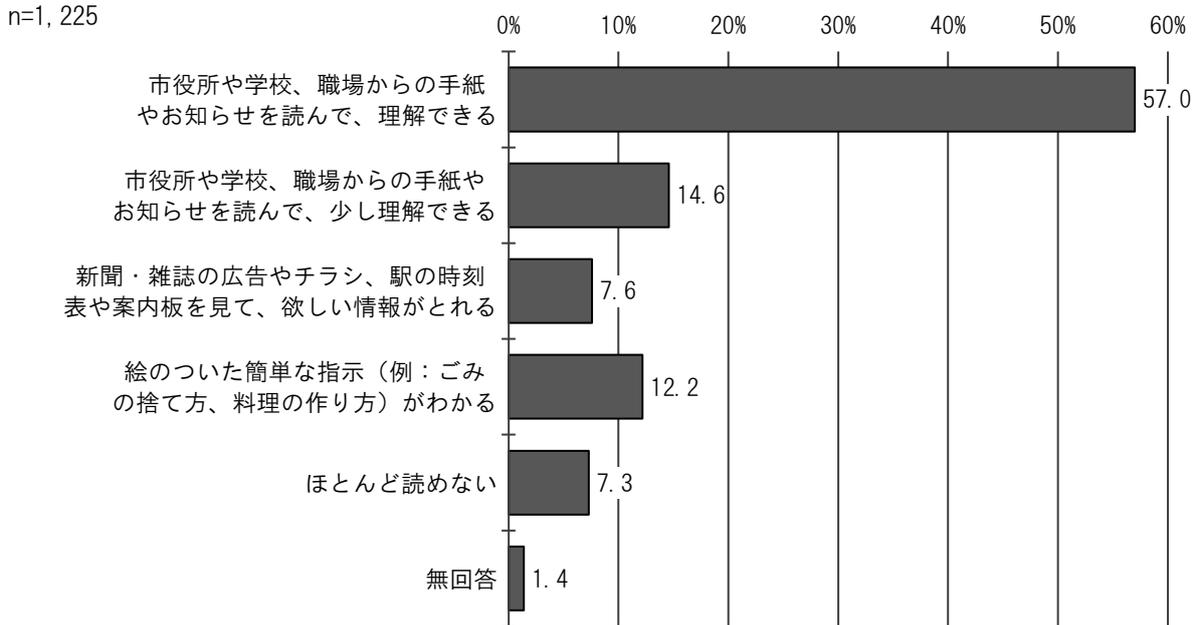
一方、「ネパール語」で「ほとんど話せない」が2割と、他に比べて多くなっています。

		回答者数	自分の言いたいことが問題なく話せる	自分の言いたいことが大体話せる	簡単な日常会話ができる	自己紹介、決まったあいさつ、単語なら言うことができる	ほとんど話せない	無回答
Q10 第一言語	合計	1,225	41.6	30.0	16.5	7.8	3.3	0.8
	日本語	106	92.5	4.7	0.9	0.0	0.0	1.9
	中国語	463	41.5	39.5	11.0	4.8	2.8	0.4
	韓国・朝鮮語	106	66.0	26.4	4.7	2.8	0.0	0.0
	英語	165	21.2	26.7	31.5	16.4	4.2	0.0
	ネパール語	60	20.0	25.0	21.7	13.3	20.0	0.0
	ベトナム語	31	32.3	41.9	22.6	3.2	0.0	0.0
	タガログ語	46	13.0	30.4	39.1	15.2	2.2	0.0
	フランス語	34	35.3	17.6	35.3	11.8	0.0	0.0
	ヒンディー語	8	37.5	37.5	0.0	25.0	0.0	0.0
	インドネシア語	19	31.6	52.6	10.5	5.3	0.0	0.0
	タイ語	20	30.0	20.0	45.0	0.0	0.0	5.0
	そのほか	134	33.6	24.6	22.4	14.2	4.5	0.7

(ウ)読む

(単数回答)

「市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」が57.0%と最も多く、次いで「市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる」が14.6%、「絵のついた簡単な指示(例:ごみの捨て方、料理の作り方)がわかる」が12.2%となっています。



■クロス集計:Q10 第一言語×Q11 日本語能力 (ウ)読む

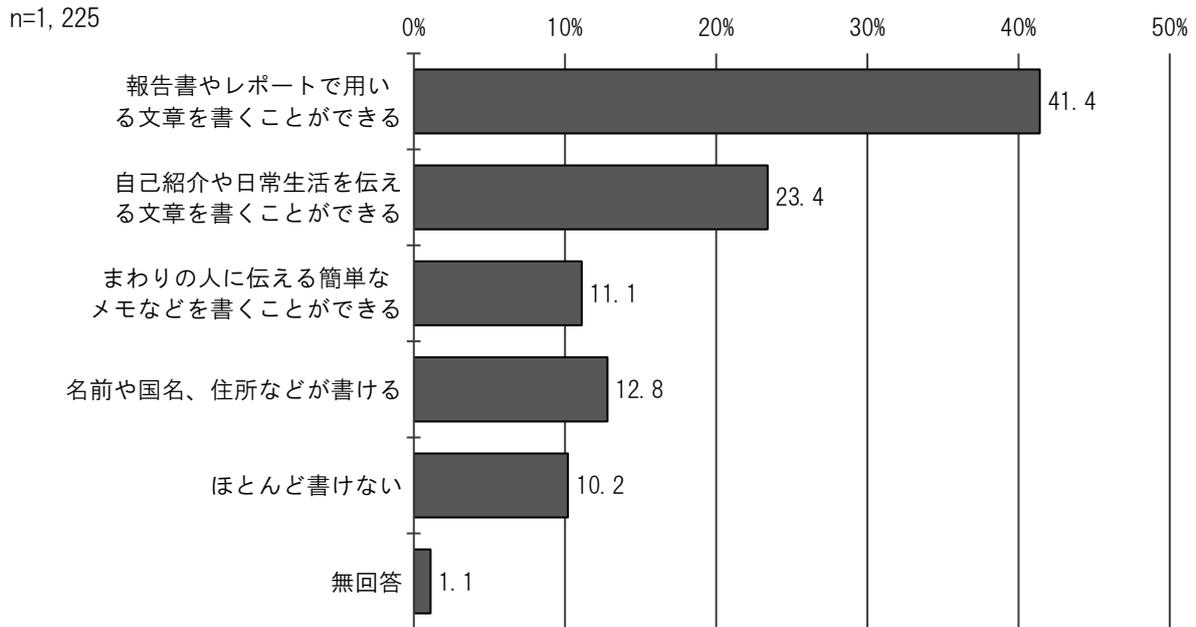
第一言語別にみると、「中国語」、「韓国・朝鮮語」で「市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」が8割と、多くの人が日本語を読んで理解できることがうかがえます。

Q10 第一言語	回答者数	Q11 日本語能力 (ウ)読む					
		市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる	市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる	新聞・雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報がとれる	絵のついた簡単な指示 (例:ごみの捨て方、料理の作り方)がわかる	ほとんど読めない	無回答
合計	1,225	57.0	14.6	7.6	12.2	7.3	1.4
日本語	106	92.5	0.9	0.9	2.8	0.9	1.9
中国語	463	80.1	10.4	2.8	4.1	2.4	0.2
韓国・朝鮮語	106	84.0	6.6	2.8	4.7	1.9	0.0
英語	165	18.8	20.6	18.2	29.1	12.7	0.6
ネパール語	60	10.0	18.3	10.0	26.7	28.3	6.7
ベトナム語	31	51.6	32.3	9.7	3.2	3.2	0.0
タガログ語	46	6.5	26.1	15.2	39.1	8.7	4.3
フランス語	34	38.2	23.5	8.8	14.7	14.7	0.0
ヒンディー語	8	12.5	37.5	0.0	12.5	37.5	0.0
インドネシア語	19	42.1	31.6	5.3	21.1	0.0	0.0
タイ語	20	20.0	25.0	15.0	20.0	15.0	5.0
そのほか	134	31.3	22.4	15.7	16.4	13.4	0.7

(工)書く

(単数回答)

「報告書やレポートで用いる文章を書くことができる」が 41.4%と最も多く、次いで「自己紹介や日常生活を伝える文章を書くことができる」が 23.4%、「名前や国名、住所などが書ける」が 12.8%となっています。



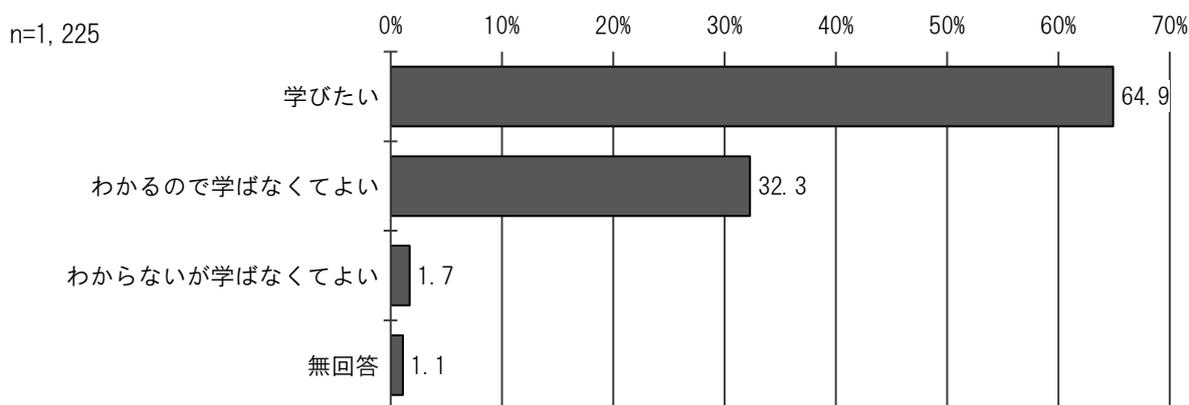
■クロス集計:Q10 第一言語×Q11 日本語能力 (工)書く

第一言語別にみると、「英語」、「タガログ語」、「タイ語」で「名前や国名、住所などが書ける」が、「ネパール語」、「ヒンディー語」で「ほとんど書けない」が、それぞれ最も多くなっています。

		回答者数	報告書やレポートで用いる文章を書くことができる	自己紹介や日常生活を伝える文章を書くことができる	まわりの人に伝える簡単なメモなどを書くことができる	名前や国名、住所などが書ける	ほとんど書けない	無回答
Q10 第一言語	合計	1,225	41.4	23.4	11.1	12.8	10.2	1.1
	日本語	106	82.1	8.5	2.8	0.9	2.8	2.8
	中国語	463	51.6	29.6	10.2	5.4	2.8	0.4
	韓国・朝鮮語	106	62.3	22.6	6.6	6.6	1.9	0.0
	英語	165	16.4	20.6	11.5	27.3	24.2	0.0
	ネパール語	60	8.3	25.0	6.7	28.3	30.0	1.7
	ベトナム語	31	45.2	25.8	16.1	6.5	6.5	0.0
	タガログ語	46	6.5	10.9	26.1	43.5	13.0	0.0
	フランス語	34	32.4	23.5	14.7	14.7	14.7	0.0
	ヒンディー語	8	12.5	25.0	12.5	12.5	37.5	0.0
	インドネシア語	19	36.8	31.6	15.8	10.5	5.3	0.0
	タイ語	20	20.0	10.0	15.0	40.0	10.0	5.0
	そのほか	134	23.9	24.6	17.2	14.9	18.7	0.7

Q12 あなたは今後、日本語を学びたいと思いますか。 (単数回答)

「学びたい」が64.9%と最も多く、次いで「わかるので学ばなくてよい」が32.3%、「わからないが学ばなくてよい」が1.7%となっています。



■クロス集計:Q6 居住年数×Q12 今後日本語を学びたいか

居住年数別にみると、年数が増えるにつれ、「わかるので学ばなくてよい」が多くなる傾向にあります。

		回答者数	学びたい	わかるので学ばなくてよい	わからないが学ばなくてよい	無回答
Q6 居住年数	合計	1,225	64.9	32.3	1.7	1.1
	6か月未満	5	100.0	0.0	0.0	0.0
	6か月以上～1年未満	44	81.8	18.2	0.0	0.0
	1年以上～3年未満	156	84.6	14.1	1.3	0.0
	3年以上～5年未満	215	79.1	19.5	1.4	0.0
	5年以上～10年未満	293	70.3	26.6	2.0	1.0
	10年以上～20年未満	239	61.5	36.8	1.3	0.4
	20年以上	261	36.0	58.6	2.7	2.7

Q13 Q12で「わからないが学ばなくてよい」に○をした人は、理由を教えてください。(自由記述)

【主な意見】

- 高齢・健康上の理由のため。
- 不自由を感じない、通訳が身近にいて学ぶ必要がないため。
- 日本語が難しいため。

Q14 日本語がわかることで、あなたができるようになったことはありますか。また、今よりも日本語ができるようになったらやりたいことはありますか。 (自由記述)

■できるようになったこと【主な意見】

- 日本で就職・仕事ができるようになった。
- パート・アルバイトを始めることができた。
- 資格を取得できた。
- 日本語で表現できるようになった、日本語で物事を理解できるようになった。
- 映画・テレビ・アニメの鑑賞、読書、旅行など娯楽が増えた。
- 通院や生活上に必要な手続きなど自力でできることが増えた。
- 買い物や飲食店での応対等、日常生活が円滑に行えるようになった。
- 日本に留学、日本で進学できるようになった。
- コミュニケーション・交友関係の幅が広がった。
- ボランティア活動ができるようになった。

■今よりもできるようになったらやりたいこと【主な意見】

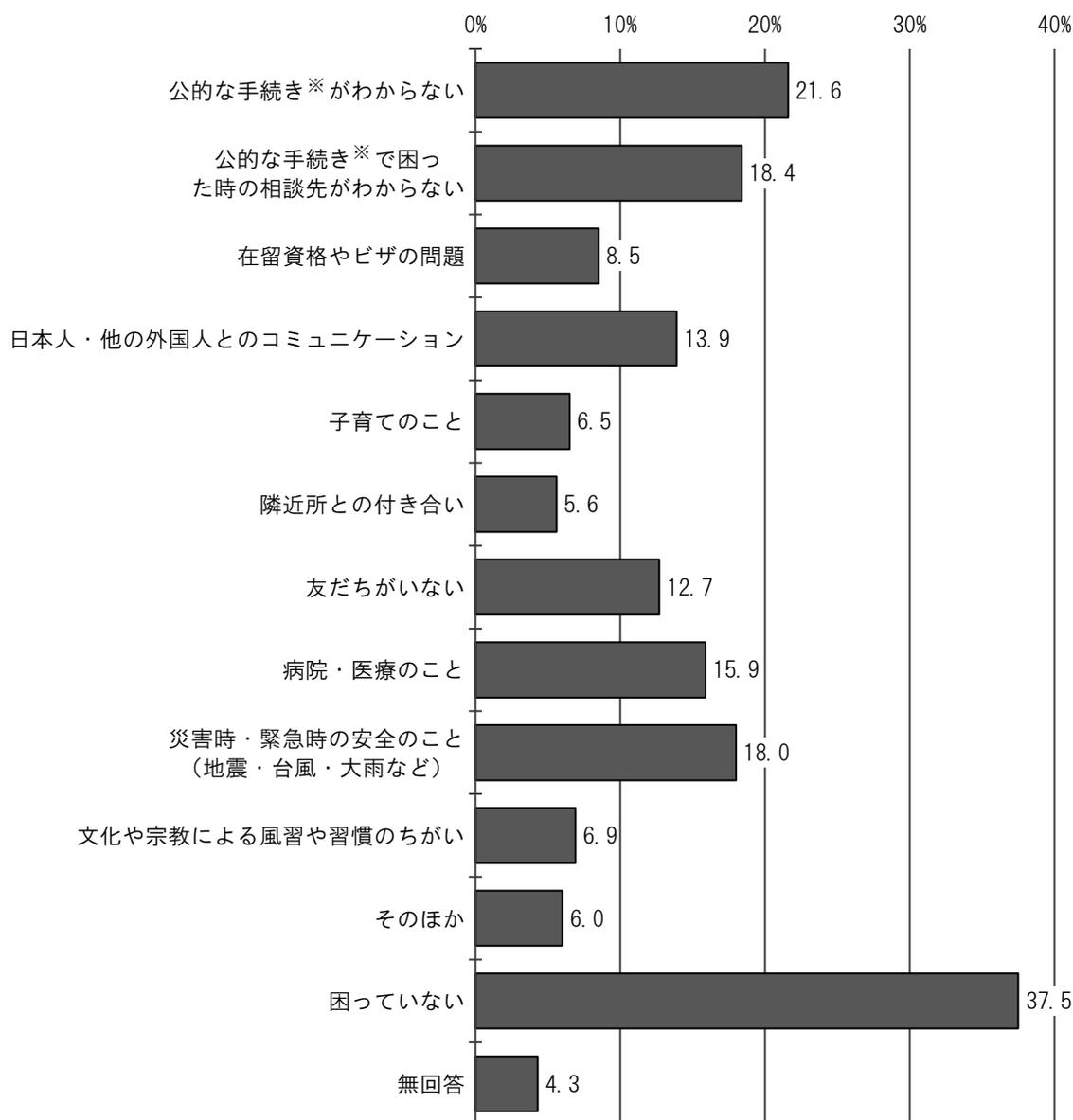
- より良い仕事に就きたい。日本で就職したい。
- パート・アルバイトがしたい。
- 通訳・翻訳の仕事がしたい。
- 映画・テレビの鑑賞、読書、旅行、料理など趣味・活動の幅を広げたい。
- 日本文化や歴史をもっと理解したい。
- 通院や生活上の手続きなど自力でできることを増やしたい。
- ボランティア・社会貢献活動がしたい。
- 日本の大学・大学院で学びたい。
- 日本人とコミュニケーションをとりたい。交流したい。友だちを増やしたい。
- 自分の意見を表現したい。
- 日本語の不自由な友だちを助けたい、自国文化を日本人等に教えたい。
- 資格を取得したい。
- 発音・アクセント・敬語・漢字・カタカナなど、もっと日本語を上達させたい。

③あなたが困っていること

Q15 あなたは生活の中で不便を感じていることや困っていることはありますか。 (複数回答)

「困っていない」が37.5%と最も多く、次いで「公的な手続き※がわからない」が21.6%、「公的な手続き※で困った時の相談先がわからない」が18.4%となっています。

n=1,225



※公的な手続き: 学校、幼稚園、保育園、健康保険、病院、税金、年金、ごみの出し方のこと。

■クロス集計:Q6 居住年数×Q15 生活の中での困りごと

居住年数が増えるにつれ困りごとが減り、「困っていない」が多くなる傾向にあります。

		回答者数	公的な手続きがわからない	公的な手続きで困った時の相談先がわからない	在留資格やビザの問題	日本人・他の外国人とのコミュニケーション	子育てのこと	隣近所との付き合い	友だちがいない
Q6 居住年数	合計	1,225	21.6	18.4	8.5	13.9	6.5	5.6	12.7
	6か月未満	5	40.0	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0
	6か月以上～1年未満	44	27.3	25.0	9.1	36.4	6.8	13.6	34.1
	1年以上～3年未満	156	28.8	31.4	11.5	27.6	3.8	10.3	24.4
	3年以上～5年未満	215	28.8	27.0	14.0	22.3	4.2	6.0	20.0
	5年以上～10年未満	293	23.9	18.1	8.5	11.3	10.2	6.1	13.0
	10年以上～20年未満	239	17.2	14.2	7.1	5.9	10.0	3.8	6.7
	20年以上	261	11.9	6.9	3.4	5.4	2.7	1.9	2.3
		回答者数	病院・医療のこと	災害時・緊急時の安全のこと(地震・台風・大雨など)	文化や宗教による風習や習慣のちがいがい	そのほか	困っていない	無回答	
Q6 居住年数	合計	1,225	15.9	18.0	6.9	6.0	37.5	4.3	
	6か月未満	5	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
	6か月以上～1年未満	44	18.2	13.6	9.1	4.5	22.7	0.0	
	1年以上～3年未満	156	26.3	31.4	11.5	1.9	24.4	0.6	
	3年以上～5年未満	215	21.9	20.9	4.7	5.1	26.0	0.5	
	5年以上～10年未満	293	17.1	20.1	9.2	8.5	32.1	3.4	
	10年以上～20年未満	239	12.1	15.9	6.3	7.5	43.1	4.6	
	20年以上	261	6.9	8.4	4.2	5.4	58.2	10.0	

Q16 新型コロナウイルス感染症の影響であなたが困ったことは何ですか。Q15 で答えたことのほかにあれば教えてください。 (自由記述)

【主な意見】

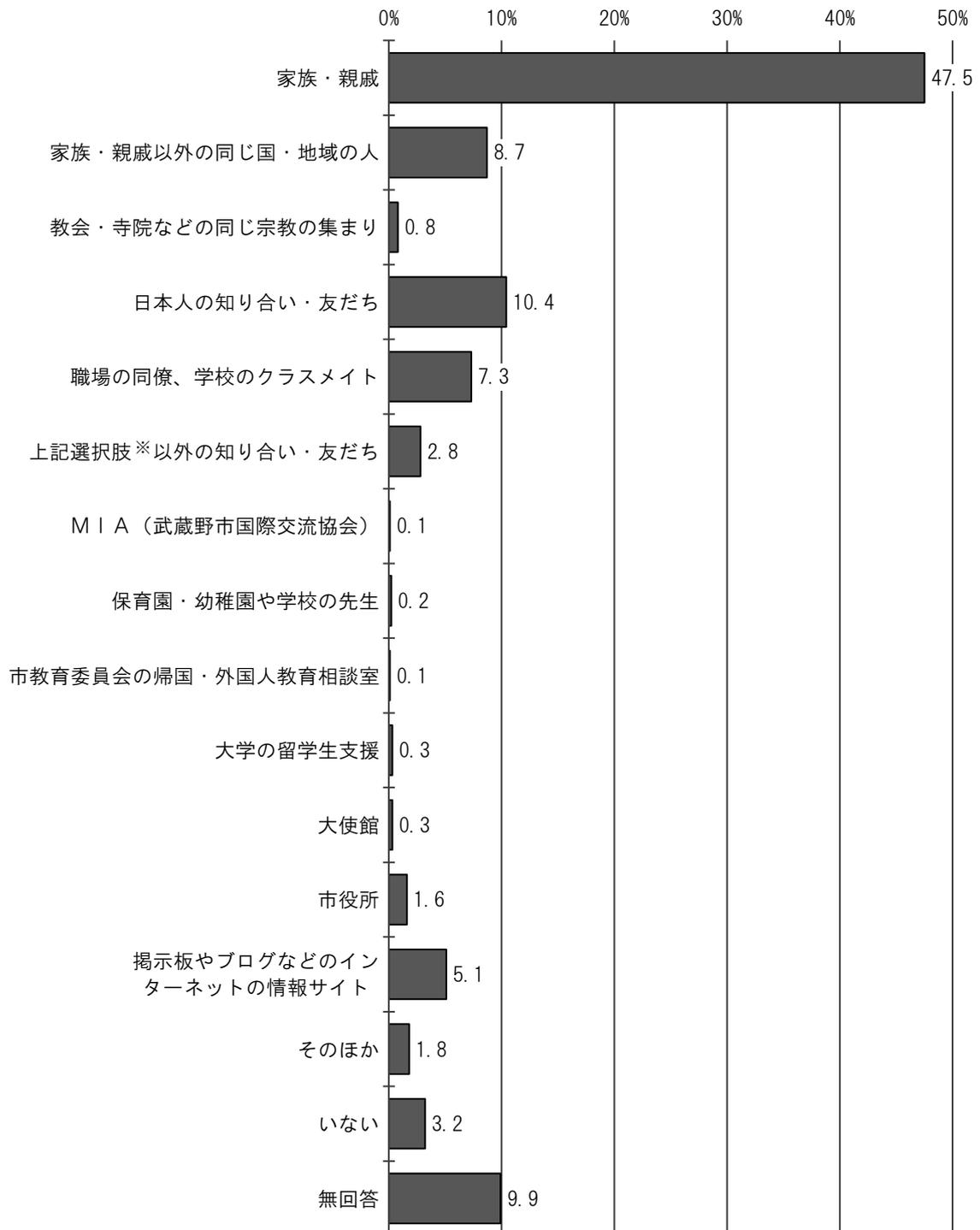
- 困っていることはない。
- 出入国が自由にできなくなったこと(家族に会えない、冠婚葬祭に出席できない、再入国ができなくなることへの不安、海外出張ができないことや隔離期間などによる仕事への支障)。
- 仕事の減少・失業等による収入減や就職難。
- 外出がしにくくなったこと(飲食店の営業時間短縮、子どもの遊び場がないなど)。
- 人と話す機会が減り、孤独感を覚える。気分が落ち込み、ストレスを抱えている。
- 日本語で話す機会が減り、日本語能力への自信がなくなってきた。
- ワクチン接種のこと(予約方法がわからなかった、予約がしづらかった)。
- 新型コロナウイルス感染への不安。
- 差別がひどくなった。

Q17 あなたは困ったとき、一番に誰に聞きますか。相談しますか。

(単数回答)

「家族・親戚」が 47.5%と最も多く、次いで「日本人の知り合い・友だち」が 10.4%、「家族・親戚以外の同じ国・地域の人」が 8.7%となっています。

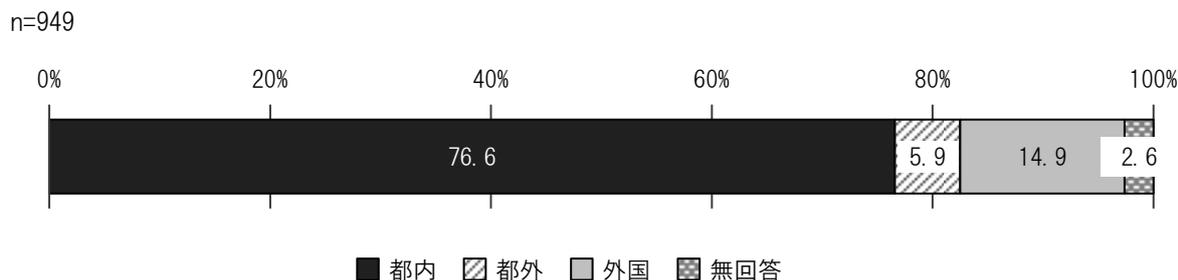
n=1, 225



※上記選択肢:「家族・親戚」、「家族・親戚以外の同じ国・地域の人」、「教会・寺院などの同じ宗教の集まり」、「日本人の知り合い・友だち」、「職場の同僚、学校のクラスメイト」を指す。

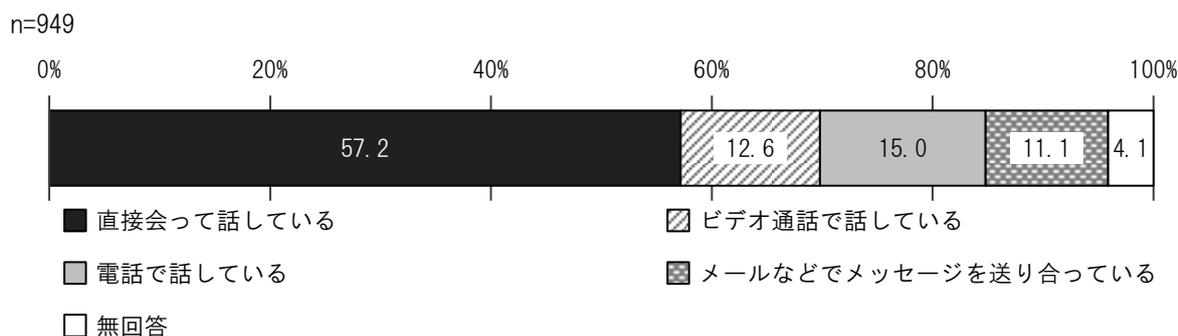
Q18 Q17で「家族・親戚」、「家族・親戚以外の同じ国・地域の人」、「教会・寺院などの同じ宗教の集まり」、「日本人の知り合い・友だち」、「職場の同僚、学校のクラスメイト」、「上記選択肢以外の知り合い・友だち」のどれかに○をした人に質問です。その人はどこにいますか。 (単数回答)

「都内」が76.6%と最も多く、次いで「外国」が14.9%、「都外」が5.9%となっています。



Q19 Q17で「家族・親戚」、「家族・親戚以外の同じ国・地域の人」、「教会・寺院などの同じ宗教の集まり」、「日本人の知り合い・友だち」、「職場の同僚、学校のクラスメイト」、「上記選択肢以外の知り合い・友だち」のどれかに○をした人に質問です。その人とはどうやってコミュニケーションをとっていますか。 (単数回答)

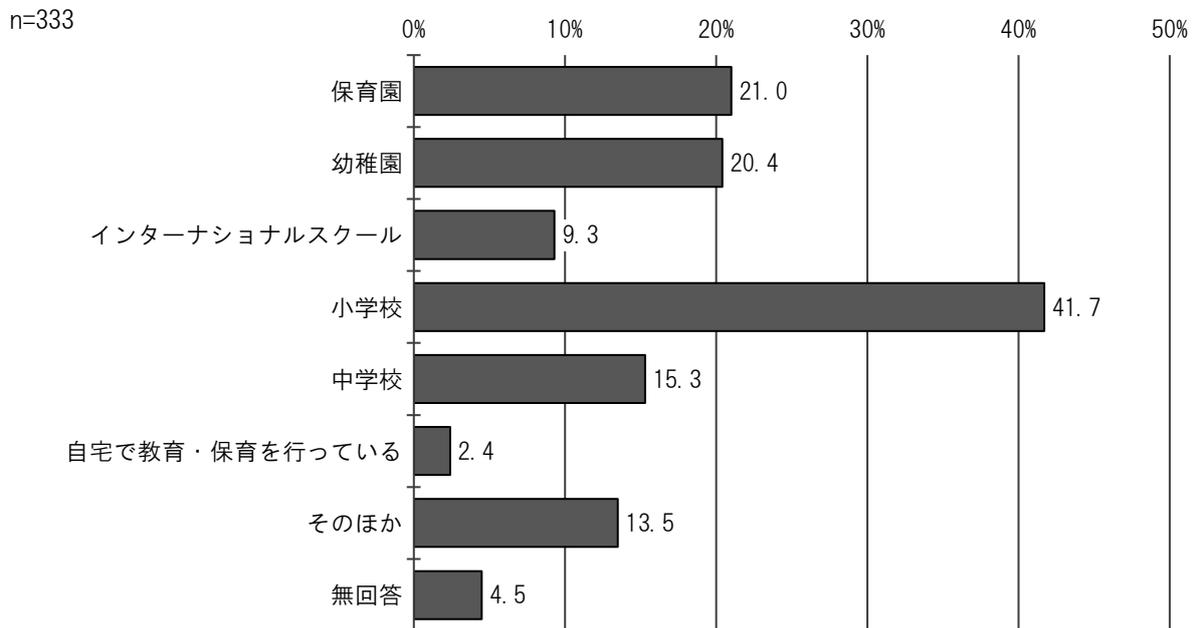
「直接会って話している」が57.2%と最も多く、次いで「電話で話している」が15.0%、「ビデオ通話で話している」が12.6%となっています。



④あなたの子どものこと(18歳未満の子どもがいる人が対象)

Q20 あなたの子どもが通っている学校などはどれですか。(複数回答)

「小学校」が41.7%と最も多く、次いで「保育園」が21.0%、「幼稚園」が20.4%となっています。



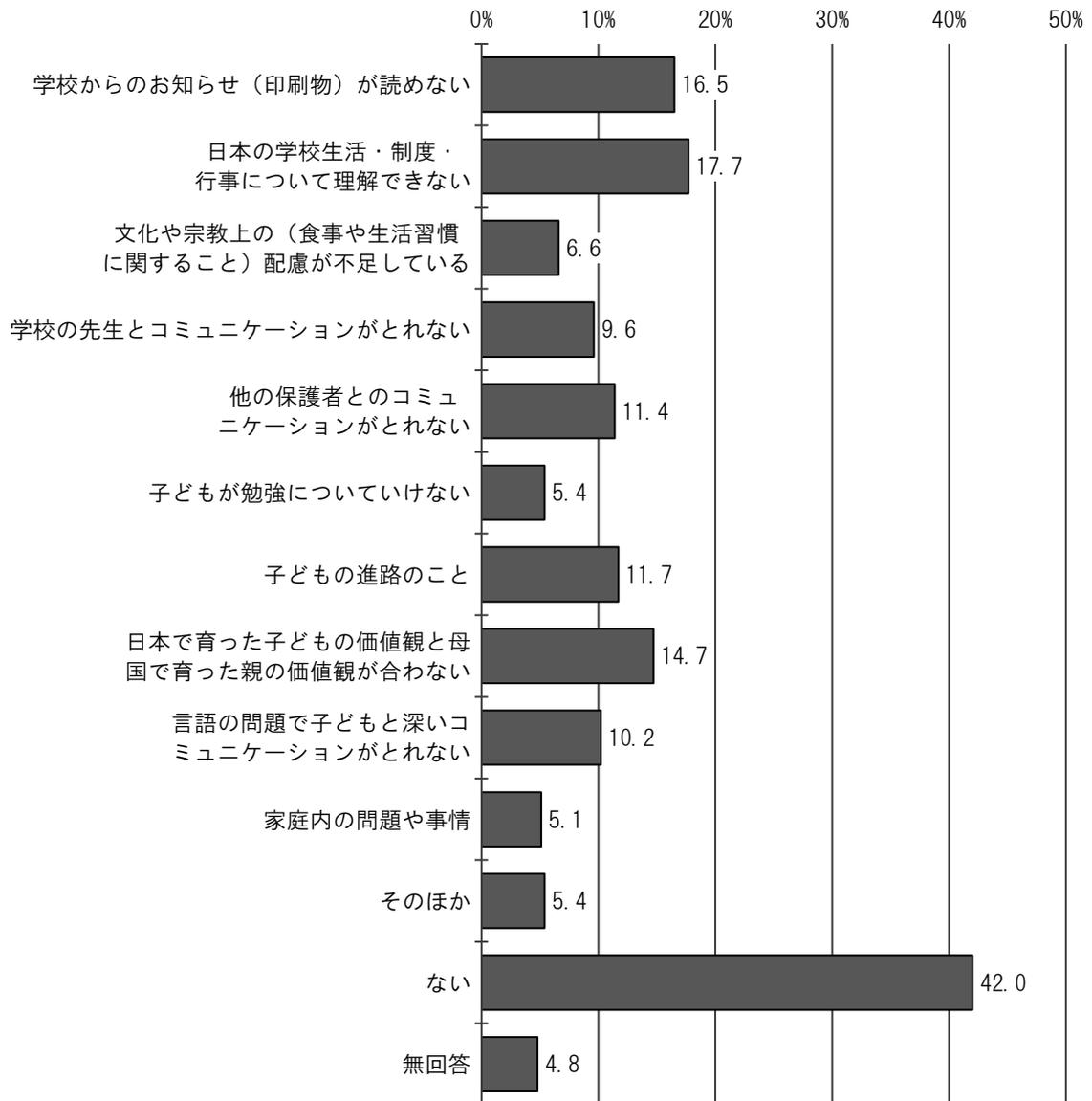
■「そのほか」記述分類(回答が5件以上あったもの)

内容	%
高等学校	6.0
未就園・学児、家庭保育中	6.0

Q21 子育てや子どもの教育であなた(保護者)が困っていることは何ですか。 (複数回答)

「ない」が42.0%と最も多く、次いで「日本の学校生活・制度・行事について理解できない」が17.7%、「学校からのお知らせ(印刷物)が読めない」が16.5%となっています。

n=333

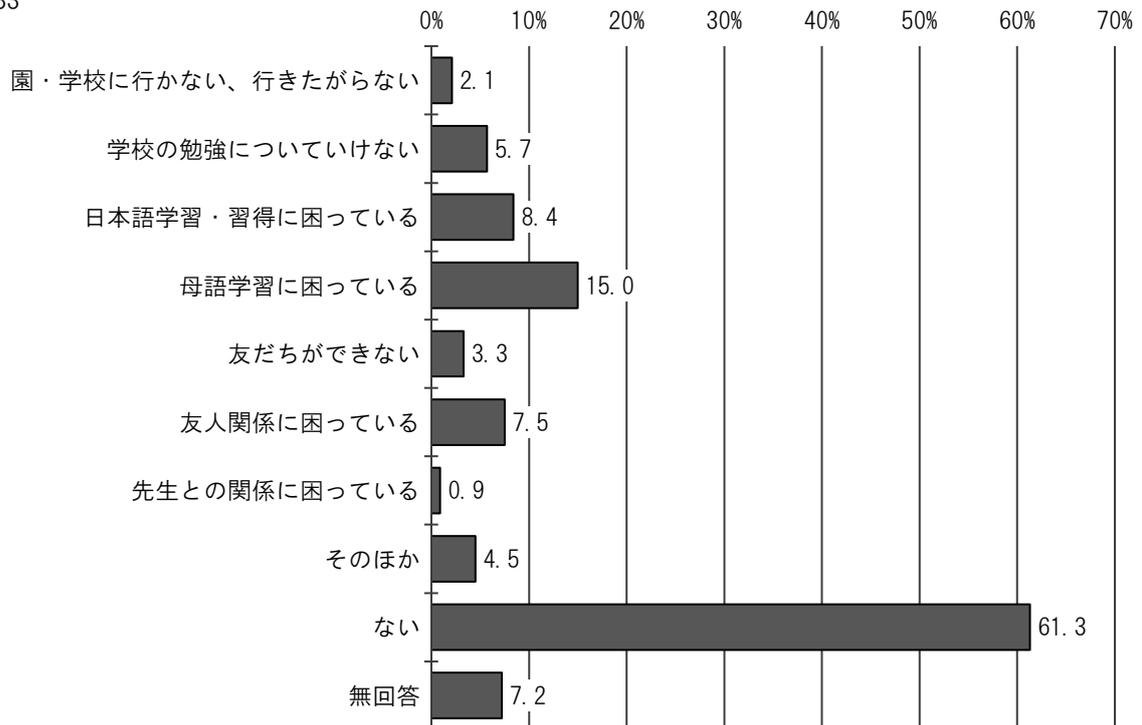


Q22 子どもが困っていそうなことはありますか。

(複数回答)

「ない」が61.3%と最も多く、次いで「母語学習に困っている」が15.0%となっています。

n=333

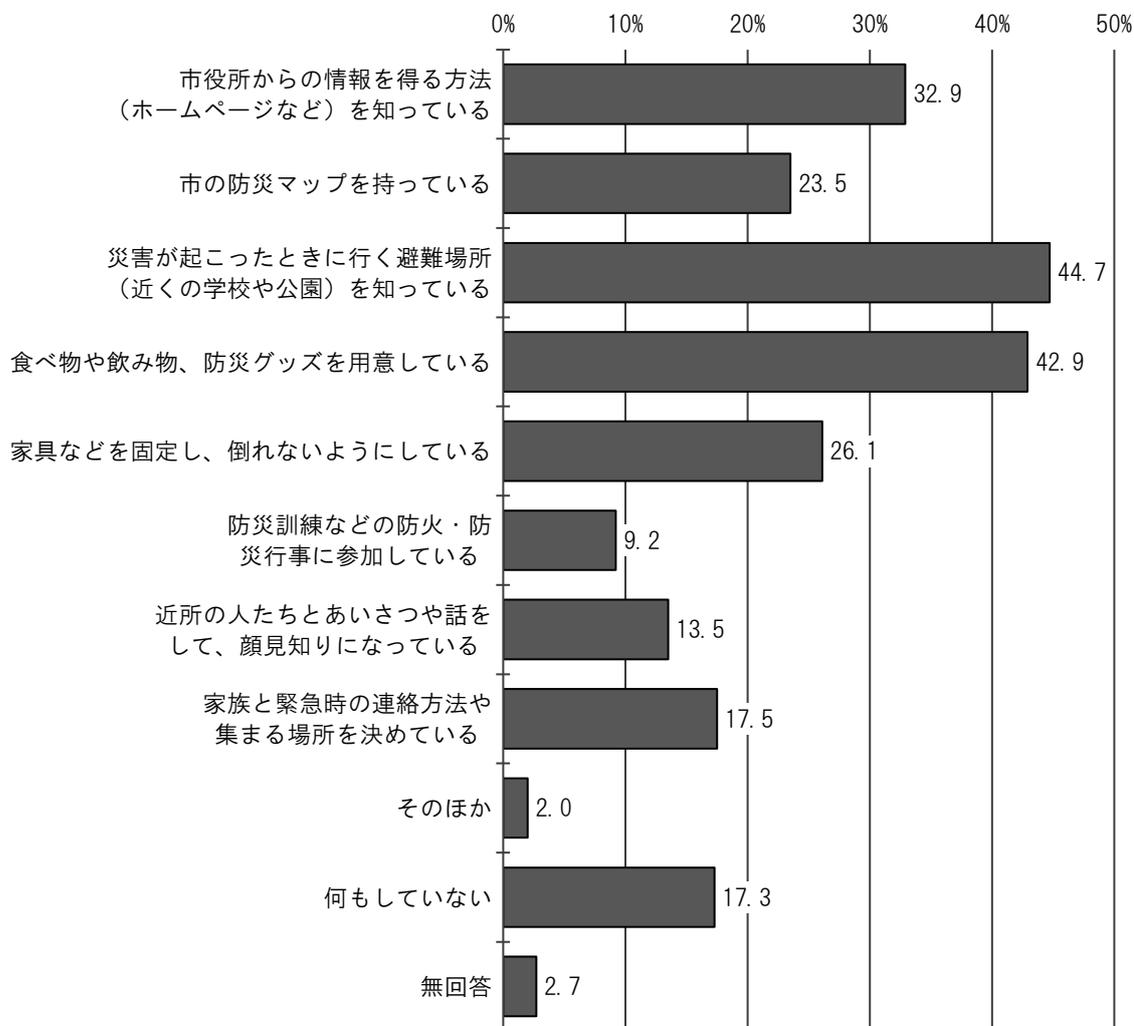


⑤防災のこと

Q23 地震、台風、大雨について、どのような準備をしていますか。 (複数回答)

「災害が起こったときに行く避難場所(近くの学校や公園)を知っている」が 44.7%と最も多く、次いで「食べ物や飲み物、防災グッズを用意している」が 42.9%、「市役所からの情報を得る方法(ホームページなど)を知っている」が 32.9%となっています。

n=1,225



■クロス集計:Q6 居住年数×Q23 災害への備え

居住年数別にみると、居住年数が増えるにつれ「1つでも何かしている」が多く、「何もしていない」が少なくなる傾向にあります。

		回答者数	市役所からの情報を得る方法 (ホームページなど)を知っている	市の防災マップを持っている	災害が起こったときに行く避難場所(近くの学校や公園)を知っている	食べ物や飲み物、防災グッズを用意している	家具などを固定し、倒れないようにしている	防災訓練などの防火・防災行事に参加している
Q6 居住年数	合計	1,225	32.9	23.5	44.7	42.9	26.1	9.2
	6か月未満	5	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0
	6か月以上～1年未満	44	27.3	15.9	40.9	43.2	15.9	6.8
	1年以上～3年未満	156	32.1	15.4	33.3	33.3	17.3	5.1
	3年以上～5年未満	215	31.6	21.4	37.7	37.2	18.6	12.1
	5年以上～10年未満	293	29.7	22.5	44.4	41.3	27.6	6.8
	10年以上～20年未満	239	35.1	29.7	55.2	50.6	32.6	12.1
	20年以上	261	37.9	27.6	49.0	49.4	33.0	10.0
		回答者数	近所の人たちとあいさつや話をし、顔見知りになっている	家族と緊急時の連絡方法や集まる場所を決めている	そのほか	何もしていない	無回答	【再掲】1つでも何かしている※
Q6 居住年数	合計	1,225	13.5	17.5	2.0	17.3	2.7	80.0
	6か月未満	5	0.0	20.0	0.0	80.0	0.0	20.0
	6か月以上～1年未満	44	6.8	9.1	2.3	22.7	4.5	72.8
	1年以上～3年未満	156	12.2	7.1	2.6	25.6	2.6	71.8
	3年以上～5年未満	215	6.0	11.6	2.3	24.2	1.4	74.4
	5年以上～10年未満	293	10.2	13.7	1.7	18.1	1.7	80.2
	10年以上～20年未満	239	18.4	27.6	0.8	11.7	1.3	87.0
	20年以上	261	21.1	24.9	3.1	8.8	4.6	86.6

※1つでも何かしている:有効回答数から無回答及び「何もしていない」を引いた値。

⑥情報や相談のこと

Q24 武蔵野市からのお知らせなど、あなたにとって必要な情報は、あなたに届いていますか。

(単数回答)

「まあ届いている」が 44.2%と最も多く、次いで「十分届いている」が 38.5%と、8割が必要な情報が届いていると回答しています。

n=1,225



■ 十分届いている ■ まあ届いている ■ あまり届いていない ■ 届いていない □ 無回答

■クロス集計:Q6 居住年数×Q24 情報が届いているか

居住年数にかかわらず、情報が届いている割合が高いことがうかがえます。また、居住年数が増えるにつれて、情報が届いていない割合が低くなる傾向がうかがえます。

		回答者数	十分届いている	まあ届いている	あまり届いていない	届いていない	無回答
Q6 居住年数	合計	1,225	38.5	44.2	10.7	4.7	1.9
	6か月未満	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	6か月以上～1年未満	44	25.0	56.8	6.8	9.1	2.3
	1年以上～3年未満	156	34.6	44.9	16.7	3.8	0.0
	3年以上～5年未満	215	38.1	43.7	13.0	4.7	0.5
	5年以上～10年未満	293	36.2	45.1	12.6	5.5	0.7
	10年以上～20年未満	239	35.6	47.7	9.2	5.4	2.1
	20年以上	261	48.7	39.1	5.7	2.7	3.8

■クロス集計:Q10 第一言語×Q24 情報が届いているか

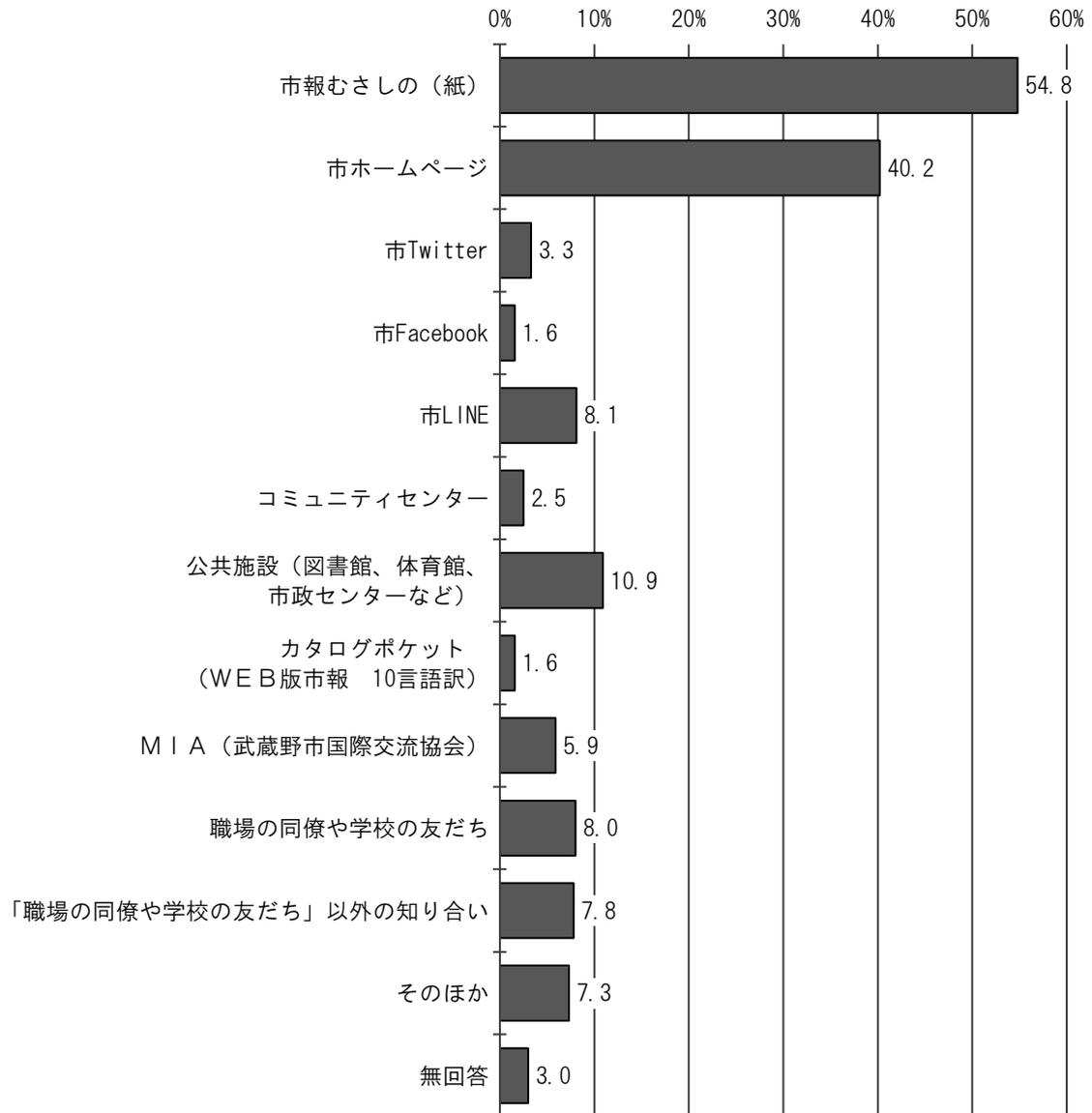
第一言語にかかわらず、6～9割が必要な情報が届いていると回答しています。

		回答者数	十分届いている	まあ届いている	あまり届いていない	届いていない	無回答
Q10 第一言語	合計	1,225	38.5	44.2	10.7	4.7	1.9
	日本語	106	54.7	35.8	5.7	2.8	0.9
	中国語	463	36.9	48.4	11.7	2.4	0.6
	韓国・朝鮮語	106	28.3	51.9	14.2	3.8	1.9
	英語	165	46.1	34.5	10.3	7.9	1.2
	ネパール語	60	15.0	45.0	20.0	16.7	3.3
	ベトナム語	31	41.9	35.5	12.9	9.7	0.0
	タガログ語	46	21.7	52.2	15.2	6.5	4.3
	フランス語	34	29.4	61.8	2.9	2.9	2.9
	ヒンディー語	8	37.5	50.0	0.0	12.5	0.0
	インドネシア語	19	42.1	47.4	10.5	0.0	0.0
	タイ語	20	50.0	45.0	5.0	0.0	0.0
	そのほか	134	44.0	41.8	7.5	5.2	1.5

Q25 あなたは、ふだんどのように武蔵野市の情報を入手していますか。 (複数回答)

「市報むさしの(紙)」が54.8%と最も多く、次いで「市ホームページ」が40.2%となっています。

n=1,225



■クロス集計:Q6 居住年数×Q25 情報入手先

居住年数別にみると、年数に応じた傾向はみられず、いずれも「市報むさしの(紙)」及び「市ホームページ」が最も多くなっています。

		回答者数	市報むさしの(紙)	市ホームページ	市Twitter	市Facebook	市LINE	コミュニティーセンター	公共施設 (図書館、 体育館、市 政センター など)
Q6 居住年数	合計	1,225	54.8	40.2	3.3	1.6	8.1	2.5	10.9
	6か月未満	5	60.0	80.0	40.0	40.0	40.0	0.0	20.0
	6か月以上～1年未満	44	34.1	38.6	2.3	2.3	15.9	4.5	9.1
	1年以上～3年未満	156	53.2	37.2	3.2	0.0	5.8	1.9	4.5
	3年以上～5年未満	215	45.1	46.0	4.2	1.4	8.8	2.8	11.2
	5年以上～10年未満	293	46.4	44.7	3.4	1.4	10.6	1.0	8.5
	10年以上～20年未満	239	60.3	41.0	3.8	2.5	6.7	2.1	14.2
	20年以上	261	71.3	32.2	1.5	1.1	5.7	4.2	14.2
		回答者数	カタログポケット(WEB版市報10言語訳)	MIA(武蔵野市国際交流協会)	職場の同僚や学校の友だち	「職場の同僚や学校の友だち」以外の知り合い	そのほか	無回答	
Q6 居住年数	合計	1,225	1.6	5.9	8.0	7.8	7.3	3.0	
	6か月未満	5	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	
	6か月以上～1年未満	44	9.1	4.5	18.2	6.8	2.3	4.5	
	1年以上～3年未満	156	1.9	5.1	12.2	7.7	5.8	1.3	
	3年以上～5年未満	215	0.9	7.0	6.5	8.4	5.1	0.9	
	5年以上～10年未満	293	0.3	4.8	6.8	9.6	9.9	1.7	
	10年以上～20年未満	239	1.3	6.7	10.9	6.3	9.2	4.6	
	20年以上	261	1.9	5.4	3.8	6.5	6.9	3.8	

■クロス集計:Q10 第一言語×Q25 情報入手先

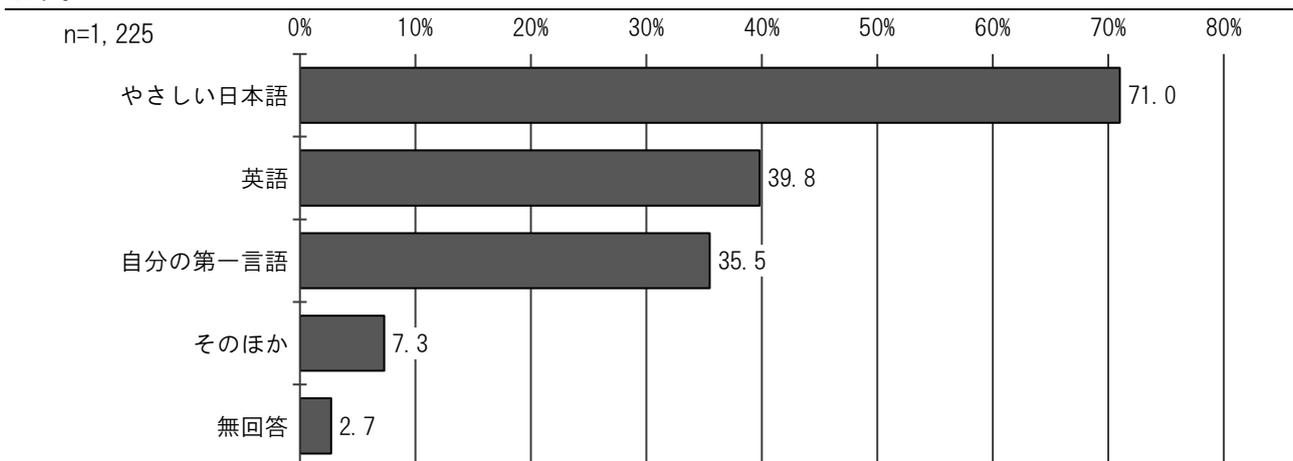
第一言語別にみると、いずれの言語においても「市報むさしの(紙)」及び「市ホームページ」が多くなっています。

		回答者数	市報むさしの(紙)	市ホームページ	市Twitter	市Facebook	市LINE	コミュニティセンター	公共施設 (図書館、 体育館、市 政センター など)
Q10 第一言語	合計	1,225	54.8	40.2	3.3	1.6	8.1	2.5	10.9
	日本語	106	80.2	33.0	1.9	0.9	8.5	1.9	11.3
	中国語	463	58.7	44.5	4.5	1.3	12.3	2.2	13.0
	韓国・朝鮮語	106	64.2	36.8	1.9	1.9	10.4	0.9	7.5
	英語	165	37.6	47.3	1.8	0.6	4.2	3.0	18.2
	ネパール語	60	31.7	18.3	0.0	3.3	0.0	0.0	1.7
	ベトナム語	31	58.1	29.0	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0
	タガログ語	46	50.0	19.6	4.3	6.5	4.3	10.9	15.2
	フランス語	34	50.0	55.9	8.8	0.0	5.9	2.9	0.0
	ヒンディー語	8	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5
	インドネシア語	19	42.1	47.4	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3
	タイ語	20	70.0	25.0	5.0	5.0	10.0	10.0	5.0
そのほか	134	50.0	44.8	3.7	0.7	4.5	2.2	7.5	
		回答者数	カタログポケット(WEB版市報10言語訳)	MIA(武蔵野市国際交流協会)	職場の同僚や学校の友だち	「職場の同僚や学校の友だち」以外の知り合い	そのほか	無回答	
Q10 第一言語	合計	1,225	1.6	5.9	8.0	7.8	7.3	3.0	
	日本語	106	0.0	2.8	4.7	3.8	1.9	3.8	
	中国語	463	1.1	4.1	6.9	5.6	3.9	0.9	
	韓国・朝鮮語	106	0.9	1.9	2.8	6.6	10.4	2.8	
	英語	165	2.4	8.5	7.3	12.7	13.3	5.5	
	ネパール語	60	0.0	6.7	21.7	20.0	16.7	5.0	
	ベトナム語	31	3.2	3.2	19.4	0.0	6.5	3.2	
	タガログ語	46	10.9	15.2	17.4	8.7	10.9	6.5	
	フランス語	34	0.0	8.8	2.9	5.9	5.9	2.9	
	ヒンディー語	8	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	
	インドネシア語	19	5.3	10.5	21.1	26.3	5.3	0.0	
	タイ語	20	0.0	25.0	10.0	0.0	10.0	0.0	
そのほか	134	1.5	8.2	6.0	9.0	9.0	1.5		

Q26 武蔵野市からの情報は、どの言語だとわかりますか。

(複数回答)

「やさしい日本語」が71.0%と最も多く、次いで「英語」が39.8%、「自分の第一言語」が35.5%となっています。



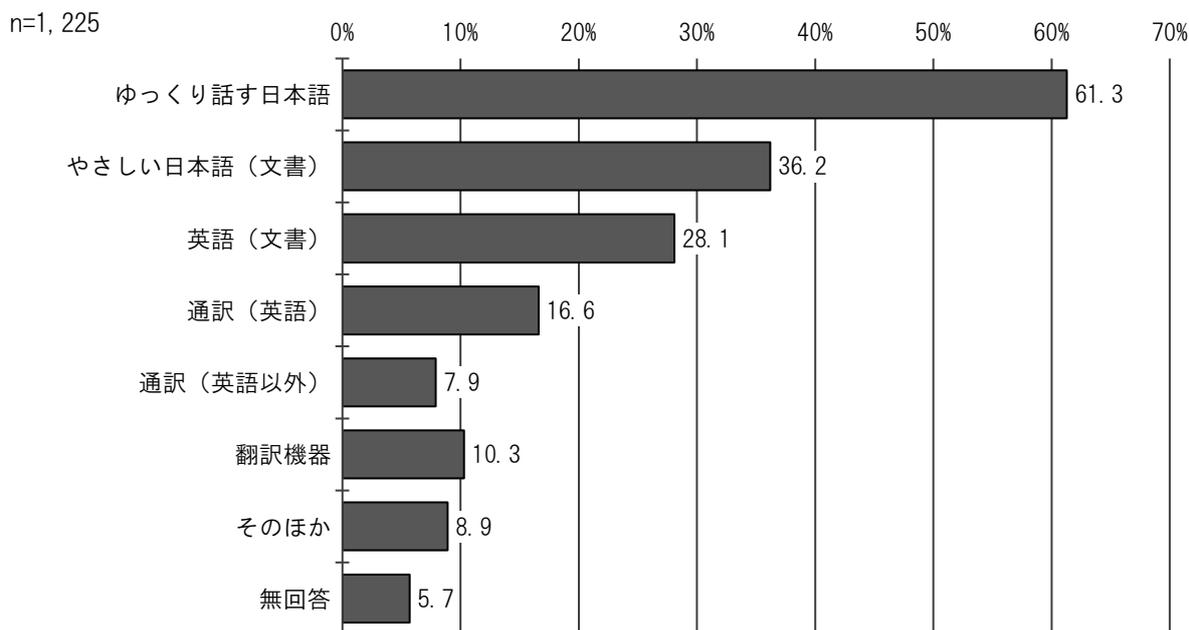
■クロス集計:Q10 第一言語×Q26 市からの情報はどの言語だとわかるか

第一言語にかかわらず、多くで「やさしい日本語」が最も多くなっていますが、「英語」、「タガログ語」、「ヒンディー語」、「そのほか」で「英語」が、「ネパール語」で「自分の第一言語」が、それぞれ最も多くなっています。

		回答者数	やさしい日本語	英語	自分の第一言語	そのほか	無回答
Q10 第一言語	合計	1,225	71.0	39.8	35.5	7.3	2.7
	日本語	106	50.9	3.8	32.1	12.3	13.2
	中国語	463	88.6	15.8	43.2	3.9	1.1
	韓国・朝鮮語	106	75.5	19.8	45.3	11.3	4.7
	英語	165	56.4	91.5	6.1	10.3	0.0
	ネパール語	60	40.0	50.0	71.7	3.3	0.0
	ベトナム語	31	80.6	9.7	32.3	3.2	0.0
	タガログ語	46	54.3	87.0	23.9	4.3	0.0
	フランス語	34	73.5	70.6	44.1	5.9	5.9
	ヒンディー語	8	25.0	87.5	25.0	0.0	0.0
	インドネシア語	19	63.2	63.2	31.6	21.1	5.3
	タイ語	20	65.0	45.0	60.0	0.0	0.0
	そのほか	134	66.4	74.6	26.9	11.9	0.0

Q27 あなたが市役所に相談した時に良かった対応方法や、やってもらえると助かる対応方法はどれですか。 (複数回答)

「ゆっくり話す日本語」が 61.3%と最も多く、次いで「やさしい日本語(文書)」が 36.2%、「英語(文書)」が 28.1%となっています。



■クロス集計:Q6 居住年数×Q27 希望する対応方法

居住年数にかかわらず、「ゆっくり話す日本語」が多い傾向にあります。また、年数が増えるにつれ、「ゆっくり話す日本語」や「やさしい日本語(文書)」、「英語(文書)」、「通訳(英語)」が少なくなる傾向にあります。

		回答者数	ゆっくり話す日本語	やさしい日本語(文書)	英語(文書)	通訳(英語)	通訳(英語以外)	翻訳機器	そのほか	無回答
Q6 居住年数	合計	1,225	61.3	36.2	28.1	16.6	7.9	10.3	8.9	5.7
	6か月未満	5	20.0	0.0	60.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	6か月以上～1年未満	44	75.0	50.0	27.3	15.9	6.8	22.7	2.3	2.3
	1年以上～3年未満	156	68.6	37.8	36.5	22.4	9.6	19.2	5.1	1.9
	3年以上～5年未満	215	67.0	45.1	27.9	19.5	11.2	10.2	5.6	0.5
	5年以上～10年未満	293	63.1	38.6	32.1	18.1	9.9	10.9	9.6	2.7
	10年以上～20年未満	239	62.8	32.6	24.3	13.0	6.7	6.3	9.6	5.4
	20年以上	261	48.3	27.6	22.2	11.5	3.8	6.1	13.4	15.3

■クロス集計:Q10 第一言語×Q27 希望する対応方法

第一言語別にみると、多くで「ゆっくり話す日本語」又は「英語(文書)」が最も多くなっています。また、いずれの言語も「やさしい日本語(文書)」又は「通訳(英語)」が3番以内の項目となっています。

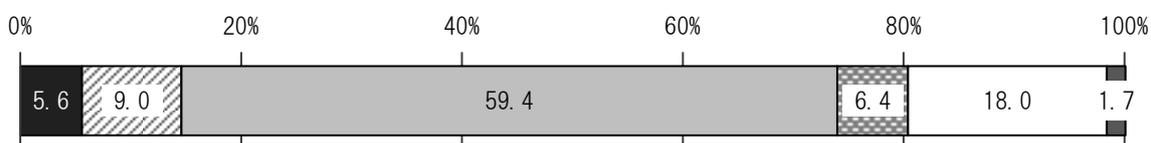
		回答者数	ゆっくり話す日本語	やさしい日本語(文書)	英語(文書)	通訳(英語)	通訳(英語以外)	翻訳機器	そのほか	無回答
Q10 第一言語	合計	1,225	61.3	36.2	28.1	16.6	7.9	10.3	8.9	5.7
	日本語	106	29.2	17.0	2.8	0.9	9.4	0.9	23.6	30.2
	中国語	463	74.3	46.2	7.1	3.7	7.8	8.9	6.3	2.4
	韓国・朝鮮語	106	50.9	37.7	9.4	8.5	13.2	6.6	16.0	9.4
	英語	165	54.5	29.7	69.1	46.1	0.6	15.2	8.5	1.8
	ネパール語	60	68.3	30.0	38.3	23.3	18.3	11.7	5.0	1.7
	ベトナム語	31	77.4	48.4	12.9	3.2	6.5	6.5	3.2	0.0
	タガログ語	46	65.2	21.7	65.2	39.1	6.5	10.9	0.0	0.0
	フランス語	34	61.8	26.5	47.1	20.6	5.9	17.6	11.8	8.8
	ヒンディー語	8	50.0	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア語	19	68.4	36.8	52.6	15.8	21.1	21.1	0.0	5.3
	タイ語	20	70.0	40.0	25.0	30.0	30.0	20.0	10.0	0.0
	そのほか	134	49.3	35.1	60.4	31.3	4.5	15.7	9.7	0.7

⑦地域のこと

Q28 あなたは、となり近所や地域の人とどのように関わっていますか。 (単数回答)

「あいさつをするくらい」が 59.4%と最も多く、次いで「関わるときがない」が 18.0%、「たまに話したり、あそぶ」が 9.0%となっています。

n=1, 225



- よく話したり、あそぶ
- ▨ たまに話したり、あそぶ
- あいさつをするくらい
- ▨ 見かけても、何も話さない
- 関わるときがない
- 無回答

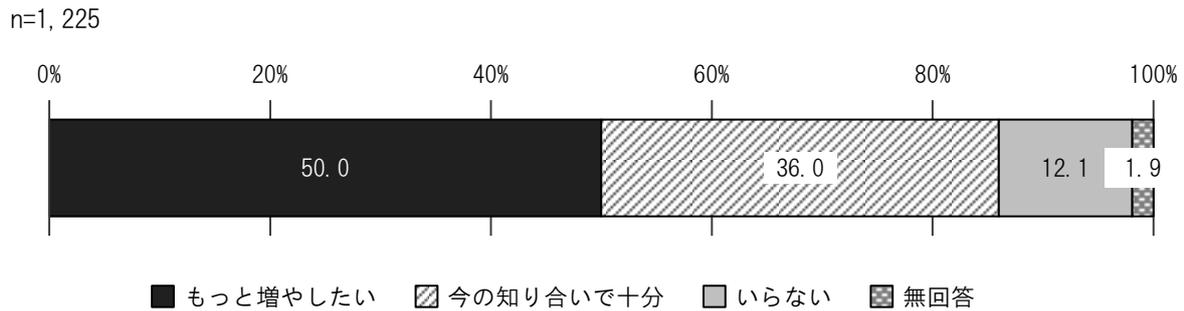
■クロス集計:Q6 居住年数×Q28 近所や地域との関わり

居住年数にかかわらず、「あいさつをするくらい」が多くなっています。
居住年数に応じてわずかですが、関わりが増える傾向があります。

		回答者数	よく話したり、あそぶ	たまに話したり、あそぶ	あいさつをするくらい	見かけても、何も話さない	関わるときがない	無回答
Q6 居住年数	合計	1,225	5.6	9.0	59.4	6.4	18.0	1.7
	6か月未満	5	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0
	6か月以上～1年未満	44	4.5	4.5	61.4	6.8	18.2	4.5
	1年以上～3年未満	156	4.5	6.4	50.0	10.9	27.6	0.6
	3年以上～5年未満	215	2.3	5.1	50.2	9.8	32.1	0.5
	5年以上～10年未満	293	3.8	5.8	61.4	9.6	18.4	1.0
	10年以上～20年未満	239	5.9	13.8	66.9	2.1	10.0	1.3
	20年以上	261	10.7	13.4	64.4	1.5	7.3	2.7

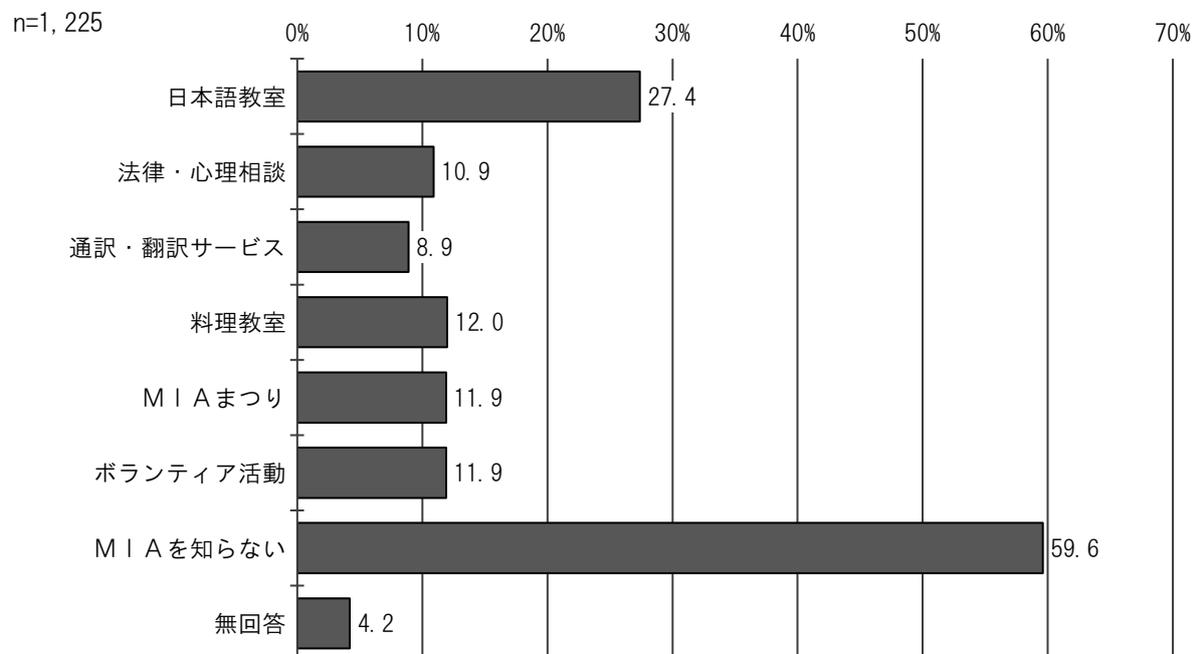
Q29 あなたは、地域に日本人の知り合いがほしいですか。 (単数回答)

「もっと増やしたい」が50.0%と最も多く、次いで「今の知り合いで十分」が36.0%、「いない」が12.1%となっています。



Q30 MIA(武蔵野市国際交流協会)の活動で知っていることを教えてください。 (複数回答)

事業では「日本語教室」が27.4%と多くなっていますが、「MIAを知らない」が59.6%と最も多くなっています。



■クロス集計:Q4 在留資格×Q30MIAの活動で知っていること

在留資格別にみると、「家族滞在」で「日本語教室」が最も多くなっています。

		回答者数	日本語教室	法律・心理相談	通訳・翻訳サービス	料理教室	MIAまつり	ボランティア活動	MIAを知らない	無回答
Q4 在留資格	合計	1,225	27.4	10.9	8.9	12.0	11.9	11.9	59.6	4.2
	永住者	350	32.3	14.9	9.1	18.0	19.4	16.3	48.3	6.3
	技術・人文知識・国際業務	281	20.3	10.3	8.9	9.6	7.5	10.3	69.8	1.8
	留学	167	22.2	8.4	7.8	9.0	6.0	10.2	68.3	1.8
	家族滞在	72	50.0	12.5	16.7	13.9	13.9	19.4	41.7	1.4
	日本人の配偶者等	120	34.2	12.5	7.5	13.3	20.0	10.0	52.5	4.2
	特別永住者	35	5.7	2.9	2.9	2.9	5.7	2.9	82.9	8.6
	定住者	18	16.7	11.1	5.6	5.6	5.6	11.1	66.7	11.1
	特定活動	17	17.6	11.8	5.9	5.9	0.0	11.8	64.7	0.0
	高度専門職	36	19.4	8.3	8.3	8.3	5.6	13.9	72.2	5.6
	技能	10	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	90.0	0.0
	経営・管理	18	38.9	0.0	5.6	11.1	0.0	0.0	61.1	0.0
	教育	19	31.6	15.8	15.8	10.5	0.0	10.5	68.4	0.0
	教授	17	23.5	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	76.5	0.0
	宗教	8	37.5	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	50.0	12.5
	企業内転勤	11	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.6	0.0
	永住者の配偶者等	11	36.4	0.0	9.1	18.2	18.2	0.0	36.4	9.1
	技能実習	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
そのほか	17	29.4	5.9	11.8	5.9	5.9	5.9	52.9	11.8	

■クロス集計:Q6 居住年数×Q30MIAの活動で知っていること

居住年数別にみると、居住年数に応じて、やや認知度が高まる傾向がうかがえます。

		回答者数	日本語教室	法律・心理相談	通訳・翻訳サービス	料理教室	MIAまつり	ボランティア活動	MIAを知らない	無回答
Q6 居住年数	合計	1,225	27.4	10.9	8.9	12.0	11.9	11.9	59.6	4.2
	6か月未満	5	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0
	6か月以上～1年未満	44	29.5	4.5	6.8	9.1	2.3	9.1	65.9	2.3
	1年以上～3年未満	156	30.8	7.7	7.7	8.3	7.1	9.6	64.7	1.9
	3年以上～5年未満	215	28.4	11.2	11.6	14.0	10.2	13.5	62.8	1.9
	5年以上～10年未満	293	20.1	8.9	7.2	8.9	7.5	11.3	66.2	2.4
	10年以上～20年未満	239	33.1	12.6	11.7	15.9	18.8	11.7	51.5	5.0
	20年以上	261	27.6	14.9	7.3	13.4	16.5	13.4	54.0	7.7

■クロス集計:Q7 住所×Q30MIAの活動で知っていること

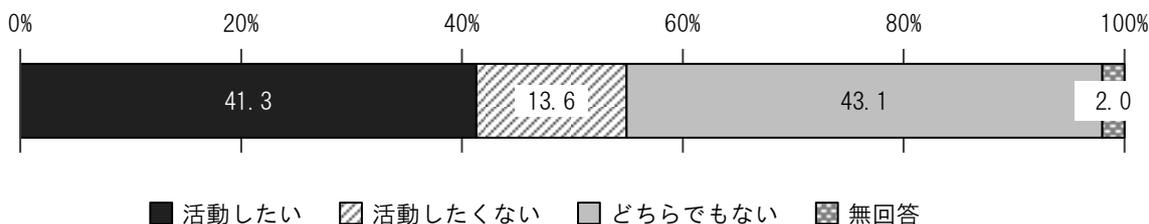
住所別にみると、《緑町》《八幡町》《関前》でやや認知度が高い傾向がうかがえます。

		回答者数	日本語教室	法律・心理相談	通訳・翻訳サービス	料理教室	MIAまつり	ボランティア活動	MIAを知らない	無回答
Q7 住所	合計	1,225	27.4	10.9	8.9	12.0	11.9	11.9	59.6	4.2
	吉祥寺東町	87	25.3	5.7	4.6	12.6	12.6	9.2	64.4	6.9
	吉祥寺南町	125	18.4	8.0	9.6	8.0	5.6	8.0	72.0	4.8
	御殿山	43	30.2	9.3	11.6	14.0	16.3	18.6	58.1	2.3
	吉祥寺本町	152	19.7	11.2	7.9	7.9	6.6	8.6	71.7	2.0
	吉祥寺北町	88	27.3	8.0	8.0	11.4	13.6	13.6	65.9	2.3
	中町	120	33.3	14.2	9.2	11.7	13.3	15.8	57.5	0.8
	西久保	86	17.4	5.8	1.2	9.3	4.7	9.3	67.4	3.5
	緑町	67	47.8	10.4	13.4	17.9	16.4	11.9	40.3	4.5
	八幡町	26	42.3	26.9	15.4	23.1	11.5	23.1	42.3	3.8
	関前	69	27.5	23.2	8.7	20.3	15.9	17.4	42.0	8.7
	境	147	31.3	11.6	12.9	11.6	11.6	14.3	53.1	4.1
	境南町	108	25.0	10.2	9.3	12.0	17.6	10.2	57.4	5.6
	桜堤	85	32.9	10.6	8.2	11.8	17.6	8.2	55.3	3.5
	わからない	7	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	57.1	0.0

Q31 あなたは地域の人の役に立つ活動がしたいですか。 (単数回答)

「活動したい」が 41.3%と、「活動したくない」の 13.6%を上回りましたが、「どちらでもない」が 43.1%と最も多くなっています。

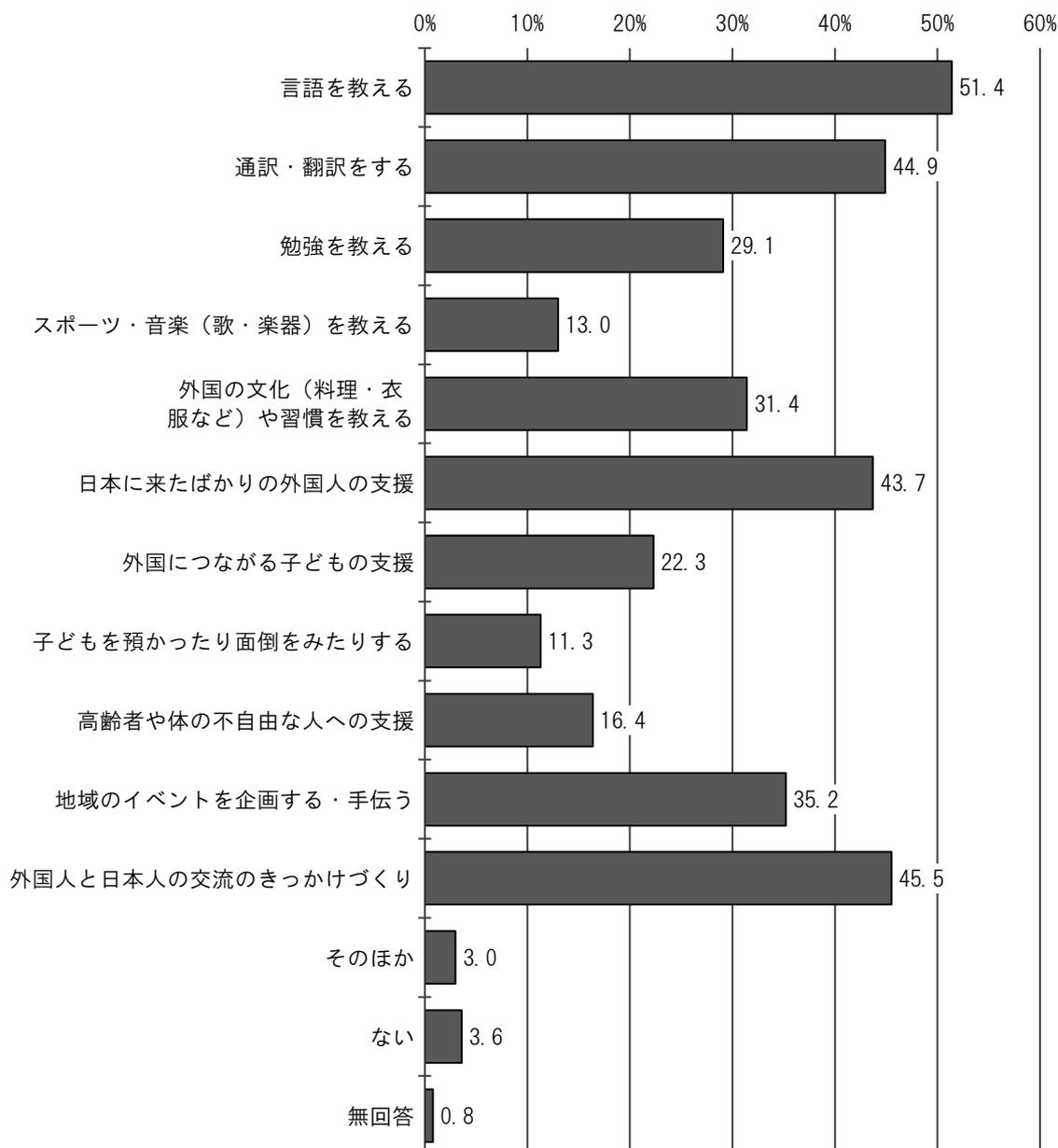
n=1, 225



Q32 Q31 で「活動したい」に○をした人は、どんな活動がしたいですか。 (複数回答)

「言語を教える」が 51.4%と最も多く、次いで「外国人と日本人の交流のきっかけづくり」が 45.5%、「通訳・翻訳をする」が 44.9%、「日本に来たばかりの外国人の支援」が 43.7%となっています。

n=506



Q33 Q31で「活動したくない」に○をした人は、その理由を教えてください。 (自由記述)

【主な意見】

- 学業、仕事、子育てなどで時間がないため。
- 高齢・健康上の理由のため。
- 言葉の問題があるため。
- 人付き合いが面倒、一人でいることが好きなど。

⑧その他

Q34 最後に、市役所に伝えたいことがある人は自由に書いてください。 (自由記述)

【主な意見】

- 広報、通知などをわかりやすくしてほしい。多言語表記を増やしてほしい。
- 相談窓口等で英語対応をしてほしい。
- 手続きができる場所・日時を増やしてほしい。
- 外国籍市民を「外国人」とひとくりにしないでほしい。
- 満足・感謝している。
- アンケートを実施したことに対する感謝。
- 交流の場を設けてほしい。

(2)インタビュー 【主な意見】

①インタビューを受けようと思った経緯について

- 日本のために役に立てればと思った。
- インタビューの内容が気になった、関心があった。
- 市役所に直接意見を言う機会はあまりないから。

②武蔵野市に住むようになった理由について

- 通勤・通学や買い物に便利だから。
- 緑・公園が多いから。
- 子育て・教育環境が良いから。

③市役所からの情報の把握方法について

ア 日本語で書かれた手紙やお知らせはどのように内容を把握していますか。

- 家族・友だち・同僚などに聞く。
- 自分で読むことができる。
- Google翻訳やスマホアプリなどの翻訳ツールを使用している。
- やさしい日本語での表記やルビがあればわかる。

イ 日本人向けの情報と分けて発信してほしいですか。

<分けてほしい>

- 日本語が読めず、必要な情報がどうかわからない。諦めてしまう。
- 日本語が読めない人には分けてあげると便利。
- 母語（多言語）で書いてほしい。

<分ける必要はない>

- 日本人向けの情報も読みたい。情報量が多いほうがいい。
- 外国人だからと分けられると、差別のように感じる。普通に住んでいる人と同じように扱ってほしい。
- 市役所の仕事量が増えてしまう。

<その他>

- 内容による。外国人と日本人で対応が違うときは分けたほうがいい。
- 分ける、分けないより内容を簡潔にしたほうがいい。「重要」「アクション必要」の2点を強調するべき。

ウ 同じ国出身の人などに、SNSのグループ等を使って市役所からの情報を知らせる仕組みがあったら有効だと思いますか。

- 武蔵野市内に外国人の知り合いがいない。コミュニティ（グループ）に入っていない。
- お知らせの内容によって発信するかどうか考える。
- グループに流すこと自体は有効だと思う。

エ どの媒体で情報発信してほしいですか。

- Eメール
- Twitter、LINE、FacebookなどのSNS。
- 調べたいことがあるときはホームページで見る。
- 市報

④日本人・日本文化との関わりについて

ア 国籍に関わらず、誰もが住みやすいまちにするために、一人ひとりが何をしたらいいと思いますか。

- 自然に接してほしい。壁を作らずに接してほしい。
- 文化の違いなどを教えてほしい。
- 外国人と日本人を分けなくて、一緒に一つの国に住んでいる人間として仲良くしてほしい。
- 言いたいことをはっきり話してほしい。
- お互いの言語、文化を勉強する姿勢を持つといい。

イ 来日して驚いたこと、戸惑ったことはありますか。

- ごみの分別が細かい。
- 暗黙の了解・ルール（電車・バスの中で飲食・通話はしない等）。

⑤周囲の人との交流について

ア 知り合いを増やしたいですか。

- 知り合いが増えるに越したことはない。
- 日本人でも外国人でもいいので増やしたい。
- もう既に知り合いがいる。現状維持でいい。
- 日本人と知り合いになりたい。

イ 交流するためにどのようなイベントがあるといいと思いますか。

- 日本文化や外国の文化の紹介をする交流会が楽しいと思う。
- スポーツ・料理など趣味のイベント。
- 子連れや家族で参加できるイベント。

ウ 交流会などのイベントについて、ご意見を教えてください。

- 内容によって、時間が合えば参加したい。
- 日本人・外国人の友だちを作りたい。
- 一回イベントをするだけではなかなか友だちになれない。

⑥日本語の学習について

- 漢字・敬語に苦労している。
- 漢字の読み方が複数あるので難しい。

2. 属性別ヒアリング調査

(1) 市内大学留学生

Q1. 日本で暮らしてみて驚いたことを教えてください。

- 事あるごとに謝罪やお礼を言ったり言われたりすることに慣れなかった。
- トイレの洗浄ボタンがわからなかった。特に足で押すものなど。
- 賃貸の契約を一人でする際、頭金、保険など、わからないことがたくさんあった。
- 来日した際、ひらがなの書き方くらいしかわからなくて、コミュニケーションがとれなかった。
- 寮のルールが複雑でわからなかった。22時に寮に帰らないといけない、というルールで交友関係を広げる機会を奪われてしまったように思う。
- 母国では団体行動が多く、一人でいるのは目立つため、すぐに話しかけてもらえて交友関係が広がるのだが、日本では一人でいることがあまり特別視されないので、交友関係が広がらないように思う。

Q2. 日本語がうまく話せない時に、してもらおうと助かること、してもらって助かったことはありますか。

- 市役所での住所変更の手続きの際、日本語がわかる人と一緒に行けば、早く手続きを終わらせることができると思った。
- アルバイトの面接の際、同じ国出身の知り合いに来てもらったときは大変助かった。同じ国の出身でなくとも、留学生だという事情をわかってくれる人がいると良い。
- 自分に対して日本人が「この人とは話せない」という第一印象を持つため、日本語で話す機会をつくるのが難しかった。MIAのファミリープログラムでホストファミリーと一緒に遊んだことで日本語の勉強にもなった。

Q3. 地域活動に参加したことはありますか。参加したことがない人は、活動に参加したいと思いますか。

- 参加の仕方がわからず、参加したことがない。活動に参加したいという思いはある。ボランティアをやりたいため、大学でも学んでいる。気持ちはあるのに、どこに行けばいいか、どうしたらいいかなどがわからない。
- 日本の自治会などのルールも知らなかったため、参加してない。母国では、1年に20~30時間は地域活動に参加しないといけないルールがある。参加したい思いはある。

Q4. どのような支援があれば地域活動に参加しやすいですか。

- 大学や日本語学校の先生の話は信用できるため、それらを通して伝えてもらえれば良いのではないか。学校が目を通していると思うと、安心感がある。チラシだけでは、興味はあっても、行く気にはならない。

Q5. 日本人と仲良くできそうだと思いますか。その理由を教えてください。

- 仲良くしている日本人の友だちは2人いるが、少ない。同じ国の出身の友だちも少ない。日本人とは、言葉の問題でどうしても距離が遠い気がしてしまう。気を遣って簡単な言葉を使ってくれることはありがたいが、日本語をもっと理解できるようにならないといけないと思っている。現状は、うまく伝えられないことがもどかしい。

- 大学の国際パーティ、イベント、ゼミのほか、アルバイト等で友だちは多いと思う。アルバイト先の上司から、日本人は受け身で、皆友だちになるためのきっかけを待っているのだ、ということを知ってもらった。それを機に、自分から働きかけようと思うようになった。最初は友だちができず、国籍の壁があると思っていたが、積極的にコミュニケーションを取っていけば心を開いてくれる。

Q6.地域に知り合いを増やしたいと思いますか。また、地域に知り合いを増やすために支援してほしいことはありますか。

- 増やしたいが現状は出会う場所がない。大学や、近所の人とお祭りなどは参加したいと思う。
- 増やしたい。もっと外に出たいと思っている人が多いと思うので、キャンプなど国際交流のイベントを企画してはどうか。案内は市役所でも大学を通じてでも良いと思う。若い層でホームページを見に行く人はほとんどいないので、情報発信はSNSが良いと思う。

Q7.周りの日本人は、外国籍の方への理解はありますか。

- 差別を受けたりすることは多い。大学や家の周りではないが、アルバイト先で多い。
- アルバイト先（飲食店）で日本人のお客さんと話すが、理解してくれる。大学生の方が偏見を持っている人があると思う。偏見を持っている人は、身近に外国人がいない人が多いと思う。そのような人に積極的にコミュニケーションを取っていきたいと思っている。

Q8.地域の日本人や外国籍の方に対して、多文化共生のために求めることはありますか。

- 外国人は、日本に住んでいるなら、その文化を理解するよう努めてほしいと思う。
- 日本人には、気を遣うことを少し控えてほしい。気持ちはありがたいが、わかっていることを毎回言われることは嫌だ。
- 国際交流イベントに外国人、日本人問わず参加してもらうことで、交流の機会を得られると思う。

Q9.MIAを知ったきっかけを教えてください。また、多くの人にMIAを知ってもらうためには、どのような情報発信が必要だと思いますか。

- MIAのことは、大学の授業で武蔵野市を調べた際に知った。応募したところ、すぐに返事くれた。多くの人にMIAを知ってもらうには、友だち同士等の口コミが有効だと思う。
- MIAのことは、大学のインターナショナルセンターから紹介してもらい、ファミリープログラムに応募した。多くの人にMIAを知ってもらうには、大学に情報を送るだけでも良いのではないか。一人参加すれば、コミュニティや口コミで芋づる式に参加者が集まると思う。
- MIAのファミリープログラムは、とても助かっている。日本の家庭内のことなど、大学の友だちの話についていけなかったが、MIAはわからないことを優しい言葉で説明して、深いところまで教えてくれる。日本人の生活を知ることができたらいいと思う。

Q10.その他、何か伝えたいことはありますか。

- 市役所からは多くの支援をしてもらっていると思う。様々な支援があることを、後輩など次の世代にもっと周知できると良い。

(2)日本語初学者

Q1.生活の中で不便を感じていることや困っていることはありますか。また、困った時は、どうしていますか。

- 日本語ができる夫を頼れないときなど、自分一人のときに困ることが多い。例えば子どもを病院に連れて行く際、医師の日本語が速くてわからない。
- 学校の保護者会、先生の面談や電話などで言葉が聞き取れない。お知らせも翻訳アプリを使ってもわからないことが多い。また、子どもの宿題（特に国語）が難しく、見てあげられない。子どもの勉強を支援してほしい。
- バasketボールをやる場所が見つからない。中国では盛んで、学校の校庭も開放しているため。
- 子どもを市のスポーツクラブに入れたいが情報がない。また、参加したくとも指導者等とうまく交流ができないことで、他の参加者に迷惑がかかるという気持ちがある。
- 病院での医師とのコミュニケーションや、保育園からの書類が読めないことに困っている。書類については日本語ができる夫と相談できるが、それができない時（医師とのコミュニケーションなど）に困る。
- 提出しなければいけない書類について、読むことはできるが、細かいニュアンスの把握が難しい。市役所の職員は助けてくれるが、英語等の表記があれば自力で書けると思う。
- 緊急時、救急連絡、健診の予約など、電話で状況を伝えることが難しい。顔が見えないコミュニケーションに困る。
- 病院で、「痛い」など簡単な説明はできるが、込み入った話は難しい。
- 粗大ごみを捨てる際、材質、大きさなどの説明ができない。
- 運転免許の取得に大変さを感じている。

Q2.困ったときに誰に相談していますか。また、相談相手はどこにいて、どのように連絡をとっていますか。

- 日本語ができる友だちにお願いしているが、迷惑がかかるためずっとお願いできるわけではないと思っている。
- わからないことがあれば日本語ができる夫にすぐに連絡する。対応不可の際は、タイ語を話すコミュニティのグループ LINE で、空いている方に教えてもらっている。MIAのつながりでタイ語話者のコミュニティができています。
- 同じ国の出身の友だちや、いわゆるママ友の日本人に助けてもらっている。
- 基本的には翻訳アプリを用いる。また、母が日本人なので時には電話で相談したり、同僚を頼ったりする。
- インターネットで困りごとに関する情報を知っている人を探す。英語の講師をやったことがあり、日本にいる外国人とオンラインでのつながりがある。
- 日本人の妻に助けてもらっている。

Q3.市役所からの情報はどのように入手していますか。

- 何かあったら市役所に行っている。
- 市報
- ホームページ

- LINE
- Twitter
- 基本的には市報のほか、日本語ができる夫が情報収集し、必要なものは自分へ知らせてもらっている。子どもに関することは「すすく泉」やコミュニティセンターから情報を得る。コミュニティセンターの高齢者の集いの場に参加しており、そこで情報を得ることもある。集いの場は、夫から「ご高齢の方に日本語の勉強を優しく教えてもらえるだろう」ということで紹介され、実際にコミュニティセンターの人にも参加を快諾してもらえた。
- 郵送された書類は翻訳アプリを用いるほか、MIAの日本語教室の先生に聞いたりしている。
- ホームページを翻訳アプリで読んでいる。

Q4.市役所からの情報は十分に入手できていますか。

- 細かいところは難しいが、大体は入手できている。
- わかりやすいものは大丈夫だが、難しいものは市役所に聞きに行く。それで大体は理解できる。
- 今のところは十分入手できていると思う。

Q5.市役所からの情報は、どの言語で書いてほしいですか。また、どの媒体だと情報を入手しやすいですか。

《言語》

- やさしい日本語はひらがなが多いが、漢字が多い方が中国出身の人にとってはやさしい。できれば中国語と日本語が両方あると良い。
- 日本語の勉強になるため、可能であればやさしい日本語の下にタイ語が併記されていると良い。単語の想像などもできる。英語でも対応はできる。
- 英語
- 英語、スペイン語、やさしい日本語
- 英語、中国語

《媒体》

- LINE やメールが良い。
- 電子媒体は忘れても見返せるため LINE 等が良い。紙は読み終わったら捨ててしまう。
- LINE 等が便利。あるいはホームページなど。

Q6.市役所の窓口での対応方法はどのようなものがあると良いですか。

- 窓口に通訳がいれば一番良い。いない場合はゆっくり話してもらったり、書いたりしてもらいたい。書いてもらえれば持って帰ってゆっくり読むこともできる。また、漢字が多い方がわかりやすい。翻訳アプリ等は間違ってもわからない。
- 「日本語があまりできない」と伝えると、やさしい日本語で優しく対応してくれた。子ども関係の書類や、家族に頼まれた書類等の用件でも、やさしい日本語で対応してくれている。自分はやさしい日本語なら少しずつ理解できるようになっている。
- 翻訳機器を持っており、自分が慣れない場所に行くときはよく使っている。
- 窓口で英語を話せる人がいると良い。例えば他自治体では、妊婦健診の際、タブレットを通じて英語で話せるというサービスがあり、良かった。

- F A Q（よくある質問集）がやさしい日本語で助かっている。ただ、連絡すれば英語で教えてくれたり、常駐で話ができる人がいたりすると良い。
- やさしい日本語は助かるが、税、年金、国民健康保険等はやさしい日本語でもわからない。英語を話せる人がいれば安心できる。

Q7.地域の人と関わりはありますか。また、どのように関わっていますか。
関わりがない人は、関わりたいと思いますか。

- あまりない。関わりたいが、言語の問題でなかなかできない。
- 子どもを通じて母親同士で交流したいのだが、できない。子どもも友だちと遊びたいが、日本語があまりできず、細かい約束ができない。
- 地域の周りやマンションの方とは、大体あいさつをするだけだ。住んでいるマンションに習い事教室があり、おしゃべりすることはある。子どもを通じての交流や、集いの場など、できているつながりはあるが、もっと交流し、知り合いや友だちを増やしたいと思う。
- 子どもを通じての関係がある。日常的に会話したりしている。
- 基本的に関わりはない。知り合いがいたらいいとも思うが、現状は距離を感じてしまう。自然なきっかけというのは、コロナ禍もあり難しいと感じている。
- 知り合いはいない。非常時に助け合うために、必要だとは思う。
- 自身は仕事で時間がなく、朝晩にあいさつを交わすくらいだが、妻が子どもを介したつながりがあり、お茶会などはしている。自分はつながりをつくりたいという思いもあまりない。

Q8.地域の人との関わりを増やすために、支援してほしいことはありますか。

- 野外活動センターやコミュニティセンターの活動内容に興味があるが、自分だけ日本人ではないからと諦めてしまう。参加するには自分で日本語を勉強するしかなく、支援してもらうのは迷惑になり申し訳なく思う。言語のサポートがあれば参加できると思う。
- 今はまだ子どもが小さいが、就学したら2～3時間位自分に空き時間ができるため、ボランティアできる場があれば案内してほしい。例えば、子どもの世話やサポートなどができると思う。
- 外国人が参加した方が良い活動などがあれば、情報がほしい。自分にとっても文化・言葉の勉強になる。日本人と一緒にする活動や、他の外国人と一緒にやる活動でもよい。
- 大きな規模のものでなくても交流機会があったらよい。実際にM I Aのマンツーマン指導は日本語の勉強にもなる。
- アウトドアアクティビティのクラブに参加したが、外国人向けのプログラムではなかったためか、日本語が上達するような交流機会はなかった。
- 趣味、プロジェクトベースで集まるのとは違うため、住んでいる地域で交流というのが難しかったケースはこれまでもあった。目的型の活動機会が地域にあるとよいと思う。
- M I Aでの交流機会はあるが、一般の日本人と友だちになるのは難しいことだ。日本人で海外経験があるなど、一緒に仲良くしたいと思ってくれている人をうまく巻き込んでもらえるのがありがたい。

Q9.地域活動に参加したことはありますか。参加したことがない人は、活動に参加したいと思いますか。

- マンションに住んでいるため、あまりない。
- ボランティアなどに参加したい。自分がM I Aに助けてもらったため、誰かをサポートしたい気持ちがあった。

- 子どもと一緒に遊べるようなものがあれば参加したい。子どもの交流を大事にしたい。
- あまり参加できなかった。体育館の活動案内も、申し込み方法が読めず、参加できない。いつ開催するのか、予約方法などの情報が足りない。使えるのかどうか長いこと知らなかった。
- 外国人向けに各施設を見学させ、防災避難所等、色々教えていただきたい。その方が参加しやすいと思う。
- 集いの場に参加したきっかけとしては、家族が不在のときに自分も友だちがほしい、と思ったためだ。もっと日本語を練習したいので、機会があれば他の場所にも参加したい。コミュニティセンターや「すくすく泉」は楽しませてもらっている。
- 参加してみたいと思う一方、日本語ができないことが不安。
- 参加したことはないが、お茶の作法、お祭りなど日本の文化についてわかる機会があればいいと思う。
- 市のイベントには参加したことがない。言語を教えたり、他の外国人とつながったり、手伝ったりしてあげたい。

Q10.どのような支援があれば、地域活動に参加しやすいですか。

- 広報する際に、「〇〇語が喋れる方」などが記載されていると参加しやすいと思う。日本人のためだけ、外国人のためだけのものではない、どちらにも向けたチラシになっているといい。一部だけでも英語表記があると自分たちに向けたものだと理解ができる。

Q11.日本語ができるようになったら、やりたいことはありますか。

- 交流がもっとできるようになる。人と話せるようになりたい。
- 自力でできなかったことを自分で処理できるようにしたい。学校の保護者会、先生との交流など。
- できれば子ども関係やお年寄り支援の仕事がしたいと思っている。
- プロフェッショナルレベルになれば、もっといい職に就きたいと思う。
- 子どもを日本語で育てることができ、日本の学校に子どもを通わせることができる。
- 日本で起きているニュースなどを十分に理解できれば視野が広がるので、日本語習得を目指したい。
- 日本語を学ぶことに費やしていた時間を別のことに使えるのでそれが楽しみだ。
- 子どもを保育園に預けられないため、現状は日本語を学ぶ間の託児にお金がかかる。

Q12.周りの日本人は、外国籍の方への理解はありますか。

- 隣近所では付き合いがない。
- あいさつはする。優しくないわけではないが、深い交流はない。学校の交流もあまり参加していない。
- 学校の先生も、周りの人も優しい。子どもにも優しくしてくれる。
- 周囲で違和感や嫌な思いを抱いたこと、差別を感じたことはない。
- 優しいと思うが、深い付き合いはしていない。自分が外国人であることに、周りは気づいていないかもしれない。
- 外見で高齢者に怖がられたり避けられたりするような場面はある。また、コロナ禍に「こんなときに海外から来て」と言われたことはある。

Q13.地域の日本人や外国籍市民に対して、多文化共生のために求めることはありますか。

- 日本語能力を高めることが大事だと思っている。
- 迷惑をかけたくないという気持ちがある。日本になじむための努力をしたいと思っている。
- お互いに傷つけているという認識がなく、ひどいことをしてしまうこともあるかもしれないが、一番大事なのは、みんながルールを守ることである。
- 外国人としては、日本の文化を尊重し、学ぶ機会を持つこと。日本人は、外国人に対し、許容する態度があるといいと思う。許容されなかった経験があるわけではない。
- 文化の違いを尊重する、違いを生み出している背景を理解することが大切。

Q14.MIAを知ったきっかけを教えてください。

- 友だちに教えてもらった。
- 市役所に行った時に教えてもらった。
- 妊婦訪問の時に教えてもらった。
- インターネット検索。近隣でやっている日本語教室を探していた時に知った。

Q15.その他、何か伝えたいことはありますか。

- 言葉の問題が解決すればもっと色々なことに参加したい。
- 市役所に通訳を一人配置してほしい。
- ホームページに少しでも外国語があればわかりやすい。ホームページには、読めないことがたくさんある。粗大ごみの捨て方や、市役所の体育館のプールの使い方、時間割など、わかりやすいパンフレットを作ってほしい。
- お酒を飲んでいる人が深夜まで騒がしくしているので、怖いと感じるときがある。
- 市の対応は他自治体に比べても非常に優しくて良いと思っている。
- 市役所のほか、総合体育館や図書館の職員も丁寧に対応してくれる。英語がすごく得意な人でなくとも、時間をかけて教えてくれる。
- コミュニケーションの問題で献血ができなかったため、対応いただけないか。

(3)外国につながる子ども

Q1. 学校生活や勉強のことを教えてください。

- 勉強で困っていることはない。来日した時（小学1年生）は、先生や友だちが何を言っているかわからない時があったが、小学2年生頃からわからないことはなくなった。（小学生）
- 算数、読書が好きで、学校の図書館で動物の物語や図鑑を読んでいる。（小学生）
- 国語が少し難しい。長い文章は読めるが、途中でわからなくなる時がある。（小学生）
- 教室で体育着に着替えたりすることは、特に抵抗はない。（小学生）
- 学校は楽しい。（小学生）
- 先生の日本語は理解できるが、中学生になり、テスト勉強が難しいと感じる。（中学生）
- 英語が得意で、理科・社会・数学が苦手。道徳や総合の時間は、母国とはやり方がちがうと感じた。（中学生）
- 作文など文章を作るのが難しい。母語でも苦手だ。（中学生）
- 過去に母国の学校にも通っていた。来日した際、最初は授業の内容がわからなかった。今は漢字が難しく、教科書に出てくる漢字が読めないことがある。漢字は書くより読む方が得意だ。（中学生）
- 苦手な教科は国語。文章問題で答えを探すことが難しい。（中学生）
- 好きな教科は数学。ほかの教科はあまり好きではない。（中学生）
- 教室で体育の着替えをするのには驚いた。母国ではトイレで着替える。恥ずかしかったが、今は慣れた。（中学生）
- お箸の使い方がわからなかったので、給食の時はスプーンを使っていた。（中学生）
- 日本で生まれ育ったので、先生が言っていることがわからなかったことはない。日本語で困ったことはないが、たまに漢字がわからないことがある。（中学生）
- 中学校に入って、敬語が難しいと感じる。（中学生）
- 困っていることはない。（高校生）

Q2. 日本語をどうやって学びましたか。また、家庭で使っている言語を教えてください。

- 日本語は、母国にいるときから母に教えてもらっていたので、来日時点である程度日本語ができる状態だった。家庭では母国の言語で話している。自身は母国の言語より日本語のほうが話しやすく、読み書きも得意だ。（小学生）
- 父の仕事の都合で色々な国に住んでおり、母国の学校には通ったことがない。母国の言語は話すことしかできない。英語が一番得意で、日本語は来日してから勉強し始めた。漢字は難しいが、国語はあまり難しくない。（小学生）
- ひらがな・カタカナはできるが、漢字は少し難しい。日本でインターナショナルスクールに通っていたため、英語も話せる。母国の言語の読み書きもでき、日本語よりは母語が得意。家庭では母語と日本語を混ぜながら話している。（小学生）
- 日本語より母語のほうが話しやすい。家庭では母語で会話している。（中学生）
- 父も日本語ができるが、家族の中では自分が一番日本語ができる。家庭では母語で会話している。（中学生）
- 家庭では日本語・母語・英語を混ぜて話している。（中学生）

Q3.宿題をする時は、誰に助けてもらっていますか。

- 一人でやったり、母に見てもらったりしている。平日は学習塾で勉強し、土曜日にも日本語の勉強や学校の復習をする塾に通っている。(小学生)
- 漢字を写すだけの宿題は自分でできる。時々よくわからない宿題があり、M I Aで質問している。(小学生)
- 通っている学校では宿題はない。代わりに自主学習をしている。(小学生)
- 数学と国語は学習塾で見てもらっている。ほかの教科は、友だちや先生に聞いている。(中学生)
- わからないことがあれば LINE で友だちに聞いたり、すてっぷルームで教えてもらったりしている。(中学生)
- 昔は、すてっぷルームで勉強していた。今は自分ひとりでやっているが、わからない時は友だちに聞いている。また、学習塾で授業の予習をしている。(中学生)
- 日本に来たばかりの時(中学3年生)、日本人が学校で習っていること(特に数学)に追いつくために、市教育委員会帰国・外国人教育相談室の方々に教えてもらっていた。今は一人でやっている。(高校生)

Q4.学校の間関係について教えてください。

- 友だちとは仲良く、先生ともうまくやれている。(小学生)
- 時々先生の言っていることがわからない時はあるが、うまくやれていると思う。(小学生)
- 友だちとも先生ともうまくやれている。(中学生)
- 周りの友だちがいつも手伝ってくれて、先生も助けてくれた。(中学生)
- 困っていることはない。(高校生)

Q5.学校生活以外(家で過ごす時間等)で、困っていることはありますか。

- 両親は、日本語の会話はできるが読み書きが難しいため、書類の記入が必要なときは自分が口頭で説明して、聞き取った内容を代わりに書いている。わからないことがあるときは、父の職場の日本人に助けてもらっている。(中学生)
- 困っていることはない。(小学生、高校生)

Q6.学校に慣れるまでにどれくらいかかりましたか。

- 1年くらいで慣れた。(中学生)
- 2週間ほどで慣れた。(高校生)

Q7.学校の行事について教えてください。

- 楽しく参加している。特に音楽系の行事が楽しかった。(小学生)
- 学校行事は楽しい。(中学生、高校生)
- 日本に来て最初の年の宿泊学習では、日本語があまりできなかったため友だちとの交流が少し難しかったが、その次の年からは問題なくなった。(中学生)

Q8.部活動等に参加していますか。

- スポーツクラブや委員会に所属している。(小学生)
- クラブに所属している。習い事にも通っている。周りは皆日本人で、先生の説明がわかりやすく、楽しい。(小学生)
- 部活動に参加している。楽しい。(中学生)
- 部員と仲良くしている。(中学生)
- 参加していない。(高校生)

Q9.①MIAを知ったきっかけを教えてください。(MIAの学習支援を受けている子ども)

②MIAを知っていますか。(市教育委員会帰国・外国人教育相談室の支援を受けている、もしくは支援を受けていた子ども)

- ①両親が見つけたと思う。M I Aに来ている子たちとは仲が良く、勉強した後にその子たちや先生と遊ぶ時間が楽しい。(小学生)
- ①M I Aは父が見つけたと思う。M I Aで自然と日本語が身に付いた。(中学生)
- ②知らない。(中学生)
- ②市からのアンケートに回答する親を手伝った際に知った。(中学生)

Q10.来日前に不安だったことや今不安なことを教えてください。(中学生、高校生のみ)

- 来日前は、友だちがつくれるか不安だった。言葉がわからないから、何を話したらいいのかわからず、不安な気持ちがあった。今は漢字が不安。(中学生)
- 来日前は、日本での生活に慣れることができるか、友だちがつくれるかが不安だった。今は特になし。(高校生)

(4)外国籍市民コミュニティ

Q1.日本で暮らしてみて驚いたことを教えてください。

- トイレなど、どこに行ってもきれいなことに驚いた。
- 電車の乗り方がわからなくて困った。わからないときは、駅の周りの人やネパール出身の友だちに聞いた。電車や駅でもやさしい日本語で書いてもらいたい。
- 日本人がちゃんと時間を守っていることに驚いた。ネパールの人たちも守らないわけではないが、日本人はちゃんとしている。

Q2.どのように日本語を学びましたか。また、日本語がうまく話せない時に、してもらおうと助かること、してもらって助かったことはありますか。

- 過去にネパールで日本人向けの観光ガイドの仕事をしており、現地で日本語を勉強してから来日した。ガイドの仕事の時はわからないことがたくさんあった。間違えたところは「そうではなく、こういう風に言えばいい」と教えてもらえればいいと思う。
- 来日し、専門学校で日本語を勉強した。学校の相談窓口や先生、ネパール出身の先輩に相談して助けられた。ネパールの言語がわかる人がいると助かった。
- もう少し日本で英語が使えたら良い。

Q3.地域活動に参加したことはありますか。参加したことがない人は、活動に参加したいと思いませんか。

- 飲食店を経営しているので、毎年商店街のお祭りに参加している。商店街の人に声をかけてもらったことがきっかけだ。お店の宣伝にもなり、楽しい。参加したことで日本人の友だちも増えた。
- 参加していない。参加したいが、いつやっているかわからない。どこでどんなイベントをやっているかわかれば参加したい。

Q4.周りの日本人との関わりについて教えてください。

- 色々なイベントに参加し、一緒にやっている。優しい人が多く、仲良くできている。わからないことがあれば、すぐに教えてくれ、「わからないことがあったら言ってね」と声をかけてくれる。
- 簡単なあいさつしかしていない。職場の日本人とは仲良くなっている。周りに友だちがいなかったら日本人の友だちがほしいと思うかもしれないが、仕事も忙しく、すでにネパール出身の友だちと一緒に住み、休みの日も一緒に過ごしているので、日本人の友だちをつくりたいとはあまり思っていない。
- 近所の人や職場の人と関わっており、友人関係になっている。文化が違って、仲良くすることはあまり難しくない。近所の人から、どこの出身か、日本にいたのはどのくらいか、と話かけられ、話すようになった。

Q5.子育てで困っていることはありますか。

- 市や学校から紙面の案内がたくさん来るが、チラシやパンフレットなのか、大事な通知なのか、わかりづらく、必要なものを捨ててしまうことがあった。今は友だちに聞いて教えてもらっている。読めない時は翻訳アプリを使うが、間違っていることがあるので、学校のことでわからないことは、地元の日本人や、子ども関係の父母たち（日本人）にすぐに質問するようにしている。学校にはネパール出身の人はいない。

Q6.武蔵野市に住んでいる周りの日本人は、外国籍市民への理解がありますか。多文化共生への意識が高いと思いますか。

- 理解してくれる。住んでいるところも、経営している店もそうだ。
- 皆優しく、嫌な思いをした経験はない。

Q7.地域の日本人や外国籍市民に対して、多文化共生のために求めることはありますか。

- ネパールに行ったことがない日本人は多いと思うが、ネパールから来た人がどういう人かを理解してもらえると良い。日本も他の国も、そのような文化があるんだ、という風にお互いに理解してほしい。そのような相互理解のためのイベントがあったらいいと思う。ぜひ参加したい。
- 市役所等でネパールのイベントがあれば、ぜひ参加したい。
- 日本人とは、飲み会ができればすぐに仲良くなれると思う。毎月1回でもそのようなことがあれば良いと思う。

Q8.MIAを知っていますか。知っている人は、MIAを知ったきっかけを教えてください。
また、多くの人にMIAを知ってもらうためには、どのような情報発信が必要だと思いますか。

- 知っている。以前、娘をM I Aの日本語教室に通わせた。M I Aのことは親戚に教えてもらったが、市役所に行った際も、日本語を教えてくれる場所として紹介してもらった。日本語教室は、とても助かった。
- 知らなかった。ポスティング、イベントの際などにお知らせしてはどうか。

Q9.その他、何か伝えたいことはありますか。

- 書類は、英語で記載したり、漢字にふりがなを振ったりしていると良い。漢字には意味が複数あって難しいため、漢字ばかりではわからない。やさしい日本語も読みやすいと思う。
- 多文化交流をしてほしい。

(5)外国籍市民と関わりがある日本人(外国籍市民を雇用している法人)

* 市内高齢者施設職員

Q1. 現在、どのように外国籍市民と関わっていますか。

- 経済連携協定（EPA）により、法人をあげて海外から介護福祉士候補者の受け入れをしている。来日して3年間勉強し、介護福祉士の試験を受けるところまでのプログラムを提供している。その後は希望により日本に残る人も、帰国する人もいる。プログラム修了後は契約の見直しをするので、可能であればそのまま法人内で就職してほしいが、他の法人に行く人もいれば、他の法人から来る人もいる。
- ビザの取次ぎにあたって、法人としての提出書類が相当数あり、負担がある状況だ。社会保険労務士にこの点は委託する法人も多いが、委託費用もかなりかかる。そのため、自分は取次責任者の資格を取得した。この点は、外国人雇用にあたって障害になることである。
- 経済連携協定（EPA）により、日本人と同等の給与、待遇にしなければならないため、仕事内容も日本人と同じだが、どうしても言語力の差がある。
- 外国人が日本で仕事をするためのルートがいくつかあり、経済連携協定（EPA）を通じている方は、来日費用、社宅の用意や、通学も勤務扱いとして法人が負担するなど、本人たちに対して手厚くなっている。

Q2. 外国籍職員と関わっていて困ったことや戸惑ったことはありますか。

- 雇用している職員は、現地での選抜の時点で看護学士になっており、基本的には医療の知識を介護に応用するだけなので、仕事内容については問題ない。言語の問題が大きく、何か起きたときに日本語で問題の根本にたどり着けない人が多い。母語に翻訳することで理解できる。
- イスラム教徒には、祈りの時間が毎日あり、祈祷場所や時間の確保のほか、ラマダン（断食）への配慮が必要で、そのサポートもしなければならない。女性にはヒジャブ（被り物）の習慣があり、当法人では許可しているが、許可していない法人もあるようだ。宗教に理解がない法人は、本人たちにとって働きやすい環境であるとはいえないだろう。
- 食事の面ではハラルの問題がある。ハラル対応をしているレストランが近くにないため、コンビニの塩おにぎり等しか用意することができない状況だ。

Q3. 外国籍職員は、日本人職員同士のコミュニティや自宅近くの住民コミュニティに参加する意欲はありますか。

- 外国籍かどうかはあまり関係ない気がしている。社交的な人は積極的に交流し、閉鎖的な人はあまりできていない。ただ、異国の地で働き生活していくためのコミュニティは自分たちで確保しているようだ。経済連携協定（EPA）により来日した仲間が200人くらいいるようで、LINEでグループになっているようだ。
- 飲み会などは、宗教上の理由で成立しない。

Q4. 外国籍職員について、日本人職員と違うと感じるところはありますか。

- 会議などの場面では人それぞれだ。
- 外国人に対して特に注意を払っていることとしては、普段から伝えたいことが確実に伝わっているかという点で、相互の確認をするようにしている。同じことを同じように伝えつもりでも、捉え方が異なることがあるので、ひどい、と言われてしまうことがあるためだ。必要に応じて翻訳アプリに頼ることもある。
- 文化的なものなのか、人に何かしてあげたいという思想や奉仕の精神が強く、皆人に優しい。そのため、介護施設利用者から好かれている。

資料編

資料編

1. アンケート調査集計表

*SAは単数回答、MAは複数回答を表します。

調査実施言語別回答数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	やさしい日本語	579	47.3
2	英語	348	28.4
3	中国語	216	17.6
4	ネパール語	42	3.4
5	韓国語	40	3.3
	回答者数	1,225	100

あなたのこと

Q1. あなたの国籍・地域はどこですか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	中国	403	32.9
2	韓国・朝鮮	165	13.5
3	アメリカ	75	6.1
4	台湾	86	7.0
5	ネパール	61	5.0
6	ベトナム	30	2.4
7	フィリピン	53	4.3
8	イギリス	34	2.8
9	フランス	33	2.7
10	インド	17	1.4
11	カナダ	19	1.6
12	そのほか	220	18.0
	無回答	29	2.4
	回答者数	1,225	100

Q2. あなたは何歳ですか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	18～19歳	7	0.6
2	20～29歳	323	26.4
3	30～39歳	411	33.6
4	40～49歳	214	17.5
5	50～59歳	149	12.2
6	60～69歳	60	4.9
7	70歳以上	50	4.1
	無回答	11	0.9
	回答者数	1,225	100

Q3. あなたの性別はどれですか。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	559	45.6
2	女性	636	51.9
3	そのほか/答えない	13	1.1
	無回答	17	1.4
	回答者数	1,225	100

Q4. あなたの今の在留資格は何ですか。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	永住者	350	28.6
2	技術・人文知識・国際業務	281	22.9
3	留学	167	13.6
4	家族滞在	72	5.9
5	日本人の配偶者等	120	9.8
6	特別永住者	35	2.9
7	定住者	18	1.5
8	特定活動	17	1.4
9	高度専門職	36	2.9
10	技能	10	0.8
11	経営・管理	18	1.5
12	教育	19	1.6
13	教授	17	1.4
14	宗教	8	0.7
15	企業内転勤	11	0.9
16	永住者の配偶者等	11	0.9
17	技能実習	2	0.2
18	そのほか	17	1.4
	無回答	16	1.3
	回答者数	1,225	100

Q5. あなたは仕事をしていますか。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	仕事をしている	807	65.9
2	仕事をしていない	202	16.5
3	学生	173	14.1
4	そのほか	27	2.2
	無回答	16	1.3
	回答者数	1,225	100

Q6. あなたは、これまでの合計で、日本にどれくらい住んでいますか。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6か月未満	5	0.4
2	6か月以上～1年未満	44	3.6
3	1年以上～3年未満	156	12.7
4	3年以上～5年未満	215	17.6
5	5年以上～10年未満	293	23.9
6	10年以上～20年未満	239	19.5
7	20年以上	261	21.3
	無回答	12	1.0
	回答者数	1,225	100

Q7. あなたの住所は、次のうちどれですか。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	吉祥寺東町	87	7.1
2	吉祥寺南町	125	10.2
3	御殿山	43	3.5
4	吉祥寺本町	152	12.4
5	吉祥寺北町	88	7.2
6	中町	120	9.8
7	西久保	86	7.0
8	緑町	67	5.5
9	八幡町	26	2.1
10	関前	69	5.6
11	境	147	12.0
12	境南町	108	8.8
13	桜堤	85	6.9
14	わからない	7	0.6
	無回答	15	1.2
	回答者数	1,225	100

Q8. あなたといま、いっしょに住んでいる人はいますか。 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	一人で住んでいる	409	33.4
2	配偶者・パートナー	659	53.8
3	子ども	386	31.5
4	自分または配偶者の親	50	4.1
5	兄弟・姉妹	17	1.4
6	そのほかの親戚	8	0.7
7	知り合い・友だち	53	4.3
8	そのほか	20	1.6
	無回答	12	1.0
	回答者数	1,225	100

Q8. あなたといま、いっしょに住んでいる人はいますか。

(再掲：Q8の回答を同居者の組み合わせごとに再集計)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	一人で住んでいる	406	33.1
2	配偶者・パートナー	304	24.8
3	配偶者・パートナーと子ども	329	26.9
4	配偶者・パートナーと子どもと自分または配偶者の親	15	1.2
5	子ども	34	2.8
6	自分または配偶者の親	22	1.8
7	自分または配偶者の親と兄弟・姉妹	7	0.6
8	兄弟・姉妹	5	0.4
9	そのほかの親戚	6	0.5
10	知り合い・友だち	52	4.2
11	そのほか	14	1.1
12	そのほかの組み合わせ	19	1.6
	無回答	12	1.0
	回答者数	1,225	100

Q9. Q8で「子ども」に○をした人は、子どもの年齢と何人いるかを教えてください。

子どもの人数

(数量)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	195	50.5
2	2人	155	40.2
3	3人	20	5.2
4	4人	3	0.8
	無回答	13	3.4
	回答者数	386	100

子どもの年齢

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	6歳未満	158	40.9
2	6～12歳	162	42.0
3	13～15歳	57	14.8
4	16～18歳	42	10.9
5	19歳以上	76	19.7
	無回答	2	0.5
	回答者数	386	100

言葉のこと

Q10. あなたの第一言語はどれですか。		(SA)	
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	日本語	106	8.7
2	中国語	463	37.8
3	韓国・朝鮮語	106	8.7
4	英語	165	13.5
5	ネパール語	60	4.9
6	ベトナム語	31	2.5
7	タガログ語	46	3.8
8	フランス語	34	2.8
9	ヒンディー語	8	0.7
10	インドネシア語	19	1.6
11	タイ語	20	1.6
12	そのほか	134	10.9
	無回答	33	2.7
	回答者数	1,225	100

Q11. あなたはどのくらい日本語の読み書きや会話ができますか。

(SA)

①聞く

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ニュース、ドラマの内容を理解できる	669	54.6
2	相手の言うことは大体理解できる	230	18.8
3	相手がゆっくり話すことは理解できる	174	14.2
4	単語だけ聞き取れる	91	7.4
5	ほとんど聞き取れない	35	2.9
	無回答	26	2.1
	回答者数	1,225	100

②話す

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自分の言いたいことが問題なく話せる	510	41.6
2	自分の言いたいことが大体話せる	367	30.0
3	簡単な日常会話ができる	202	16.5
4	自己紹介、決まったあいさつ、単語なら言うことができる	95	7.8
5	ほとんど話せない	41	3.3
	無回答	10	0.8
	回答者数	1,225	100

③読む

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる	698	57.0
2	市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる	179	14.6
3	新聞・雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報がとれる	93	7.6
4	絵のついた簡単な指示（例：ごみの捨て方、料理の作り方）がわかる	149	12.2
5	ほとんど読めない	89	7.3
	無回答	17	1.4
	回答者数	1,225	100

④書く

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	報告書やレポートで用いる文章を書くことができる	507	41.4
2	自己紹介や日常生活を伝える文章を書くことができる	287	23.4
3	まわりの人に伝える簡単なメモなどを書くことができる	136	11.1
4	名前や国名、住所などが書ける	157	12.8
5	ほとんど書けない	125	10.2
	無回答	13	1.1
	回答者数	1,225	100

Q12. あなたは今後、日本語を学びたいと思いますか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学びたい	795	64.9
2	わかるので学ばなくてよい	396	32.3
3	わからないが学ばなくてよい	21	1.7
	無回答	13	1.1
	回答者数	1,225	100

あなたが困っていること

Q15. あなたは生活の中で不便を感じていることや困っていることはありますか。 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	公的な手続きがわからない	264	21.6
2	公的な手続きで困った時の相談先がわからない	226	18.4
3	在留資格やビザの問題	104	8.5
4	日本人・他の外国人とのコミュニケーション	170	13.9
5	子育てのこと	80	6.5
6	隣近所との付き合い	69	5.6
7	友だちがいない	156	12.7
8	病院・医療のこと	195	15.9
9	災害時・緊急時の安全のこと（地震・台風・大雨など）	221	18.0
10	文化や宗教による風習や習慣のちがい	85	6.9
11	そのほか	73	6.0
12	困っていない	459	37.5
	無回答	53	4.3
	回答者数	1,225	100

Q17. あなたは困ったとき、一番に誰に聞きますか。相談しますか。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家族・親戚	582	47.5
2	家族・親戚以外の同じ国・地域の人	106	8.7
3	教会・寺院などの同じ宗教の集まり	10	0.8
4	日本人の知り合い・友だち	127	10.4
5	職場の同僚、学校のクラスメイト	90	7.3
6	上記選択肢以外の知り合い・友だち	34	2.8
7	M I A（武蔵野市国際交流協会）	1	0.1
8	保育園・幼稚園や学校の先生	2	0.2
9	市教育委員会の帰国・外国人教育相談室	1	0.1
10	大学の留学生支援	4	0.3
11	大使館	4	0.3
12	市役所	20	1.6
13	掲示板やブログなどのインターネットの情報サイト	62	5.1
14	そのほか	22	1.8
15	いない	39	3.2
	無回答	121	9.9
	回答者数	1,225	100

Q18. Q17 で1～6 のどれかに○をした人に質問です。その人はどこにいますか。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	都内	727	76.6
2	都外	56	5.9
3	外国	141	14.9
	無回答	25	2.6
	回答者数	949	100

Q19. Q17 で1～6 のどれかに○をした人に質問です。その人とはどうやってコミュニケーションをとっていますか。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	直接会って話している	543	57.2
2	ビデオ通話で話している	120	12.6
3	電話で話している	142	15.0
4	メールなどでメッセージを送り合っている	105	11.1
	無回答	39	4.1
	回答者数	949	100

あなたの子どものこと(18歳未満の子どもがいる人が対象)

Q20. あなたの子子どもが通っている学校などはどれですか。 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	保育園	70	21.0
2	幼稚園	68	20.4
3	インターナショナルスクール	31	9.3
4	小学校	139	41.7
5	中学校	51	15.3
6	自宅で教育・保育を行っている	8	2.4
7	そのほか	45	13.5
	無回答	15	4.5
	回答者数	333	100

Q21. 子育てや子どもの教育であなた（保護者）が困っていることは何ですか。 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学校からのお知らせ（印刷物）が読めない	55	16.5
2	日本の学校生活・制度・行事について理解できない	59	17.7
3	文化や宗教上の（食事や生活習慣に関すること）配慮が不足している	22	6.6
4	学校の先生とコミュニケーションがとれない	32	9.6
5	他の保護者とのコミュニケーションがとれない	38	11.4
6	子どもが勉強についていけない	18	5.4
7	子どもの進路のこと	39	11.7
8	日本で育った子どもの価値観と母国で育った親の価値観が合わない	49	14.7
9	言語の問題で子どもと深いコミュニケーションがとれない	34	10.2
10	家庭内の問題や事情	17	5.1
11	そのほか	18	5.4
12	ない	140	42.0
	無回答	16	4.8
	回答者数	333	100

Q22. 子どもが困っていそうなことはありますか。 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	園・学校に行かない、行きたがらない	7	2.1
2	学校の勉強についていけない	19	5.7
3	日本語学習・習得に困っている	28	8.4
4	母語学習に困っている	50	15.0
5	友だちができない	11	3.3
6	友人関係に困っている	25	7.5
7	先生との関係に困っている	3	0.9
8	そのほか	15	4.5
9	ない	204	61.3
	無回答	24	7.2
	回答者数	333	100

防災のこと

Q23. 地震、台風、大雨について、どのような準備をしていますか。		(MA)	
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	市役所からの情報を得る方法（ホームページなど）を知っている	403	32.9
2	市の防災マップを持っている	288	23.5
3	災害が起こったときに行く避難場所（近くの学校や公園）を知っている	547	44.7
4	食べ物や飲み物、防災グッズを用意している	526	42.9
5	家具などを固定し、倒れないようにしている	320	26.1
6	防災訓練などの防火・防災行事に参加している	113	9.2
7	近所の人たちとあいさつや話をして、顔見知りになっている	165	13.5
8	家族と緊急時の連絡方法や集まる場所を決めている	214	17.5
9	そのほか	25	2.0
10	何もしていない	212	17.3
	無回答	33	2.7
	回答者数	1,225	100

情報や相談のこと

Q24. 武蔵野市からのお知らせなど、あなたにとって必要な情報は、あなたに届いていますか。		(SA)	
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	十分届いている	472	38.5
2	まあ届いている	542	44.2
3	あまり届いていない	131	10.7
4	届いていない	57	4.7
	無回答	23	1.9
	回答者数	1,225	100

Q25. あなたは、ふだんどのように武蔵野市の情報を入手していますか。		(MA)	
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	市報むさしの（紙）	671	54.8
2	市ホームページ	493	40.2
3	市 Twitter	40	3.3
4	市 Facebook	19	1.6
5	市 LINE	99	8.1
6	コミュニティセンター	31	2.5
7	公共施設（図書館、体育館、市政センターなど）	134	10.9
8	カタログポケット（WEB版市報10言語訳）	20	1.6
9	MIA（武蔵野市国際交流協会）	72	5.9
10	職場の同僚や学校の友だち	98	8.0
11	「職場の同僚や学校の友だち」以外の知り合い	95	7.8
12	そのほか	90	7.3
	無回答	37	3.0
	回答者数	1,225	100

Q26. 武蔵野市からの情報は、どの言語だとわかりますか。 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	やさしい日本語	870	71.0
2	英語	488	39.8
3	自分の第一言語	435	35.5
4	そのほか	89	7.3
	無回答	33	2.7
	回答者数	1,225	100

Q27. あなたが市役所に相談した時に良かった対応方法や、やってもらえると助かる対応方法はどれですか。 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ゆっくり話す日本語	751	61.3
2	やさしい日本語 (文書)	443	36.2
3	英語 (文書)	344	28.1
4	通訳 (英語)	203	16.6
5	通訳 (英語以外)	97	7.9
6	翻訳機器	126	10.3
7	そのほか	109	8.9
	無回答	70	5.7
	回答者数	1,225	100

地域のこと

Q28. あなたは、となり近所や地域の人とどのように関わっていますか。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	よく話したり、あそぶ	68	5.6
2	たまに話したり、あそぶ	110	9.0
3	あいさつをするくらい	728	59.4
4	見かけても、何も話さない	78	6.4
5	関わる時がない	220	18.0
	無回答	21	1.7
	回答者数	1,225	100

Q29. あなたは、地域に日本人の知り合いがほしいですか。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	もっと増やしたい	613	50.0
2	今の知り合いで十分	441	36.0
3	いらない	148	12.1
	無回答	23	1.9
	回答者数	1,225	100

Q30. M I A（武蔵野市国際交流協会）の活動で知っていることを教えてください。（MA）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	日本語教室	336	27.4
2	法律・心理相談	134	10.9
3	通訳・翻訳サービス	109	8.9
4	料理教室	147	12.0
5	M I Aまつり	146	11.9
6	ボランティア活動	146	11.9
7	M I Aを知らない	730	59.6
	無回答	52	4.2
	回答者数	1,225	100

Q31. あなたは地域の人役に立つ活動がしたいですか。（SA）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	活動したい	506	41.3
2	活動したくない	166	13.6
3	どちらでもない	528	43.1
	無回答	25	2.0
	回答者数	1,225	100

Q32. Q31で「1.活動したい」に○をした人は、どんな活動がしたいですか。（MA）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	言語を教える	260	51.4
2	通訳・翻訳をする	227	44.9
3	勉強を教える	147	29.1
4	スポーツ・音楽（歌・楽器）を教える	66	13.0
5	外国の文化（料理・衣服など）や習慣を教える	159	31.4
6	日本に来たばかりの外国人の支援	221	43.7
7	外国につながる子どもの支援	113	22.3
8	子どもを預かったり面倒をみたりする	57	11.3
9	高齢者や体の不自由な人への支援	83	16.4
10	地域のイベントを企画する・手伝う	178	35.2
11	外国人と日本人の交流のきっかけづくり	230	45.5
12	そのほか	15	3.0
13	ない	18	3.6
	無回答	4	0.8
	回答者数	506	100

2. アンケート調査自由回答形式設問の回答(抜粋)

Q13 Q12で「わからないが学ばなくてよい」に○をした人は、理由を教えてください。(自由記述)

- 高齢・健康上の理由のため。

健康問題のためです。
年だからです。
77歳では語学を学ぶには年を取り過ぎています。引退しているので、仕事に日本語は必要ありません。また、日本人の妻に翻訳してもらえます。
高齢。右腕が動かない。

- 不自由を感じない、通訳が身近にいて学ぶ必要がないため。

会社に通訳がいます。
不自由を感じないから。
仕事や生活では英語を使うので。

- 日本語が難しいため。

学んでも身につかず、覚えてられません。
難しいから。

Q14 日本語がわかることで、あなたができるようになったことはありますか。また、今よりも日本語ができるようになったらやりたいことはありますか。 (自由記述)

■できるようになったこと

- 日本で就職・仕事ができるようになった。

仕事
仕事がしやすくなりました。
日本の会社で働く。
日本語で仕事できるようになった。

- パート・アルバイトを始めることができた。

アルバイト
アルバイト、就職活動
スーパーでレジのアルバイトをしています。
パート

- 資格を取得できた。

日本語能力試験 1 級を取りました。
日本語能力試験 2 級を取得しているが、日本語能力試験 3 級と日本語能力試験 2 級レベルの間の読み書きが可能であり、理解できる。時々、正式な手紙または情報などが理解できない。
日本語能力試験 1 級を獲得した。日本語で仕事できた (例：官公庁への正式のレポートを作成と提出を担当、難易度の高い資料を和英訳等)。
ヘルパー 2 級資格証を取りました。
資格試験受かった。仕事出来た。

- 日本語で表現できるようになった、日本語で物事を理解できるようになった。

専門的な勉強。論文やレポートを書くことなど。
レポートなどの書類が書けるようになった。他の人と交流することも。
ニュースを聴く。新聞を読む。
道路標識や自治体からの重要なお知らせがわかるようになりました。ニュースを見たり、聞いたりして理解できるようになり、意識が高まりました。

- 映画・テレビ・アニメの鑑賞、読書、旅行など娯楽が増えた。

字幕なしで日本のアニメとドラマを見られるようになりました。
一人で旅行する。
日本の歌が練習できるようになった。
小説が読めるようになりました。ドラマと映画を字幕なしで理解できるようになりました。
日本のテレビや映画を見たり、日本のラジオを聞けるようになったし、日本語の本をもっと読めるようになった。
テレビのニュースやドラマが少しわかるようになりました。

- 通院や生活上で必要な手続きなど自力でできることが増えた。

一人で病院や役所に行けるようになった。
税務署に行って、書類を書く。日常生活を送る (市役所/銀行、アパートを借りる)。診療所に行く (簡単な日本語で健康状態を話す)。
名前を読む。食事を注文する。電話で予約を行う。オークションサイトを利用する。

- 買い物や飲食店での対応等、日常生活が円滑に行えるようになった。

コンビニで買い物をする、電車に乗る。
食料品を買いに行ったり、レストランで食事して、支払いができること。
ごみ捨ての時間や方法、料理方法や原料配合表がわかるようになったこと、簡単な日本語が聞き取れるようになったこと、免許の試験が受けられるようになったこと、オンラインでもオフラインでも買い物ができようになったことなどです。
日常生活で周囲の人とコミュニケーションが取れる。レストランで料理を注文/ホテルを予約/レンタカーを借りる。
レストランで料理を注文する。服や食料品を買う。自己紹介する。予約を取る。
コンビニで買い物ができる。自分で (Google Map を使って) バスや電車に乗ることができる。

- 日本に留学、日本で進学できるようになった。

大学院に合格できたこと。
大学に進学しました。
留学
大学の日本語科から出ています。大学から卒業した後、日系企業に勤めました。

- コミュニケーション・交友関係の幅が広がった。

いつでも子どもの学校の活動やPTAの活動に参加でき、意義のあることができるようになりました。
日本人の友だちができた。
日本人と簡単な会話ができるようになって、日本の文化に深く触れられるようになりました。

- ボランティア活動ができるようになった。

教会ボランティア、オリンピックボランティア、小学校のPTA、児童英語クラスのボランティアです。
日本語がわからない友だちが困った時に助けることです (病気の時に病院へ付き添う)。
月に2回、サービスセンターで高齢者とのレクリエーションに参加しています。

■今よりもできるようになったらやりたいこと

- より良い仕事に就きたい。日本で就職したい。

仕事
就職
日本で仕事がしたい。
もっといい仕事につきたい。

- パート・アルバイトがしたい。

アルバイト
パートで働いてみたい。
言語能力が基本的な生活や仕事場に対応できるようになったら、学校に入って磨き続け、アルバイトをしたいです。

- 通訳・翻訳の仕事がしたい。

翻訳の仕事がしたい。
通訳、通訳
通訳、翻訳や言語教育に関する職種に従事したいです。

- 映画・テレビの鑑賞、読書、旅行、料理など趣味・活動の幅を広げたい。

ドラマ/ニュースを見る。新聞を読む。
日本語の本を読みたい。
日本中を旅行したい。
安心して楽しめるようになりたい（英語と同じレベルで流暢になりたい）。映画を見に行ったり、雑誌を読んだり、博物館を見に行ったりしたい。また、剣道や弓道の練習など、言語の制限なく活動に参加したい。
料理やお茶、生け花など、日本文化の習い事にトライしてみたい。
日本各地を旅行する、新しい日本人の友だちを作る。

- 日本文化や歴史をもっと理解したい。

日本語をもっと理解できるようになったら、地元の人と交流を深めて、彼らの文化を理解できる。
もっと日本の文化を知りたいです。例えば、日本の伝統文化を体験したいです。
伝統芸能（歌舞伎）を見に行きたい。
日本の文化や歴史をもっと知りたい。もし時間があったらチャリティー活動がやりたい。
日本の文化や日本人をもっと理解すること。もっと日本に貢献すること。

- 通院や生活上の手続きなど自力でできることを増やしたい。

官公庁の書類を理解する。銀行とやり取りして、クレジットカードを作る。不動産などの業者とコミュニケーションを取り、車を購入したり、保険に加入するなど、生活環境を整える。
病院に一人で行けるようになりたい。
自分のことが自分でできるようになりたい。

- ボランティア・社会貢献活動がしたい。

地域のコミュニティのプロジェクトにかかわりたい。
ボランティアをしたい。
社会貢献がしたいです。

- 日本の大学・大学院で学びたい。

大学院へ行きたい。
大学のレポートを書く。

- 日本人とコミュニケーションをとりたい。交流したい。友だちを増やしたい。

日本人の友だちを作りたい。
日本人や近隣の人と交流したい。
日本人たちとたくさん話がしたいです。
日本人ともっとコミュニケーションを取りたい。
もっと日本人と交流したい。より多くの日本人友だち作りたい。

- 自分の意見を表現したい。

言いたいことを言えるようになりたいです。
会社の会議でスムーズに自分の考えを話します。
自分の言いたいことをもっとうまく表現する。

- 日本語の不自由な友だちを助けて、自国文化を日本人等に教えたい。

日本語できない友だちを助けてあげたい。
偏見をなくしたい。母国を好きになってほしい。正しい世界観を広めたい。

- 資格を取得したい。

介護士になること。
日本語検定に合格したいです。
日本で運転免許を取りたい。

- 発音・アクセント・敬語・漢字・カタカナなど、もっと日本語を上達させたい。

会話表現の正確さを高めたい、またカタカナへの恐怖を克服したいです。
漢字を習得する。漢字で読み書きする。
日本語の発音とアクセントを良くしたいと思います。
日本語をもっと上達させたいです。
敬語を学ぶ。職場で日本語を使う。地域に影響を与える複雑なトピックについてもっと理解できるようになる。

Q16 新型コロナウイルス感染症の影響であなたが困ったことは何ですか。Q15 で答えたことのほかにあれば教えてください。(自由記述)

- 困っていることはない。

ない。
私の仕事は、感染予防対策を講じた上でほぼ通常どおりに行っていますので、それほど影響はありません。

- 出入国が自由にできなくなったこと(家族に会えない、冠婚葬祭に出席できない、再入国ができなくなることへの不安、海外出張ができないことや隔離期間などによる仕事への支障)。

自分の国に帰れない。
母国にいる家族に会えないこと。
母が亡くなったとき、母国の家族に会いに行けなかった。
家族が入国できないので、結婚式を2回延期しました。
自由に出入国できない。
帰国することができません。帰国すると、日本に再入国できなくなるのが怖いです。
日本入国後の14日間の隔離が仕事に支障をきたしており精神的にかなり辛いです。
海外に出張出来ないため、仕事が上手く進まない。

- 仕事の減少・失業等による収入減や就職難。

収入(年収)・給料が減った。
仕事なくなった。
仕事が減った。
仕事が見つかりません。

- 外出がしにくくなったこと(飲食店の営業時間短縮、子どもの遊び場がないなど)。

外出が不自由になりました。
飲食店の営業時間が短くなったこと困ります。
子どもの遊び場の制限。

- 人と話す機会が減り、孤独感を覚える。気分が落ち込み、ストレスを抱えている。

孤立感が高まった。
人との出会いが激減して、孤独感を感じる場合が増えたと思う。
人と交流する機会がなくなったこと。
気分の落ち込み。
ストレス、運動できない。

- 日本語で話す機会が減り、日本語能力への自信がなくなってきた。

ずっと家にいるので日本語ができなくなりました。
長期間、顔を合わせて日本語で交流していないので、今はますます会話に自信がなくなりました。

- ワクチン接種のこと(予約方法がわからなかった、予約がしづらかった)。

ワクチンを接種できる場所がわかるまで時間がかかった。
ワクチンの接種方法を知ること。
ワクチンの予約がなかなかできません。

- 新型コロナウイルス感染への不安。

感染しないか怖かった。

コロナになった時、日本人と同じ対応をしてもらえるか心配。

- 差別がひどくなった。

人はより神経質になっているので、人種差別がひどくなっている。

Q33 Q31で「活動したくない」に○をした人は、その理由を教えてください。

(自由記述)

- 学業、仕事、子育てなどで時間がないため。

時間がない。
仕事と家族で忙しい。
仕事で忙しい。
忙しい。
共働きで小さい子どもが2人いるので、自分たちの時間がなかなか取れません。
学業が忙しいです。

- 高齢・健康上の理由のため。

歳だから。
高齢者なので活動できません。
健康上の問題があるので、あまりアクティブに動けません。

- 言葉の問題があるため。

私は日本語ができません。
言葉でコミュニケーションが取りにくい。

- 人付き合いが面倒、一人であることが好きなど。

面倒臭い。
孤独が好きなので。

Q34 最後に、市役所に伝えたいことがある人は自由に書いてください。

(自由記述)

- 広報、通知などをわかりやすくしてほしい。多言語表記を増やしてほしい。

市役所からの手紙や情報はすべて英語に翻訳してほしいです。
手紙がネパール語であればもっとわかりやすいです。
中国語のお知らせを届けて欲しい。
市から送られる手紙がやさしい日本語だったら助かります。
すべての言語または英語で市報を通して重要な情報を伝えて欲しいです。

- 相談窓口等で英語対応をしてほしい。

市役所に英語を話せる職員がいると助かります。
英語を話す職員を増やしてほしいです。用紙を英語で書いてほしい。

- 手続きができる場所・日時を増やしてほしい。

市政センターで処理できる範囲を増やしてください。
仕事のため平日に相談するのは難しい。

- 外国籍市民を「外国人」とひとくくりにしないでほしい。

特別永住者には当てはまらない質問が多かった。武蔵野市の外国籍住民のうち、特別永住者の割合はどの程度なのでしょうか(少ないなら仕方ないと思います)。
外国人が全員、簡単なゆっくりした日本語しか理解できないと思込まないでほしいです。日本語を母語と同じレベルで話せる外国人はたくさんいます。

- 満足・感謝している。

武蔵野市の職員は親切で、とても対応が良いです。
武蔵野市が大好きです。
素晴らしい街だと思う。
いつもありがとうございます。

- アンケートを実施したことに対する感謝。

外国人向けのアンケートを考えて頂いてありがとうございます！
自分の問題に関心を払っていただける機会を設けてくださり、とても感謝しています。
外国人に興味を持ってくれてありがとうございます。
アンケート調査をしてくれて、ありがとうございます。とても良い取り組みだと思います。

- 交流の場を設けてほしい。

もっと日本の社会に溶け込み、日本の友だちと付き合いたいです。
もっと日本人と国際交流の場やイベントを企画してほしい。
日本に住む外国人に日本人との交流の場を設けてほしいです。

3. インタビュー結果(抜粋)

(1)インタビューを受けようと思った経緯について

- 日本のために役に立てればと思った。
- インタビューの内容が気になった、関心があった。
- 市役所に直接意見を言う機会はあまりないから。

長く武蔵野市に住んでるから、何か貢献できればと思った。
日本のために何かできるなら、と受けようと思った。
どういうインタビューか気になったから。
アンケートが来て、役に立てたらうれしいので参加しました。
日本の公的機関と話す機会は普段あまりないので、自分の考えを伝えたいと思った。

(2)武蔵野市に住むようになった理由について

- 通勤・通学や買い物に便利だから。
- 緑・公園が多いから。
- 子育て・教育環境が良いから。

武蔵野市には5年住んでいる。一番の理由は、息子の学校で、ふさわしい学校が見つかったから。都心と比べて、緑もあるし、公園も近くにあるので、妻も家族も住みやすい。いろんな人のケアに関心をもってやってくれる。とても気に入ってる。
東京で仕事し始めたときに、武蔵野市に住み始めた。職場は都内。緑が多くて、密集していない環境が良いと感じる。職場へのアクセスも良い。
結婚して日本に来てすぐは他の自治体に住んでいたが、子育てしやすいところ、緑が多くて、自転車が乗りやすいところ、緑が多くて坂も少ないところを探して武蔵野市に住むことにした。子どもが学校に入るとなかなか引っ越しができないので、子どもを連れていける公園があり、教育のレベルも高いと聞いて選んだ。
緑が多い。環境が良い。
交通の利便性がよい。緑が多い。夜も静か。
夫の通勤や子どもの通学に便利。

(3)市役所からの情報の把握方法について

①日本語で書かれた手紙やお知らせはどのように内容を把握していますか。

- 家族・友だち・同僚などに聞く。
- 自分で読むことができる。
- Google翻訳やスマホアプリなどの翻訳ツールを使用している。
- やさしい日本語での表記やルビがあればわかる。

日本語で理解できる。
やさしい日本語で書かれているからわかる。やさしい日本語は読みやすい。読めなかったことはない。住所登録した時に大量に資料や書類をもらった。少しずつ読んだけど、全部読み切れなかった。半年くらい年金の登録もよくわからなかった。ごみの分け方など、大事なものをから読んだ。わからないものは、ジムでできた日本人の友だちや外国人の友だちに聞いている。
理解できる。Google 翻訳で調べたり、友だち(日本人も外国人も)に聞いたりしていた。アルバイトや会社で出会った友だち、日本語学校や Facebook で聞いていた。
妻が日本人だから、妻が読んで説明してくれる。子どもは日本の学校に行っており、日本語も英語もできるので、子どもに聞いたりもしている。

②日本人向けの情報と分けて発信してほしいですか。

<分けてほしい>

- 日本語が読めず、必要な情報がどうかわからない。諦めてしまう。
- 日本語が読めない人には分けてあげると便利。
- 母語(多言語)で書いてほしい。

<分ける必要はない>

- 日本人向けの情報も読みたい。情報量が多いほうがいい。
- 外国人だからと分けられると、差別のように感じる。普通に住んでいる人と同じように扱ってほしい。
- 市役所の仕事量が増えてしまう。

<その他>

- 内容による。外国人と日本人で対応が違うときは分けたほうがいい。
- 分ける、分けないより内容を簡潔にしたほうがいい。「重要」「アクション必要」の2点を強調するべき。

市報を読んでいるけれど、外国人は読めないからあきらめてしまう、壁を感じてしまう人がいると思う。自分とは関係のないことが書かれていると思ってしまうのでは。
色々な国の人がいるので、言語を分けた方がいい。
日本語を読めない人向けに分けてくれると助かる。
英語のインフォメーションだけが来るのは喜ばしいけど、そうじゃなくてもそんなに深刻な問題ではない。分けて、正しい表現を作るなら、市役所のスタッフの仕事量が大変なことになるので、必ずしも分ける必要はない。
分けたら助かるが、たぶん市役所がいちいち用意するのも大変だと思うので、重要なことだけ外国人向けを用意しても大丈夫。全部用意しなくてもよい。もらえてよかった情報は、最近で言えばワクチンの情報。
情報による。やさしい日本語で情報や英語での情報があるといいかもしれない。普通に住んでいる人と同じように扱ってほしい。勉強中の人はやさしい日本語があると助かると思う。
ものによっては、英訳が必要だと思う。外国人と日本人の対応の違いがあるときは、分けたほうがいい。
分ける、分けないより、内容を簡潔にしたほうがいい。なぜこれが大切なのか、何のアクションをとらなきゃいけないのか、この2点だけ教えてくれればいい。個人番号申請の時、外国人登録持っているのになぜさらに身分証を申請しなきゃいけないのか、その理由に対する説明や重要性がわからないと、次のアクションにつながらない。
分ける必要がないと思うが、日本語と英語があった方がいいと思う。分けると特別扱いだと思われるので、分けないほうがいい。でも多言語版はあった方がいいかも。
多言語で発信してほしい。
色々な国の人がいるので、言語を分けた方がいい。
日本語の勉強にもなるし、実際日本人が受け取っている情報を見たい。同じ外国人同士で市役所のことを情報共有したりはしない。
外国人向けになると情報量が少なくなる。情報量が多いほうがいい。市報を見るときは、関係する情報だけ見ている。
個別にされるのが嫌。日本人みたいに暮らしたいし、周りの日本人にも迷惑かけたくない。分けてやるのは、市役所の人でも大変だと思う。私がいるから周りの人が大変になるのは嫌。この国で暮らしているから、周りの人と同じような生活をしたいから、同じルートでいいし、特別に優遇されなくていい。

③同じ国出身の人などに、SNSのグループ等を使って市役所からの情報を知らせる仕組みがあったら有効だと思いますか。

- 武蔵野市内に外国人の知り合いがいない。コミュニティ(グループ)に入っていない。
- お知らせの内容によって発信するかどうか考える。
- グループに流すこと自体は有効だと思う。

人による。ワクチンの時は友だちに言ったけど、お知らせの内容によって言うか言わないか考えるかも。
武蔵野市には外国人の友だちはいない。日本人の友だちも武蔵野市にはいない。
グループに流すのは有効だと思う。
同じ国出身の人同士のコミュニティには入っていない。三鷹に外国人の友だちがいて、食事したりするくらい。母国でしか買えないものを日本で買えるようになったという情報を、同じ国出身の友だちと交換する。
自分は友だちと情報共有している。実は本当に人による。私は市役所からの情報は役に立つけど、私と同じ考えではないかもしれない。国で異なる。ルートを考えているなら、台湾は LINE、Facebook。日本は Twitter。中国は WeChat。自分は日本に住んでいる外国人で作っているグループで発信している。必要なら私から発信することもできる。グループはいろんなところに住んでいる人がいるので、ほかの市に住んでいる人には必要ない情報かもしれない。
インターネットで同じ国出身の人同士のグループがあるので、そこから情報を得ている。外国人グループの仕組みがあるといいと思う。やってみたい。
それもいいと思う。今はグループがあって、新しい情報があったら、グループで教え合って、話し合っている。

④どの媒体で情報発信してほしいですか。

- Eメール
- Twitter、LINE、FacebookなどのSNS。
- 調べたいことがあるときはホームページで見る。
- 市報

手紙もいいが、Google 翻訳が使えるので、Eメールが一番いい。ホームページはよくチェックしている。保育園を探しているのでよく見る。なかなか申請が難しいので、市役所に行ったら保育の部署で色々なオプションも教えてもらった。通訳してくれる人がいた。
市報はいつも見ます。手紙は見る。質問がある時や知りたい時、日本語でホームページを探して見る。ワクチン関係は自分も夫も見た。Twitter は見ていない。
武蔵野市の LINE を登録している。何かある時はホームページを確認している。
LINE、市報、Twitter は見る。ホームページはあまり調べない。市報は日本語の勉強のためにも読んでいる。知りたいことがあるときだけホームページは見る。
LINE やホームページ、Facebook。わからないことがあれば調べることができる。
お手紙と市報。わかりやすい。ホームページは、なかなかチェックしない。市報は見ている。
ホームページは用事があるときのみ。市報はよく読む。重宝している。
Twitter がいい。武蔵野市のアカウントは知らなかった。

(4)日本人・日本文化との関わりについて

①国籍に関わらず、誰もが住みやすいまちにするために、一人ひとりが何をしたらいいと思いますか。

- 自然に接してほしい。壁を作らずに接してほしい。
- 文化の違いなどを教えてほしい。
- 外国人と日本人を分けなくて、一緒に一つの国に住んでいる人間として仲良くしてほしい。
- 言いたいことをはっきり話してほしい。
- お互いの言語、文化を勉強する姿勢を持つといい。

文化のイベントを行ったらいいと思う。
外国人とわかると、会話が少なくなる。一歩引いてしまう。話す前から、外国人となると日本語を話せない対応をされる。
互いの文化を尊重する姿勢。押し付けるのではなく。
外国人と日本人を分けなくて、一緒に一つの国に住んでいる人間として仲良くしてほしい。住めば住むほど国ではなくて人だと感じる。昔、「困ったことがあったら言ってね」と住所や電話番号を書いた紙をポストに入れておいてくれた人がいた。その人は、自分が自転車に乗れなくてベビーカーでずっと行動していたのを気にかけてくれて、自転車の練習も一緒にしてくれた。外国人にバリアを持っている人・いない人がいる。自分の国でもそうだと感じる。同じ国に住んでいる一人の人間として大事にしている姿勢を見せてくれるといいのではないと思う。幼稚園、小学校にも外国人が多い。MIAが小学校でいろんな国のことを紹介する授業を行っているように、お互いに理解して距離が縮まったらもっと仲良くなれると思う。今の教育、幼稚園、小学校で外国人が外国の文化を教えると外国人と触れ合う機会を増やすことになるので、子どもが大人になったときに抵抗がなくなるのでは、と思う。
生活習慣で食べ方が違うので、自分の文化では普通のことでも、日本ではお行儀が悪いと思われることがある。文化を知っている人は理解してくれるけど、そうでない人もいる。また、日本は電車で話さない人が多いので、電車で話していると外国人だからだな、と思われる。わからないことが多いので、みんなでお話する機会があるといいと思う。
日本人も外国人も直接言いたいことを言ったほうがいい。日本には、あいまいな文化があると思う。時々理解できない時がある。日本人が外国の人と話すときは、はっきり話したほうがいいと思う。
外国の文化も理解できれば、外国人と接しやすくなると思う。相互のコミュニケーションが必要。
外国人の方が日本の言語・文化を勉強しなければいけないので、外国人の責任。日本語・文化を知らなければいけない。最初はあまりしゃべれなかったけど、仕事しながら、職場で周りの人から少しずつ勉強した。周りの話を聞きながら新しい言葉を学んだ。
お互いの文化を理解し合う。日本の生活に慣れる必要はある。
自然に接してほしい。外国人だからと気を遣ってくれるが、日本人と同じように自然に接してもらえると嬉しい。そうすると外国人も日本人のことも良く理解できるようになると思う。
人それぞれ。外国人とわかった途端、壁ができたりしたりする。普通に接してほしい。外国人というだけで気を遣わないでほしい。こっちも、どうしようという感じになる。同じ人として普通に接してほしい。

②来日して驚いたこと、戸惑ったことはありますか。

- ごみの分別が細かい。
- 暗黙の了解・ルール(電車・バスの中で飲食・通話はしない等)。

あまりびっくりしたことはないがルールが多いと感じる。ごみの分別や電車・バスの中での携帯・飲食禁止などは母国と違う。
ゴミの分別。武蔵野市は細かくて難しい。
電車やバスの中であまり大きい声で話さない。

(5) 周囲の人との交流について

① 知り合いを増やしたいですか。

- 知り合いが増えるに越したことはない。
- 日本人でも外国人でもいいので増やしたい。
- もう既に知り合いがいる。現状維持でいい。
- 日本人と知り合いになりたい。

外国(ほかの国も)出身の友だちはいる。増やすに越したことはない。日本人の友だちはいるけど少ない。職場の人くらいしか交流がない。国は関係なく、友だちを増やしたい。
日本人の友だちを増やしたい。去年からテレワークで、同僚とずっと会えていないので友だちになる機会がない。
外国人の友だちはいる。外国人に限らず、日本人の友だちも増やしたい。
外国人の友だちも日本人の友だちも今のままでいい。縁があれば友だちになりたい。国籍は重要でなくて、合う人がいたら友だちを増やしたい。

② 交流するためにどのようなイベントがあるといいと思いますか。

- 日本文化や外国の文化の紹介をする交流会が楽しいと思う。
- スポーツ・料理など趣味のイベント。
- 子連れや家族で参加できるイベント。

色々な国の料理レッスンなら参加したい。ハイキング。山登りしながらお話したい。
外国人と日本人と一緒に参加するイベント。日本の文化や外国の文化を紹介するイベントがあれば、参加したいと思う。日本の料理教室、伝統文化の教室があれば参加したい。
子ども中心になったので、家族全員が出れるイベントだったらいい。

③ 交流会などのイベントについて、ご意見を教えてください。

- 内容によって、時間が合えば参加したい。
- 日本人・外国人の友だちを作りたい。
- 一回イベントをするだけではなかなか友だちになれない。

時間があれば参加したい。日本人も外国人も友だち増やしたい。
日本人・外国人の友だち増やしたい。
日本人、外国人問わず交流したい。
いろいろな国と友だちが増えると良い。知りたい。
都合が合えば参加したい。
MIAで1回イベントをするだけでは友だちになかなかねれない。その場で終わることが多い。しょっちゅう会わないと友だちづくりは難しい。日本人と友だちになるのは文化の差を感じる。
イベントの内容による。

(6)日本語の学習について

- 漢字・敬語に苦労している。
- 漢字の読み方が複数あるので難しい。

漢字。読み方、書き方難しい。教科書と実際の会話は全然違う。尊敬語、謙譲語は難しい。
大学で勉強した。敬語が難しかった。人と話すとき、いつから敬語を使わなくていいのか、タイミングが良くわからない。相手に応じてどのレベルの敬語を使うのかわからない。敬語で話しかけられたらわかるが、敬語の使い方が難しいと感じる。「ます・です」をつけて話すとかたく感じると言われたこともある。
母国にいるときに少し日本語がわかる友だちなどを作ったりして、少しわかるようになっていた。日本に来て日本語学校に通った。漢字の音読み訓読みがすごく難しい。見たら意味が想像できてわかるが、どうやって読めばいいかわからない時がある。ふりがながあると助かる。漢字を読めないことがたまにある。 やさしい日本語は習い始めのときは助かるし、良いと思う。上級者になるとひらがな、カタカナだけだと逆にわかりづらい。普通の日本語で読んだ方が読みやすいと思う。実際このアンケートを読んだけど、やはり読みづらかった。普通の日本語のほうが理解しやすかった。

4. アンケート調査票

以下の調査票は、やさしい日本語、英語、中国語、ネパール語、韓国語に翻訳するにあたって、もとになっている日本語表記を用いており、実際に郵送した調査票と表現が異なる場合があります。



武蔵野市の外国人のかたへの調査

このアンケートは、武蔵野市があなたに送りました。

あなたの意見を聞いて、あなたの住んでいる武蔵野市が、外国人のみなさんが暮らしやすいまちになるようにプランを作ります。この調査に答えて、あなたが日頃感じること・考えていることを教えてください。よろしくお願いします。

2021年10月

武蔵野市

答えるときのお願い

1. このアンケートは、出入国管理とは関係ありません。
2. あなたが答えたことは、他の人にはわかりません。
3. 封筒に名前があります。その名前の方が答えてください。
4. 答えるときは、数字に○をつけてください。
<例> 1. 男性 ② 女性 3. そのほか/答えない
5. 「そのほか」を選ぶときは、() の中に答えを書いてください。
6. あなたの国籍・地域に合わせて日本語・英語・中国語・ネパール語のどれかを送りました。1つだけ選んで答えてください。
7. 答えたあとは、このアンケートと一緒に入っていた茶色の封筒に入れて、郵便ポストに入れてください。
切手は要りません。**11月15日(月)**までに送ってください。
8. この調査は、WEBからも答えられます。二次元バーコードからアクセスできます。
URL: http://www.city.musashino.lg.jp/shisei_joho/public_comment/1033705.html



「質問したい人は、メールを送ってください」

株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 E-mail: tokyo@ji-institute.com

日本語	英語	中国語	ネパール語
<input type="radio"/>			

1. あなたのこと

Q1. あなたの国籍・地域はどこですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|---------|----------|--------------|
| 1. 中国 | 4. 台湾 | 7. フィリピン | 10. インド |
| 2. 韓国・朝鮮 | 5. ネパール | 8. イギリス | 11. カナダ |
| 3. アメリカ | 6. ベトナム | 9. フランス | 12. そのほか () |

Q2. あなたは何歳ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 18～19歳 | 3. 30～39歳 | 5. 50～59歳 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20～29歳 | 4. 40～49歳 | 6. 60～69歳 | |

Q3. あなたの性別はどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|--------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. そのほか/答えない |
|-------|-------|--------------|

Q4. あなたの今の在留資格は何ですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|-----------|--------------|
| 1. 永住者 | 7. 定住者 | 13. 教授 |
| 2. 技術・人文知識・国際業務 | 8. 特定活動 | 14. 宗教 |
| 3. 留学 | 9. 高度専門職 | 15. 企業内転勤 |
| 4. 家族滞在 | 10. 技能 | 16. 永住者の配偶者等 |
| 5. 日本人の配偶者等 | 11. 経営・管理 | 17. 技能実習 |
| 6. 特別永住者 | 12. 教育 | 18. そのほか () |

Q5. あなたは仕事をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 仕事をしている | 3. 学生 |
| 2. 仕事をしていない | 4. そのほか () |

Q6. あなたは、これまでの合計で、日本にどれくらい住んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 6か月未満 | 5. 5年以上～10年未満 |
| 2. 6か月以上～1年未満 | 6. 10年以上～20年未満 |
| 3. 1年以上～3年未満 | 7. 20年以上 |
| 4. 3年以上～5年未満 | |

Q7. あなたの住所は、次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|----------|---------|-----------|
| 1. 吉祥寺東町 | 5. 吉祥寺北町 | 9. 八幡町 | 13. 桜堤 |
| 2. 吉祥寺南町 | 6. 中町 | 10. 関前 | 14. わからない |
| 3. 御殿山 | 7. 西久保 | 11. 境 | |
| 4. 吉祥寺本町 | 8. 緑町 | 12. 境南町 | |

Q8. あなたといま、いっしょに住んでいる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 一人で住んでいる | 5. 兄弟・姉妹 |
| 2. 配偶者・パートナー | 6. そのほかの親戚 |
| 3. 子ども | 7. 知り合い・友だち |
| 4. 自分または配偶者の親 | 8. そのほか() |

Q9. Q.8で「3. 子ども」に○をした人は、子どもの年齢と何人いるかを教えてください。(あてはまるものすべてに○、数を記入)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 6歳未満()人 | 4. 16~18歳()人 |
| 2. 6~12歳()人 | 5. 19歳以上()人 |
| 3. 13~15歳()人 | |

2. 言葉のこと

Q10. あなたの第一言語はどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|----------|-------------|
| 1. 日本語 | 5. ネパール語 | 9. ヒンディー語 |
| 2. 中国語 | 6. ベトナム語 | 10. インドネシア語 |
| 3. 韓国・朝鮮語 | 7. タガログ語 | 11. タイ語 |
| 4. 英語 | 8. フランス語 | 12. そのほか() |

Q11. あなたはどのくらい日本語の読み書きや会話ができますか。[聞く・話す・読む・書く]

①聞く(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. ニュース、ドラマの内容を理解できる | 4. 単語だけ聞き取れる |
| 2. 相手の言うことは大体理解できる | 5. ほとんど聞き取れない |
| 3. 相手がゆっくり話すことは理解できる | |

②話す（○は1つ）

1. 自分の言いたいことが問題なく話せる
2. 自分の言いたいことが大体話せる
3. 簡単な日常会話ができる
4. 自己紹介、決まったあいさつ、単語なら言うことができる
5. ほとんど話せない

③読む（○は1つ）

1. 市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる
2. 市役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる
3. 新聞・雑誌の広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報がとれる
4. 絵のついた簡単な指示（例：ごみの捨て方、料理の作り方）がわかる
5. ほとんど読めない

④書く（○は1つ）

1. 報告書やレポートで用いる文章を書くことができる
2. 自己紹介や日常生活を伝える文章を書くことができる
3. まわりの人に伝える簡単なメモなどを書くことができる
4. 名前や国名、住所などが書ける
5. ほとんど書けない

Q12. あなたは今後、日本語を学びたいと思いますか。（○は1つ）

1. 学びたい
2. わかるので学ばなくてよい
3. わからないが学ばなくてよい

Q13. Q.12で「3. わからないが学ばなくてよい」に○をした人は、理由を教えてください。（自由に書いてください）

Q17. あなたは困ったとき、一番に誰に聞きますか。相談しますか。(○は1つ)

1. 家族・親戚
2. 家族・親戚以外の同じ国・地域の人
3. 教会・寺院などの同じ宗教の集まり
4. 日本人の知り合い・友だち
5. 職場の同僚、学校のクラスメイト
6. 上記選択肢以外の知り合い・友だち
7. M I A (武蔵野市国際交流協会)
8. 保育園・幼稚園や学校の先生
9. 市教育委員会の帰国・外国人教育相談室
10. 大学の留学生支援
11. 大使館
12. 市役所
13. 掲示板やブログなどのインターネットの情報サイト
14. そのほか ()
15. いない

Q18. Q17で1~6のどれかに○をした人に質問です。その人はどこにいますか。(○は1つ)

1. 都内
2. 都外
3. 外国

Q19. Q17で1~6のどれかに○をした人に質問です。その人とはどうやってコミュニケーションをとっていますか。(○は1つ)

1. 直接会って話している
2. ビデオ通話で話している
3. 電話で話している
4. メールなどでメッセージを送り合っている

4. あなたの子どものこと（18歳未満の子どもがいる人にお聞きします。）

※18歳未満の子どもがいない人は、次のページの Q.23 に移動してください。

Q20. あなたの子どもが通っている学校などはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|------------------|--------|-------------------|
| 1. 保育園 | 4. 小学校 | 6. 自宅で教育・保育を行っている |
| 2. 幼稚園 | 5. 中学校 | 7. その他か |
| 3. インターナショナルスクール | | () |

Q21. 子育てや子どもの教育であなた（保護者）が困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 学校からのお知らせ（印刷物）が読めない |
| 2. 日本の学校生活・制度・行事について理解できない |
| 3. 文化や宗教上の（食事や生活習慣に関する）配慮が不足している |
| 4. 学校の先生とコミュニケーションがとれない |
| 5. 他の保護者とのコミュニケーションがとれない |
| 6. 子どもが勉強についていけない |
| 7. 子どもの進路のこと |
| 8. 日本で育った子どもの価値観と母国で育った親の価値観が合わない |
| 9. 言語の問題で子どもと深いコミュニケーションがとれない |
| 10. 家庭内の問題や事情 |
| 11. その他 () |
| 12. ない |

Q22. 子どもが困っていそうなことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 園・学校に行かない、行きたがらない | 5. 友だちができない |
| 2. 学校の勉強についていけない | 6. 友人関係に困っている |
| 3. 日本語学習・習得に困っている | 7. 先生との関係に困っている |
| 4. 母語学習に困っている | 8. その他 () |
| | 9. ない |

Q26. 武蔵野市からの情報は、どの言語だとわかりますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------|---------------------------------|
| 1. やさしい日本語 | 3. 自分の第一言語 |
| 2. 英語 | 4. そのほか（ ） |

Q27. あなたが市役所に相談した時に良かった対応方法や、やってもらえると助かる対応方法はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 1. ゆっくり話す日本語 | 4. 通訳（英語） |
| 2. やさしい日本語（文書） | 5. 通訳（英語以外） |
| 3. 英語（文書） | 6. 翻訳機器 |
| | 7. そのほか（ ） |

7. 地域のこと

Q28. あなたは、となり近所や地域の人とどのように関わっていますか。（○は1つ）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. よく話したり、あそぶ | 4. 見かけても、何も話さない |
| 2. たまに話したり、あそぶ | 5. 関わる時がない |
| 3. あいさつをするくらい | |

Q29. あなたは、地域に日本人の知り合いがほしいですか。（○は1つ）

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1. もっと増やしたい | 2. 今の知り合いで十分 | 3. いない |
|-------------|--------------|--------|

Q30. M I A（武蔵野市国際交流協会）の活動で知っていることを教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 日本語教室 | 5. M I Aまつり |
| 2. 法律・心理相談 | 6. ボランティア活動 |
| 3. 通訳・翻訳サービス | 7. M I Aを知らない |
| 4. 料理教室 | |

インタビューのお願い

もっとあなたの意見や想いを聞くために、あなたにインタビューをしたいです。

時期：2021年11月下旬から12月上旬

場所：武蔵野市内の施設、またはオンラインインタビュー

時間：30分～1時間くらい

インタビューをうけてもよいという人は、お名前・連絡先を書いてください（この情報はインタビュー以外には使いません）。武蔵野市が、日程調整の連絡をします。

■インタビューに答えてくれますか。（○は1つ）

1. はい

2. いいえ



「いいえ」の人は、アンケート終了です。
ありがとうございました。

■インタビューに答えてくれる人はお名前と連絡先を教えてください。

お名前		連絡先	TEL： e-mail：
-----	--	-----	-----------------

ご協力ありがとうございました。

武蔵野市外国籍市民意識調査報告書

令和4年2月 発行

編集・発行 武蔵野市 市民部 多文化共生・交流課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2-2-28
電話 0422-60-1806
